

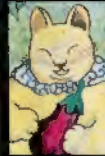
SUN
COMICS

アタゴオル物語



4 ますむら ひろし

アタゴオル物語 4



ますむらひろし

サン
コミックス



朝日ソラマ

定価380円

(分)8271(製)910638(出)0049



サン
コミックス

夢のふとんに眠りこけて、気がつきやうに
は秋の月。銀の光に心はずむ。すすき群れ
なす、草の上――夢が連れていってくれ
る見たこともない旅で、きみはきつとアタゴ
オルとすれちがう!!

アタゴオル物語

SUN
COMICS

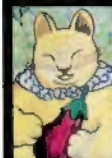


4

ますむら ひろし

サン
コミックス

アタゴオル物語 4



ますむらひろし

朝日ソノラマ

定価380円

(分)8271(製)910638(出)0049



(638)



著者近影

アタゴオル物語 ④

昭和56年4月30日初版発行
昭和56年7月15日2版発行

著者 ますむら ひろし
©Hiroshi Masumura
発行人 村山 実
印刷 フォト印刷株式会社
製本 大和製本株式会社

発行所 株式会社朝日ソノラマ

東京都中央区銀座4丁目2番6号 第2朝日ビル
郵便番号104
TEL(563)6021 医診 東京2-40311

アタゴオル物語



4

ますむらひろし

■ 左ききの楽園……………	5
1979年 マンガ少年 5月号掲載	
■ イチゴ森の魚屋さん……………	29
1979年 マンガ少年 6月号掲載	
■ 夕立ち森……………	57
1979年 マンガ少年 7月号掲載	
■ 仙丹豆……………	83
1979年 マンガ少年 8月号掲載	
■ 花粉谷……………	107
1979年 マンガ少年 9月号掲載	
■ 床屋まつりの夜に……………	129
1979年 マンガ少年 10月号掲載	
■ 赤い牙……………	155
1979年 マンガ少年 11月号掲載	
■ 時間城……………	181
1979年 マンガ少年 12月号掲載	



——サウスポー・パラダイス——

ひだり

らく えん

左ききの楽園





イエー
とうきゅうじま
燈宮島ッ



ワオー
とうとう
来たぜ



.....
おかしいな
星ミカンが
ぜんぜん
見あたらないよ

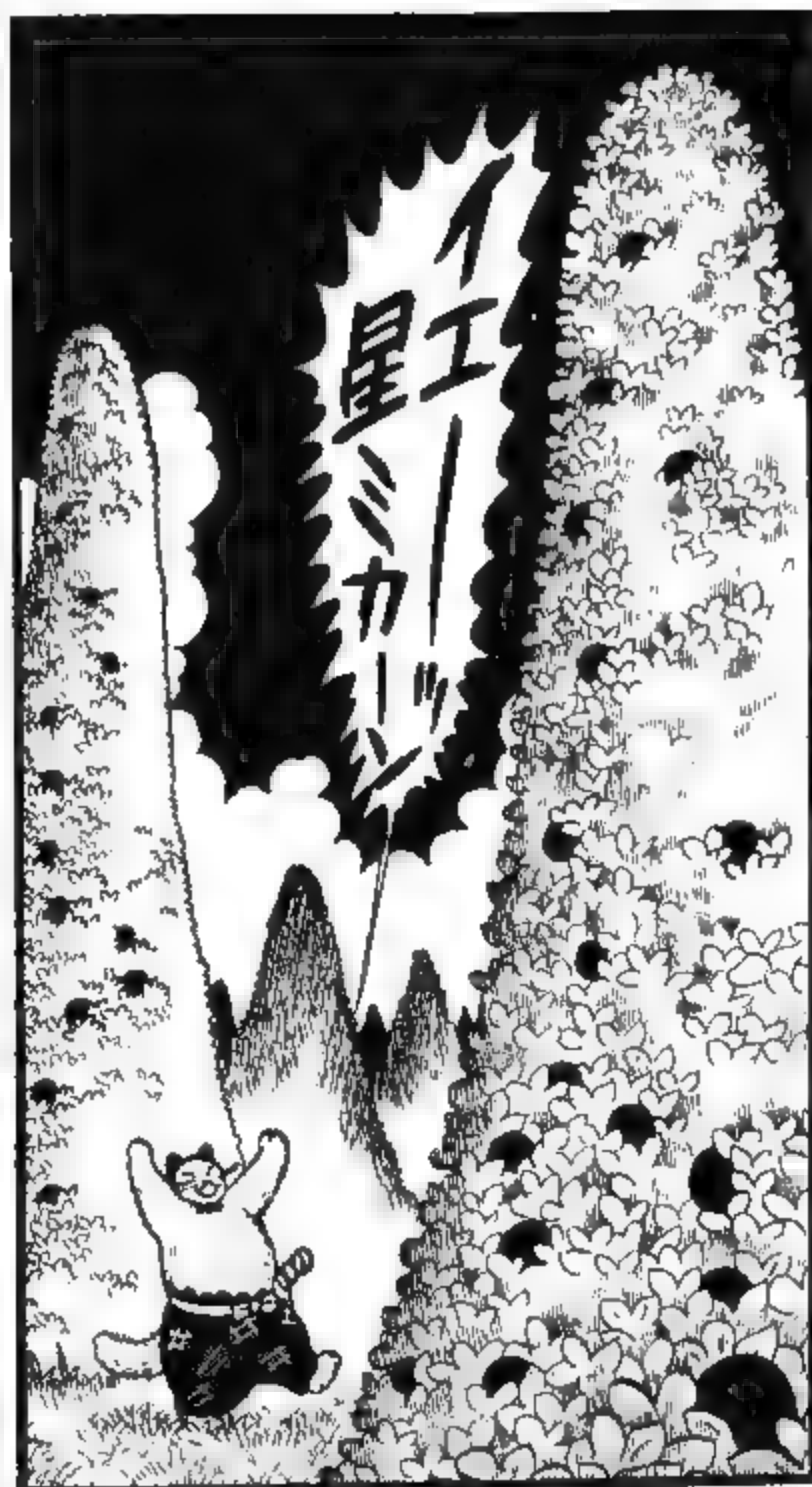


よし
あそここの店で
聞いてみよう

ニャンニャン
どこにあるんだ
星ミカン?



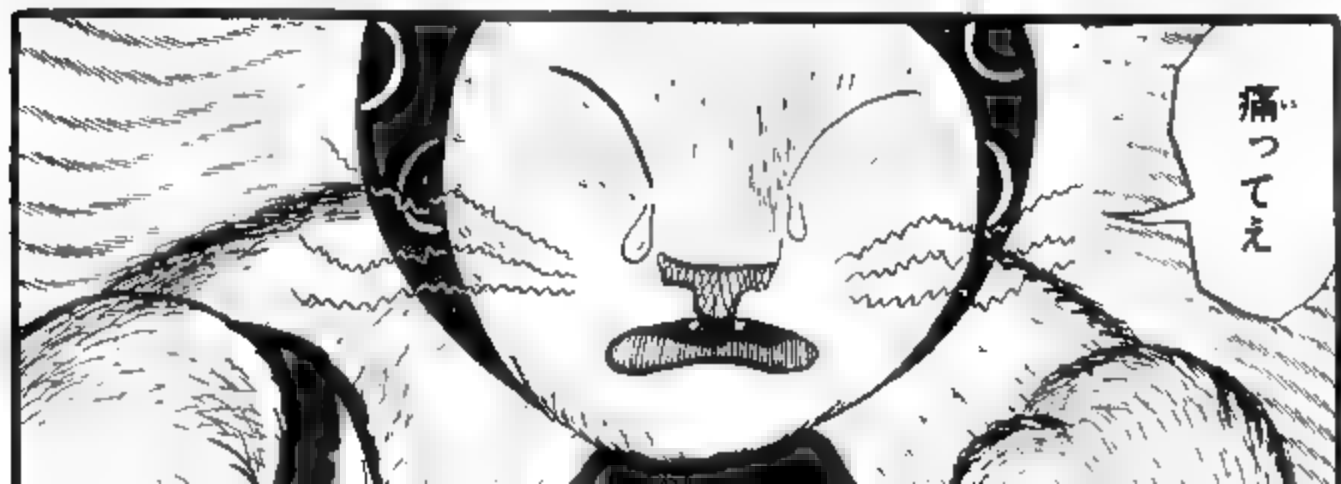






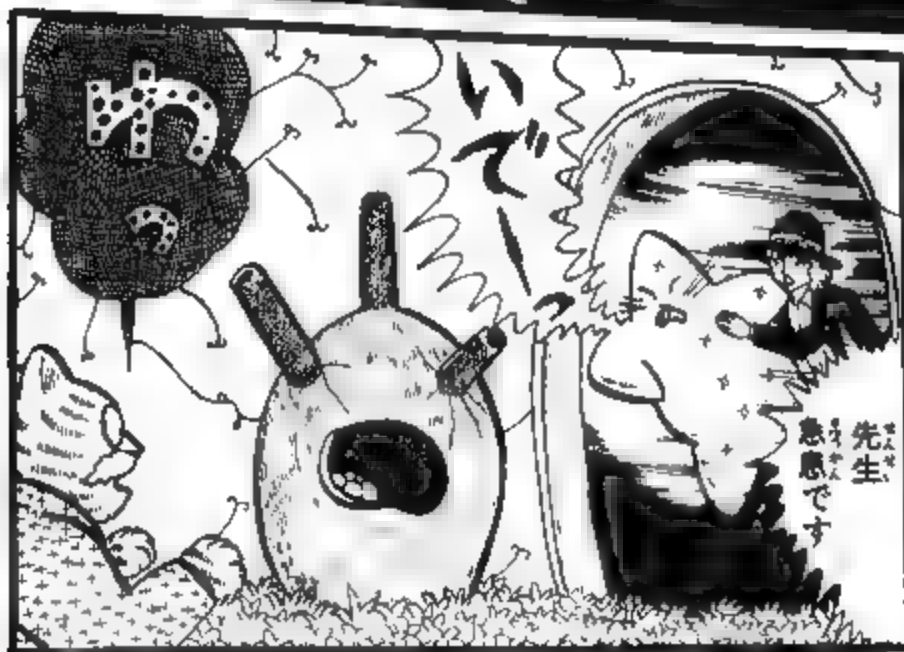
アタゴオル物語④

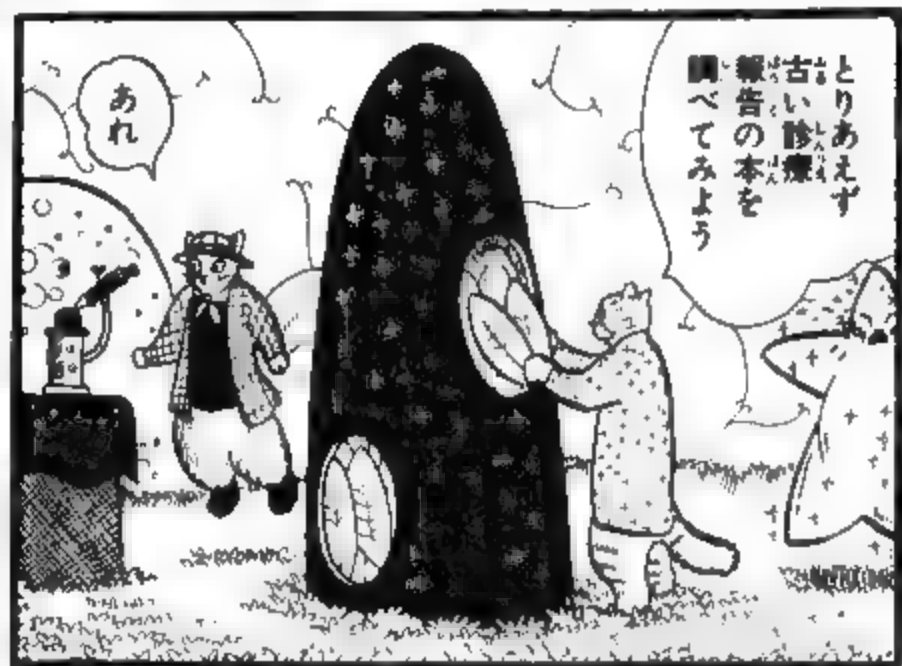


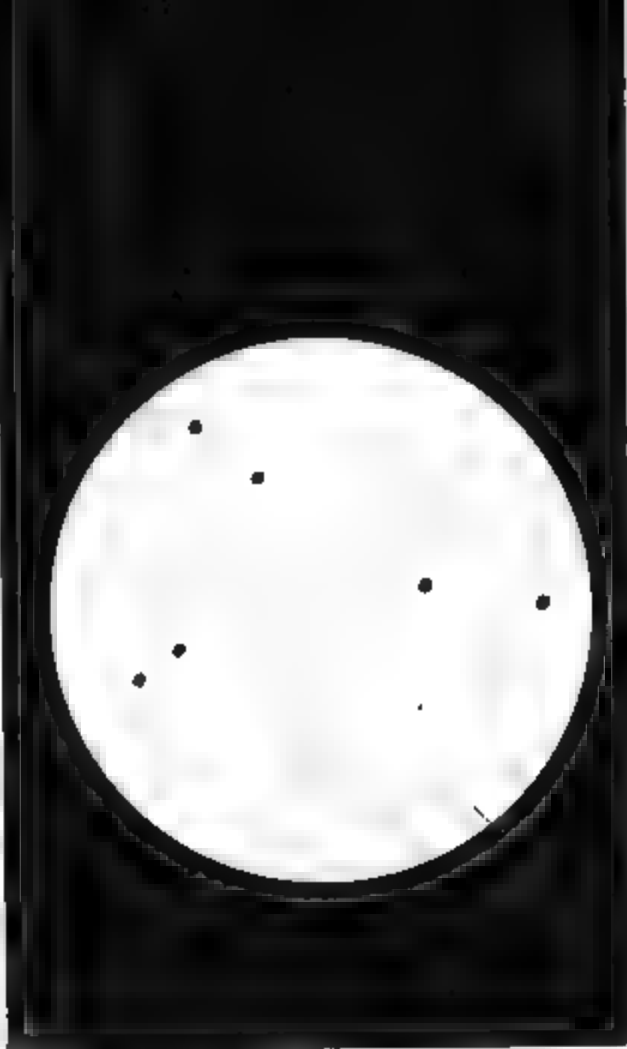
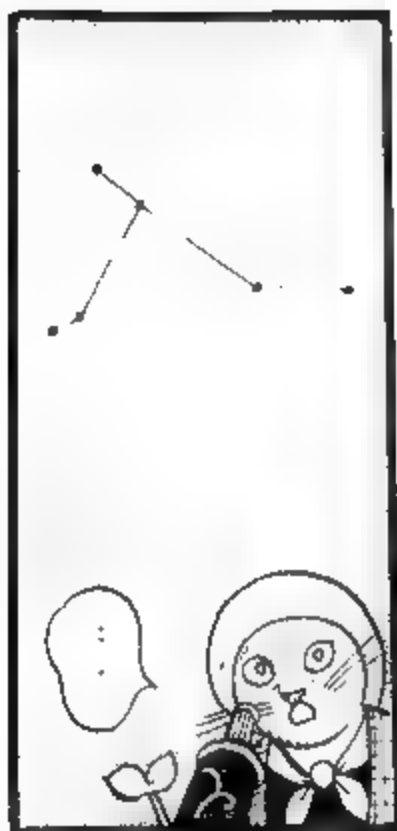


アタゴオル物語④











いやだ
助けて
くれえっ



えーと……
星ミカンを食いすぎると
体はヒトデ型に変型し
一昼夜苦しんだあと
体が破裂して死ぬ
これをヒトデ病という



いでえ
よォー
オオあった
ぞっ



よしっ
行ってみよう

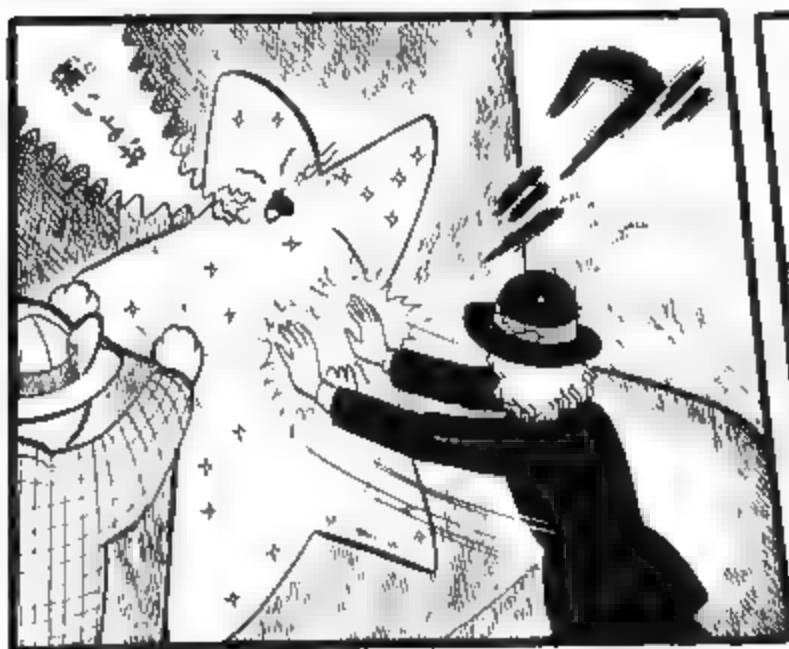
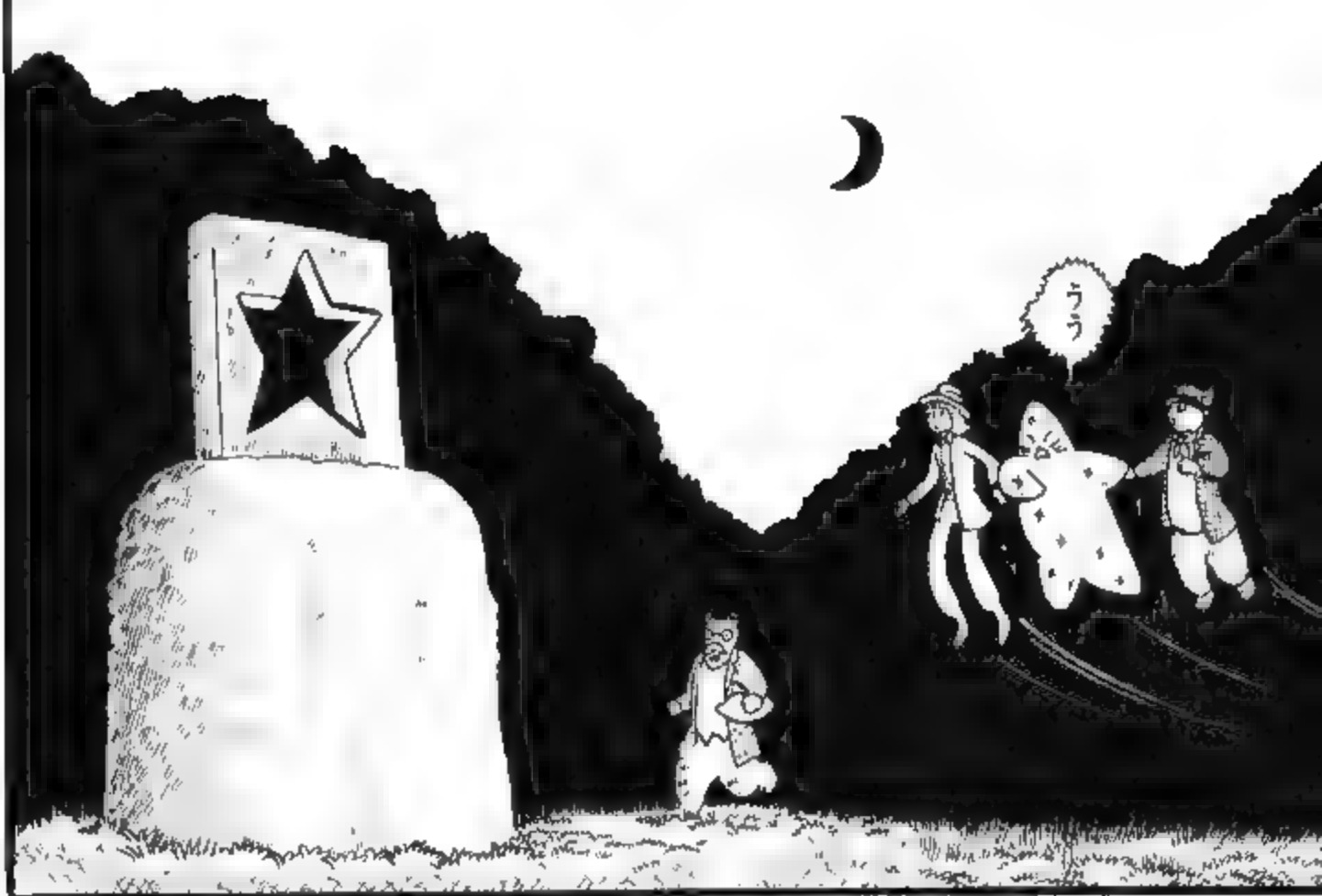


星のぬけ
がら石？



今から170年程前
この島にたいへん
いやしい猫がいて
星ミカンをひとりじめ
しようとしてヒトデ病に
かかったが

星のぬけがら石に
はめこんで助かった



これには
星のぬけがら石の
星の型に
はめこんで
助かったとしか
書いてないな



フーム
しかし星のぬけがら石とは
おかしな名前ですね



……
あの石には
古くからの
言い伝えが
あってね



……昔この島に
星ミカンの木は
1本もはえて
なかったらしいんだ

ところが
ある夜のこと
島の漁師が
暗い海で死にかけていた
旅人を助けたんだ

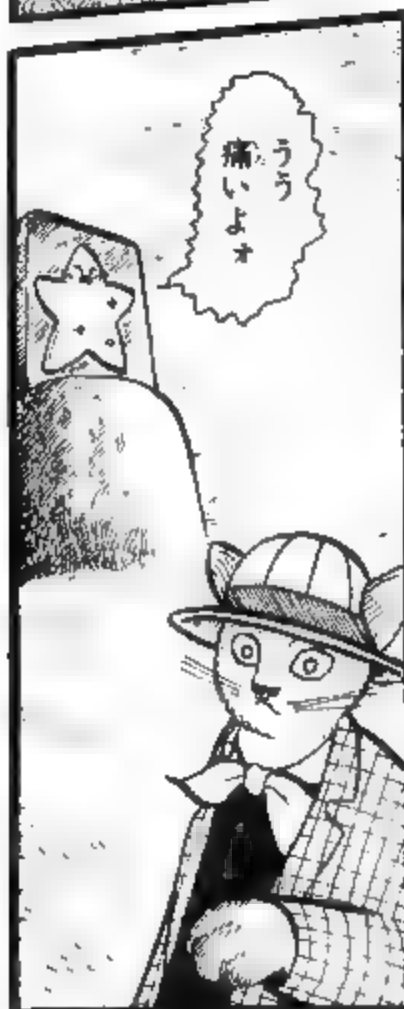
その次の朝に
なると
旅人の姿は
見あたらず

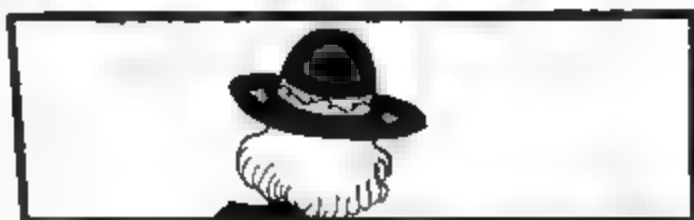


漁師の家の前には
あの石がおいてあり

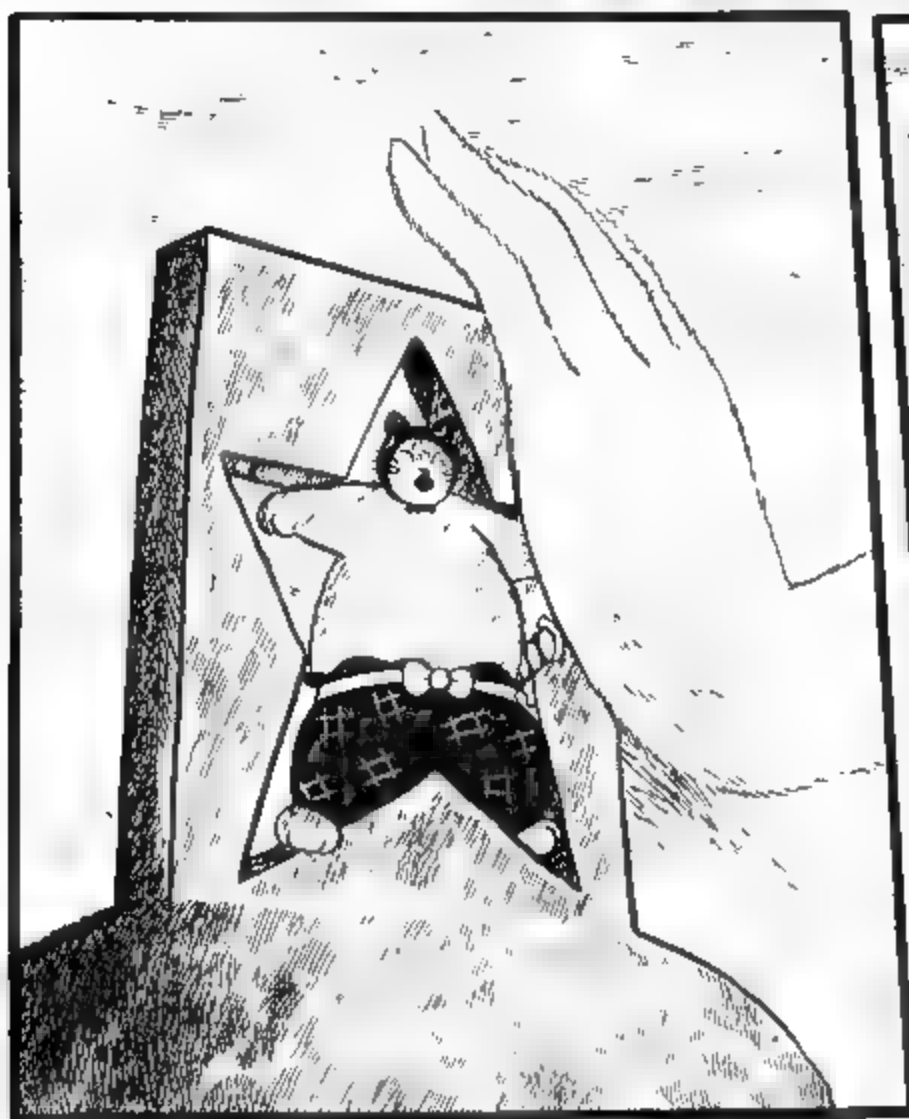
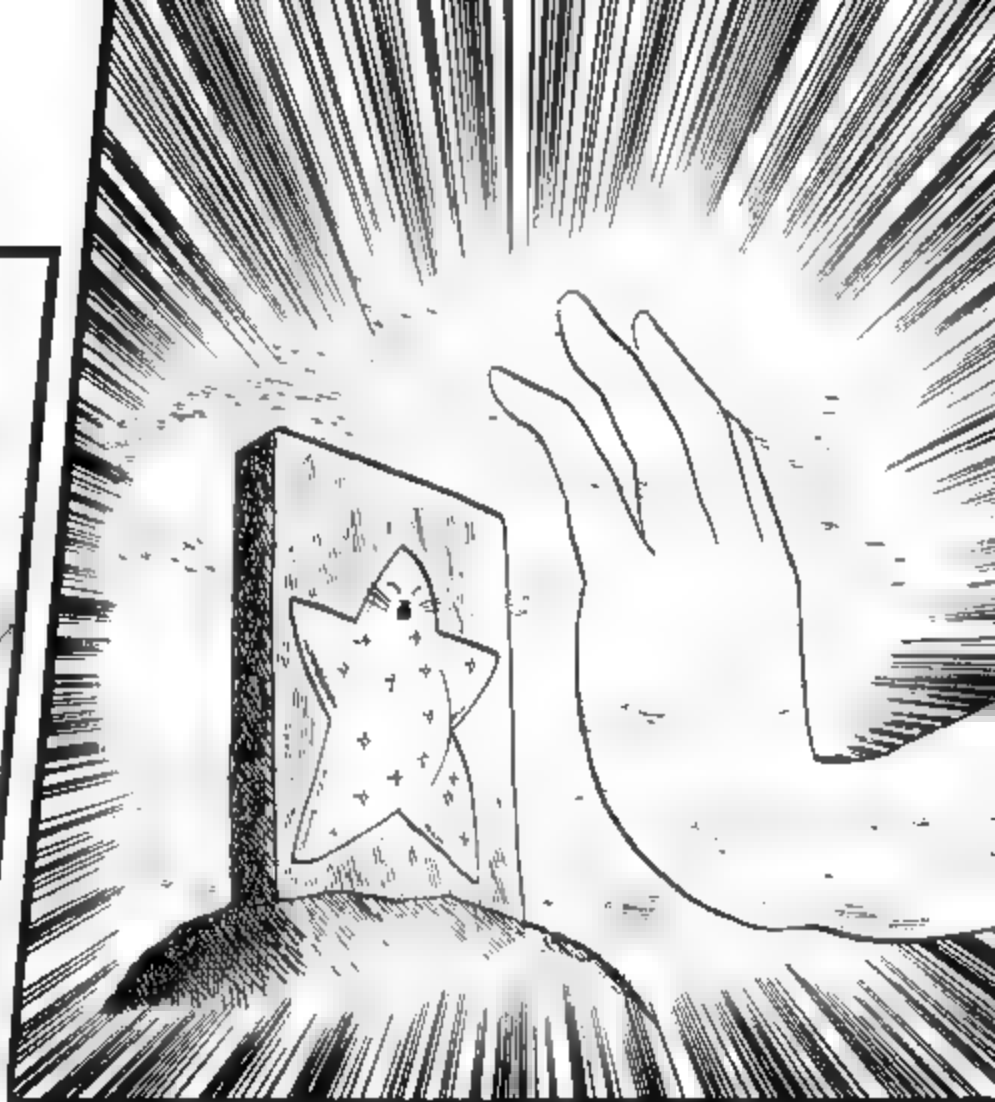
島のあちこちに
星ミカンの木がうえてあったと
言われているんだよ

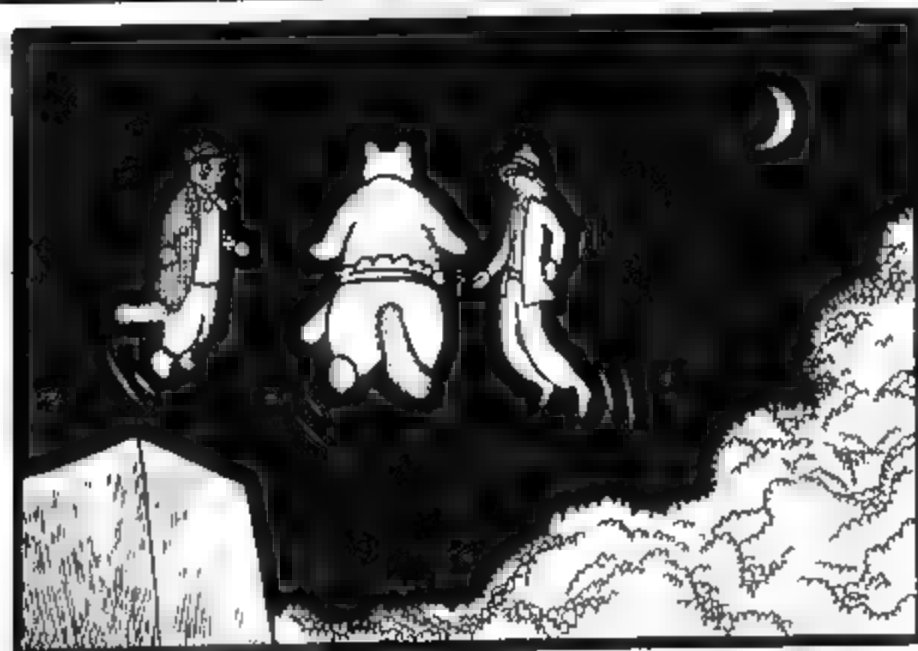








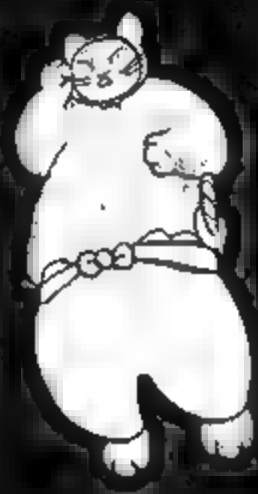




やがてゆつくりと
霧は晴れて行つた



天国のような
気分だった
よ……

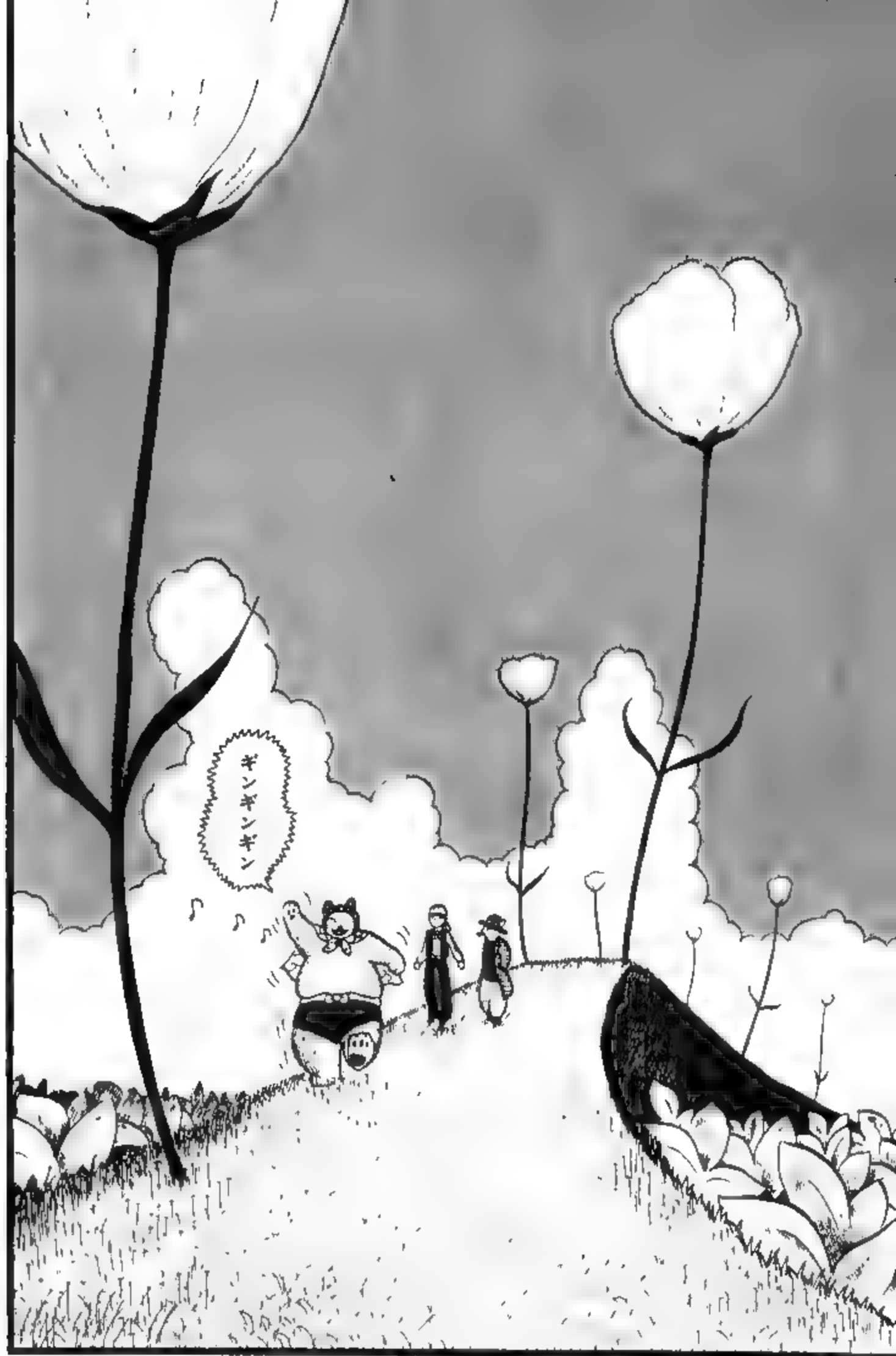


イチゴ森の魚屋さん

もり

さかなや





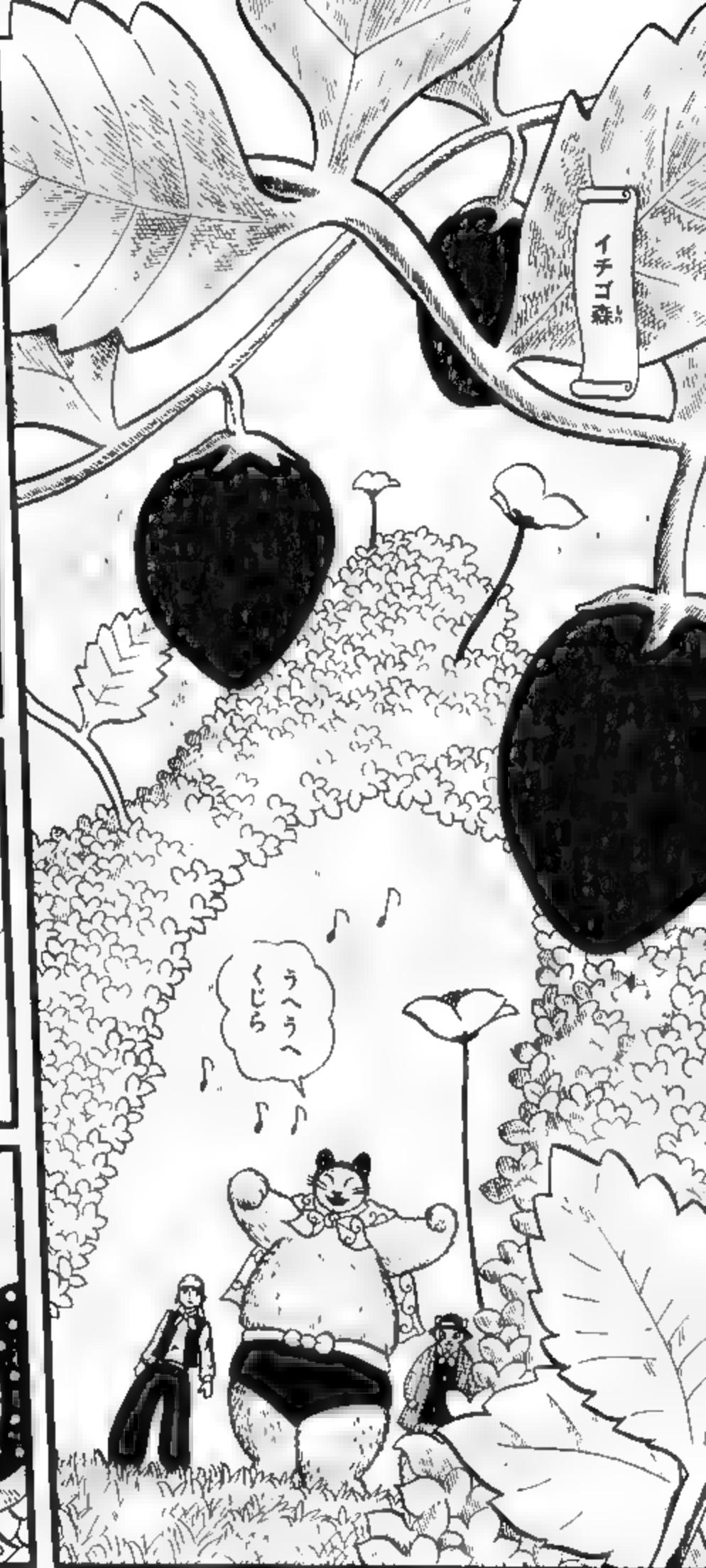
アタゴオル物語④





アタゴオル物語④







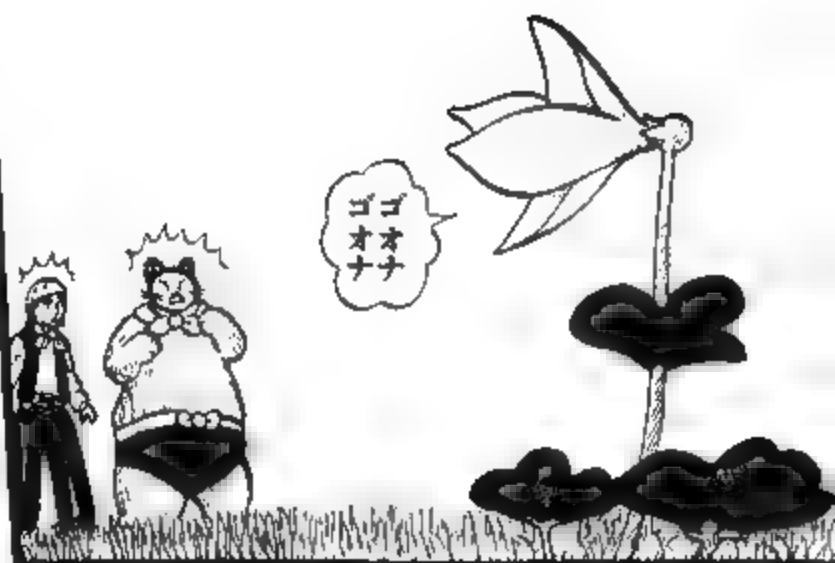


らっしやい
ませ



どうもわから
ないなあ
とにかく行ってみよう

パンツ 良い席が
あまつてゐるって
なんのことだろうね



ゴオナ
ゴオナ



こちらは
波引き丸魚屋
です まだ
良い席が
あまつて
ますよう



らっ
しやい
ませ

ニヤンゴロン
海のニオイに
つつまれてえっ

ニヤン
着いた
ずおう!!



おやじ
この銀くじら
オレに
わけてくれっ



他の魚は売り
ものだけどね
銀くじらは
売りもんじやなく
賞品なんだよ



お前を
食いたくて
はるばる
やって来たんだ
よーっ

いらっ
しやいっ

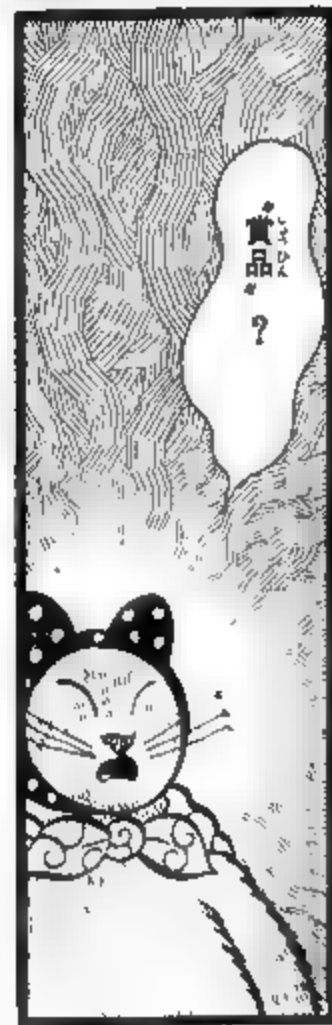


銀しぶき海にある
わしの漁場で
泳いでる紅まぐろを
一匹つかまえると

銀くじら
ひと切れと
交換できるんだよ



そう



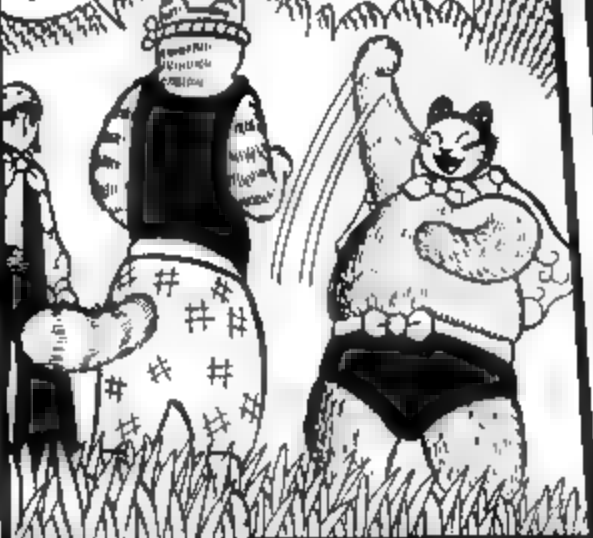
賞品？

ううっ
紅まぐろの味も
すてがたいが
やっぱり銀くじらは
最高だなあ！



ようし海へ
行こう！！
紅まぐろを
とっつかまえ
に！！

でも
腕前の方は
だいじょうぶかい？



腕前？



モリですよ
モリの腕前



フフフツ
オレが十本の
モリを海に
投げこめば
十四の紅まぐろが
浮かんで
来るのよ

ブツカリ
とな！！



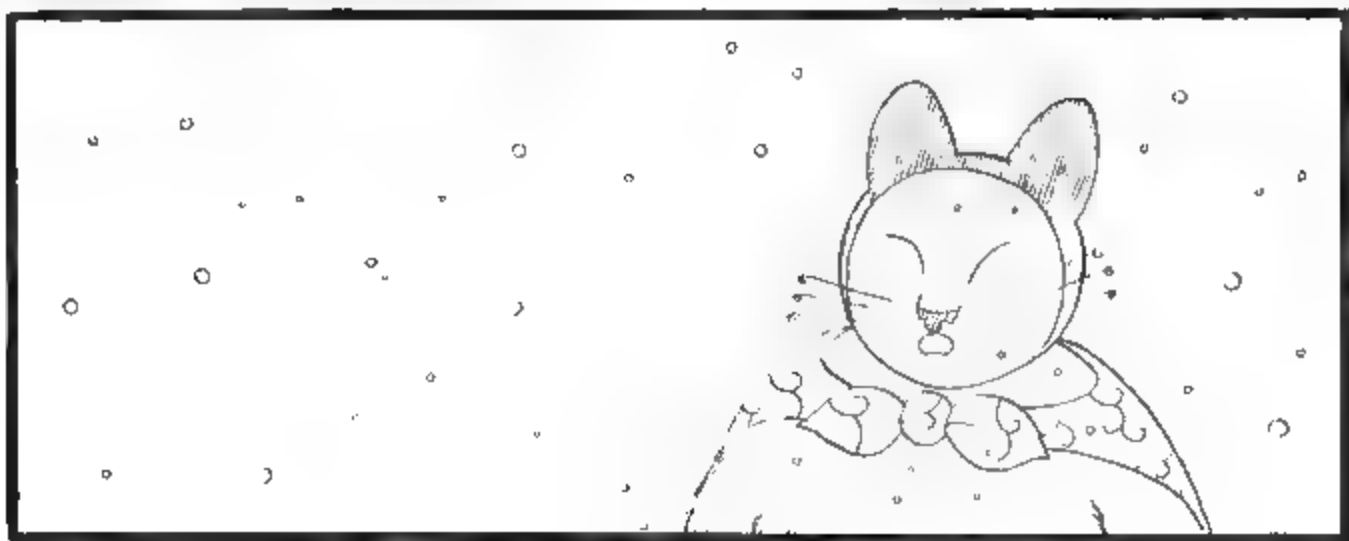
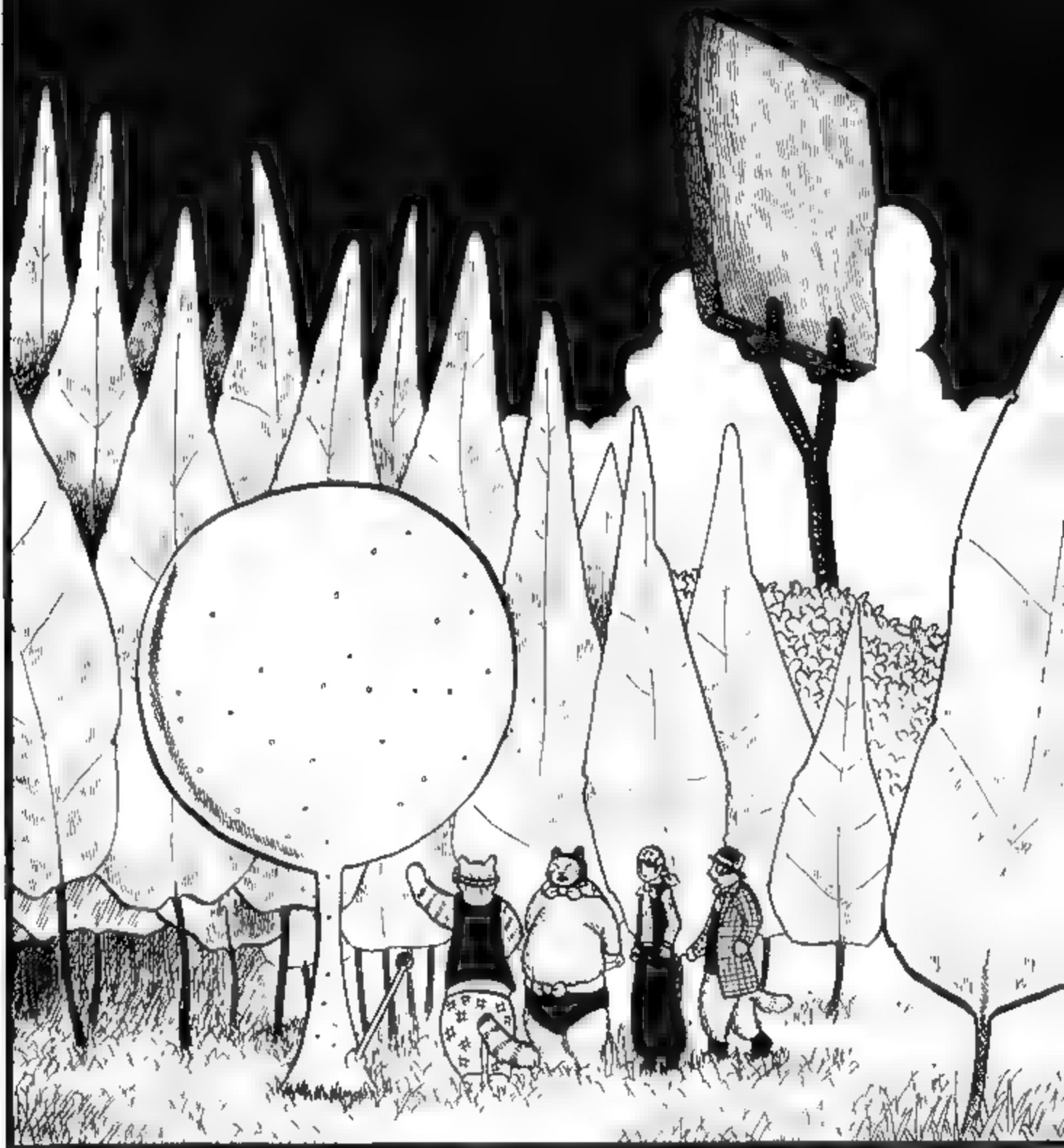
それなら
銀貨二枚で
すみませうね

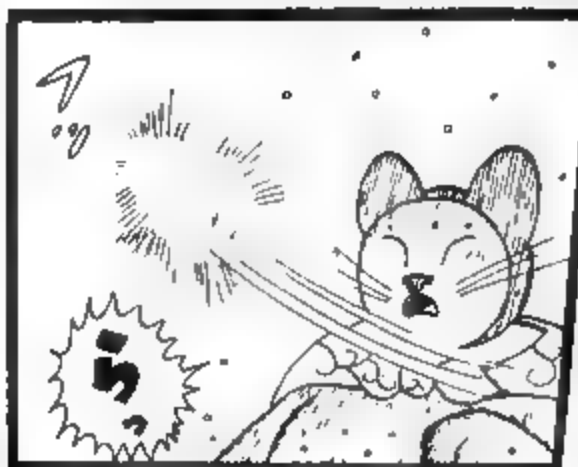
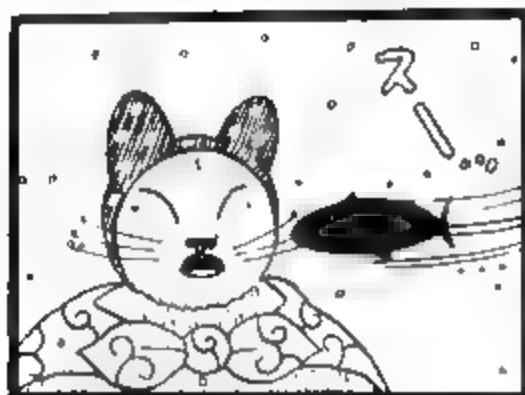
あれ
お金とら
れるの？

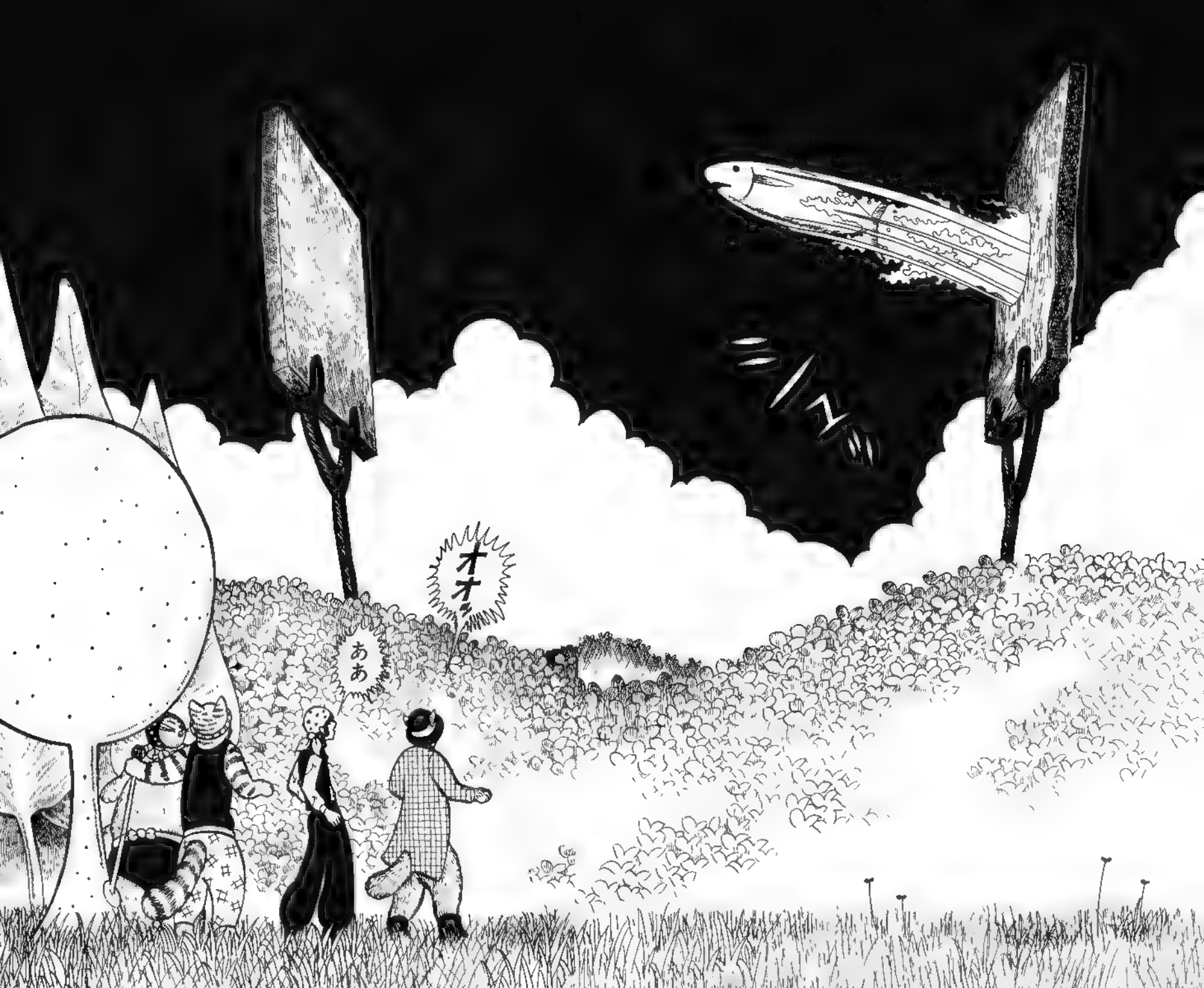


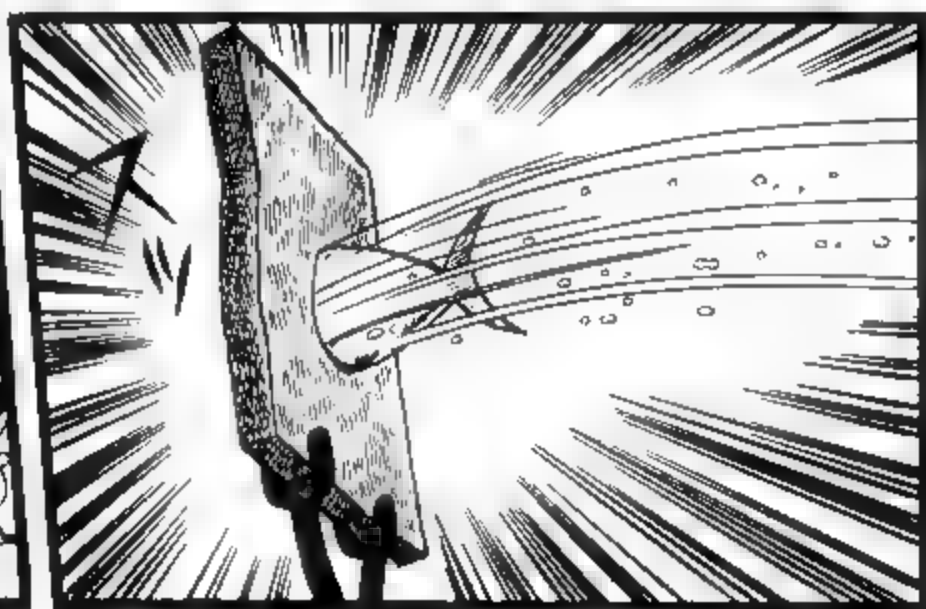
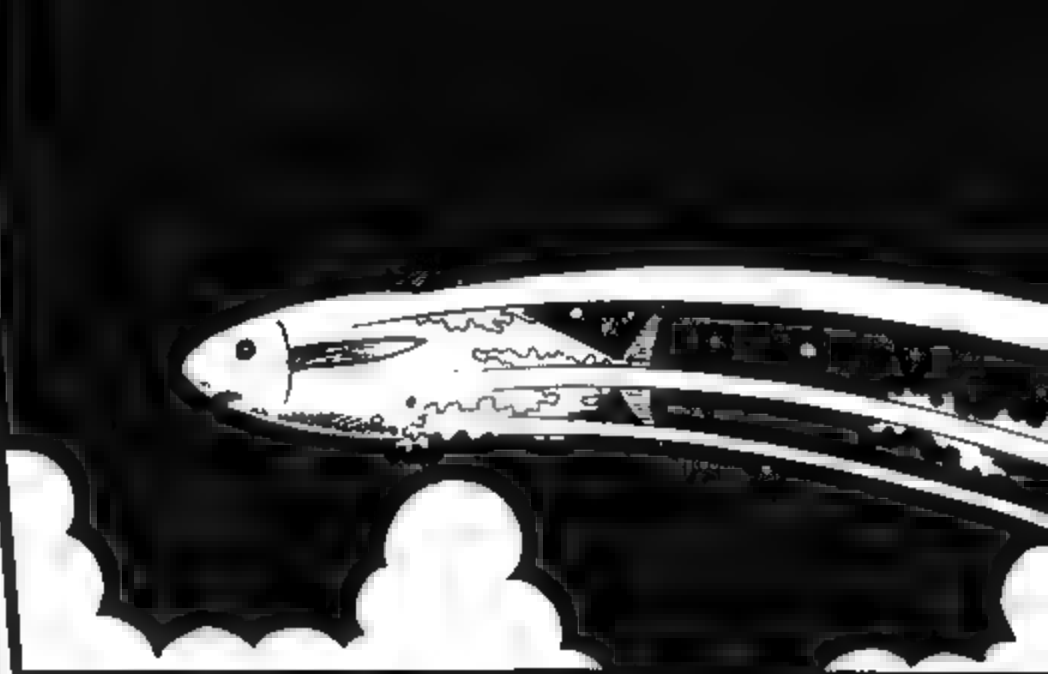












べべべ
紅まぐろが
空を飛んだっ



さあ
ついて
来たまえ

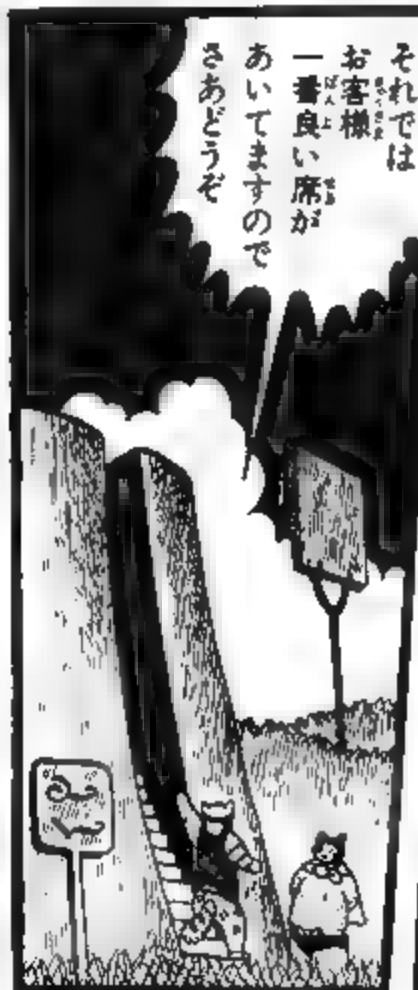


わしの漁場の海中と
つながってるんだよ
だから
わざわざ海まで
出かなくても
この森の中で
まぐろがとれるんだよ

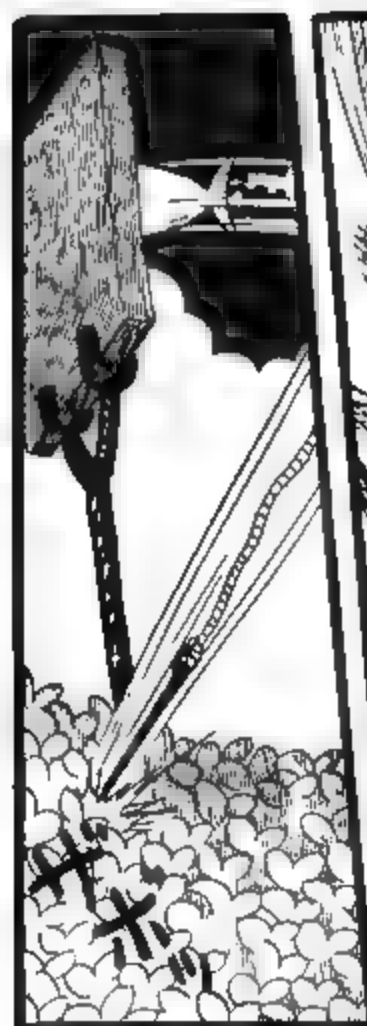
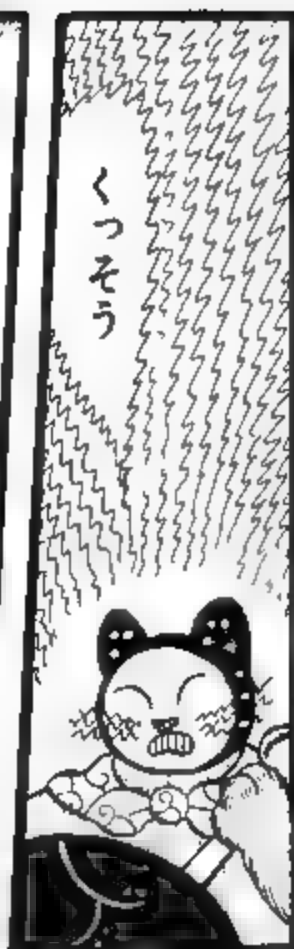
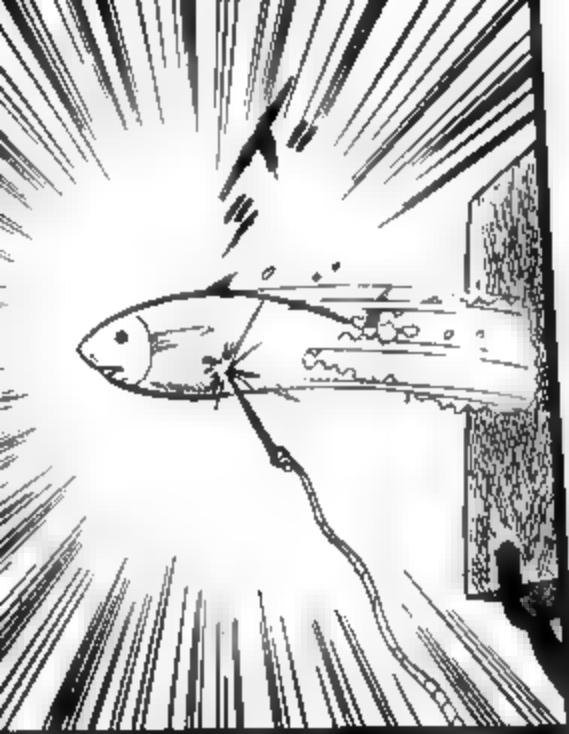


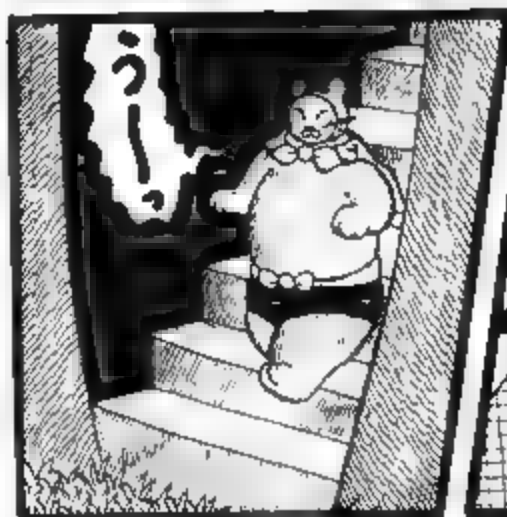
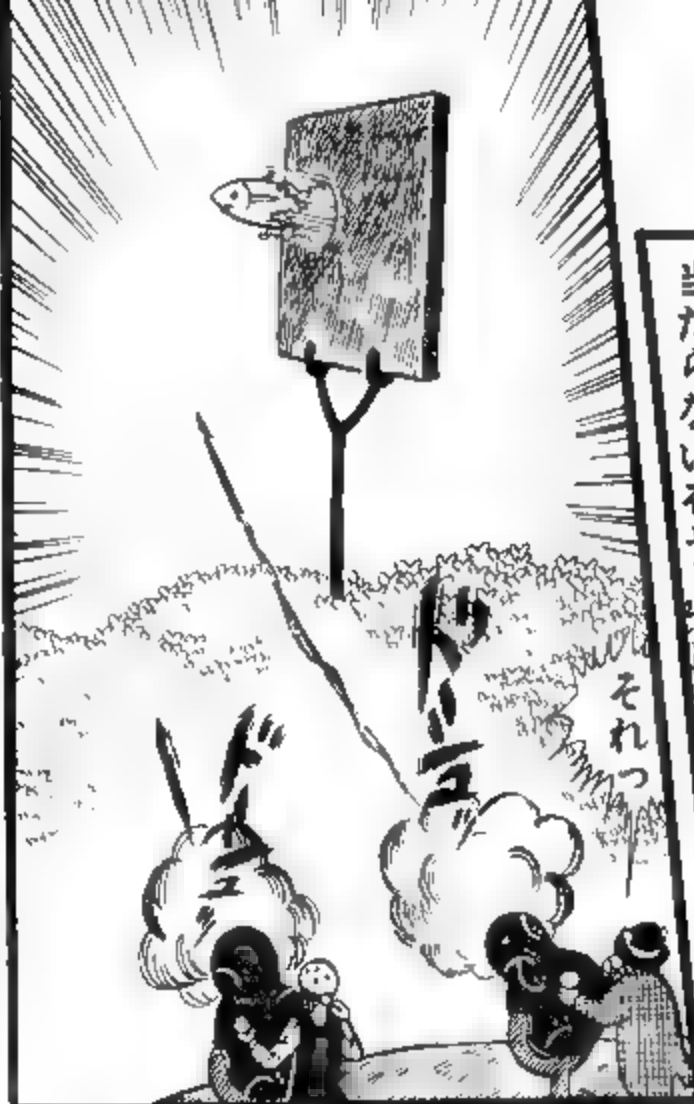
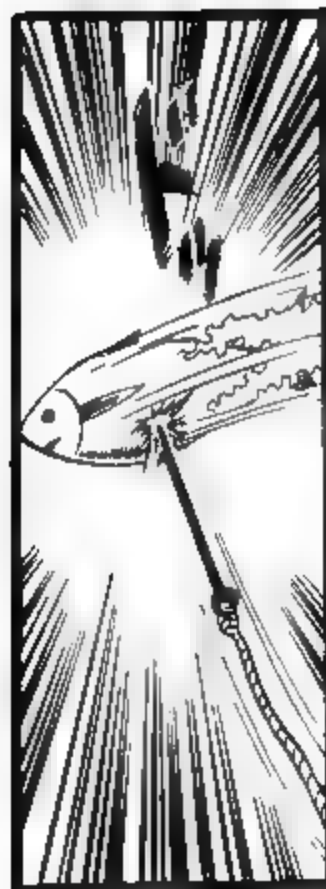
あの二枚岩は

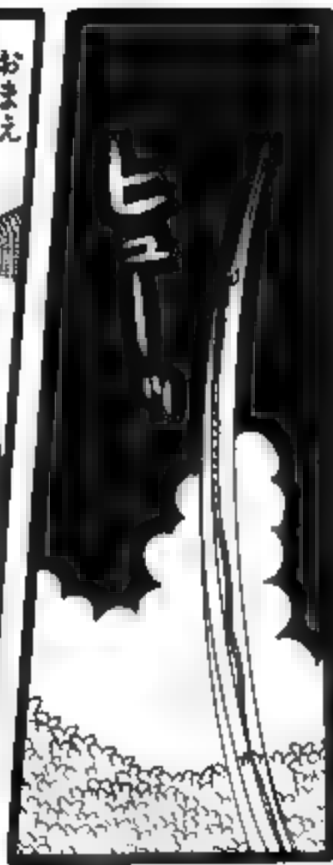
アタゴオル物語④

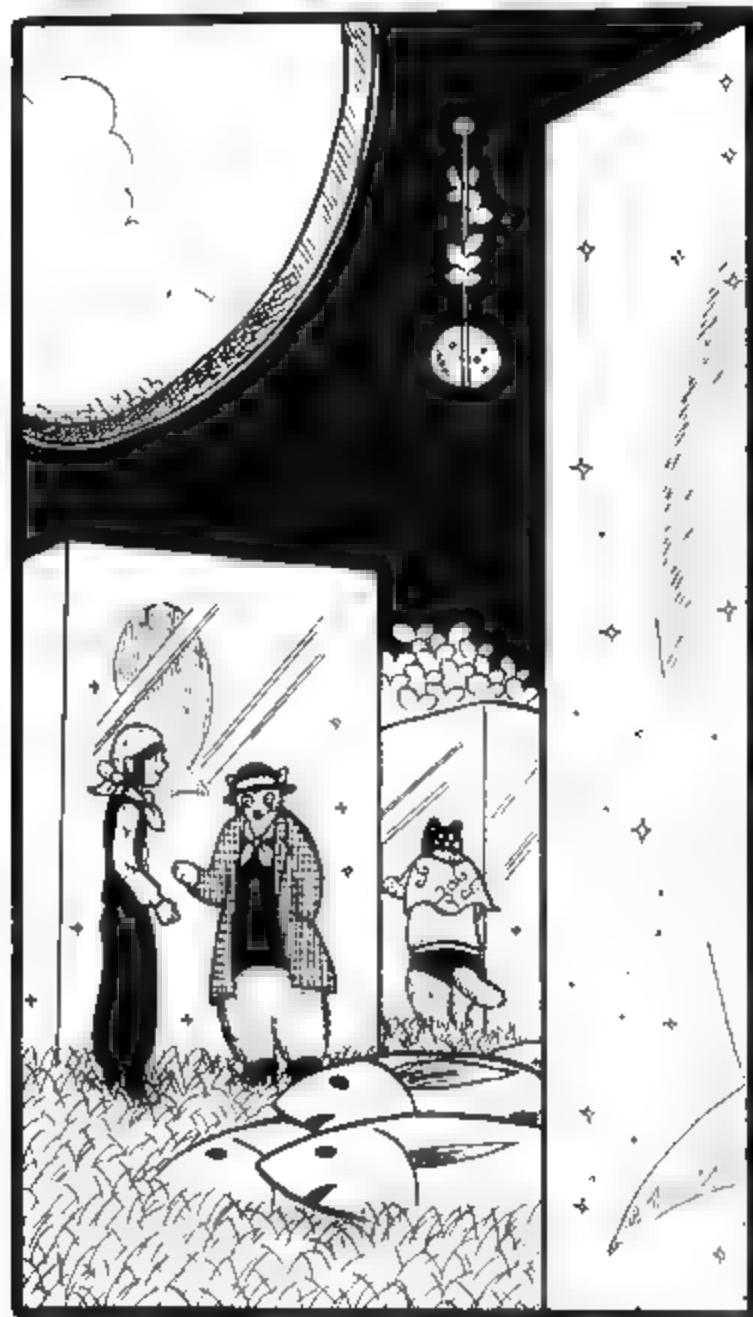














では
これは
タクマ君の分です



タクマ君が二十発で
まぐろ十五匹
パンツ君は八匹
だね

全部銀くじらと
交換するかい？



ヒデヨシに
半分やるよ

ホント



おれは
紅まぐろを
一匹もらってくよ

はい

ううっ



んめー

え？



タタタタマ
おまえ
いい奴だ
なあ

こら
よせよ



アタゴオル物語④



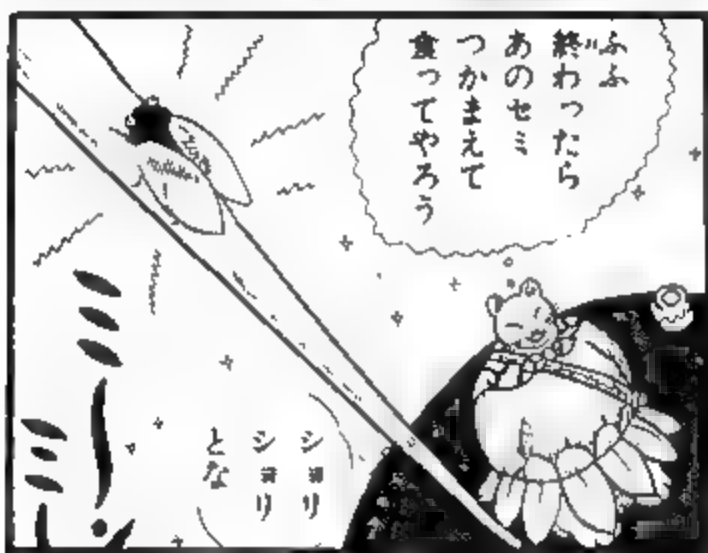


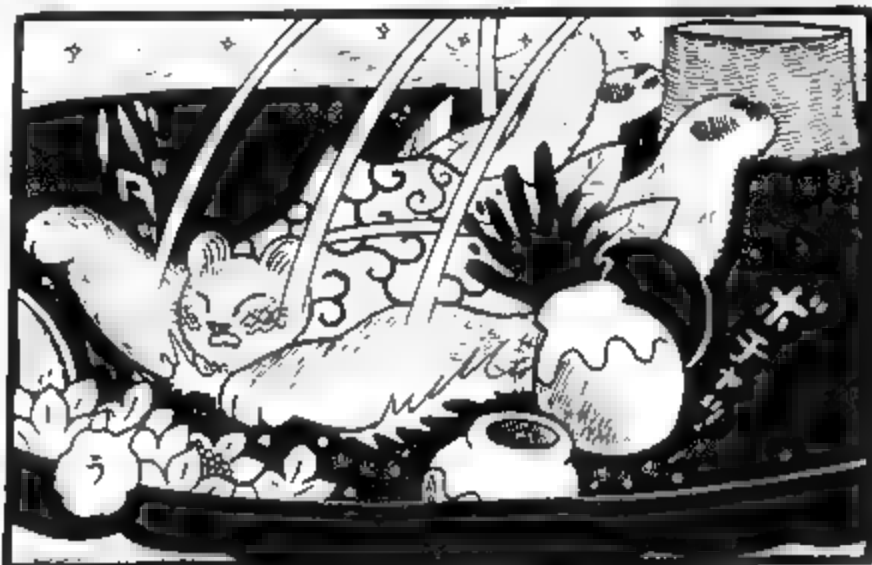
ゆうだ もり
夕立ち森















あの森の中の
せんたく場に行けば
きつとその絵具
落ちますよ



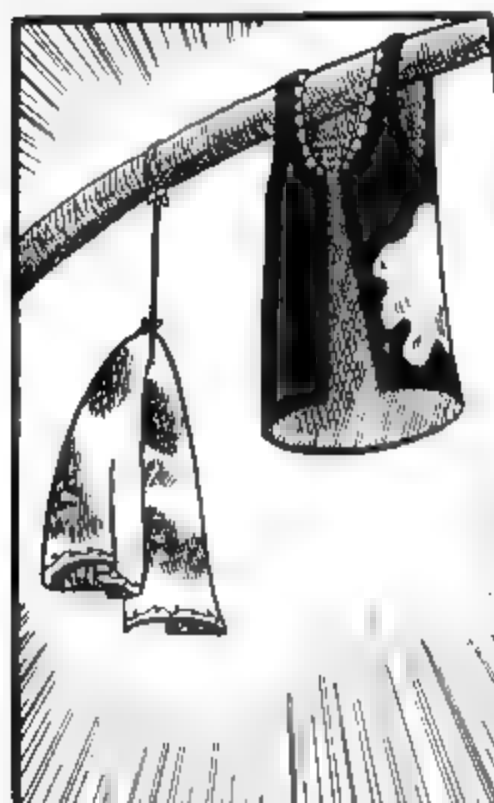
夕立ち森の
せんたく場か



ようし
行こうぜ
テンブラッ

アタゴオル物語④





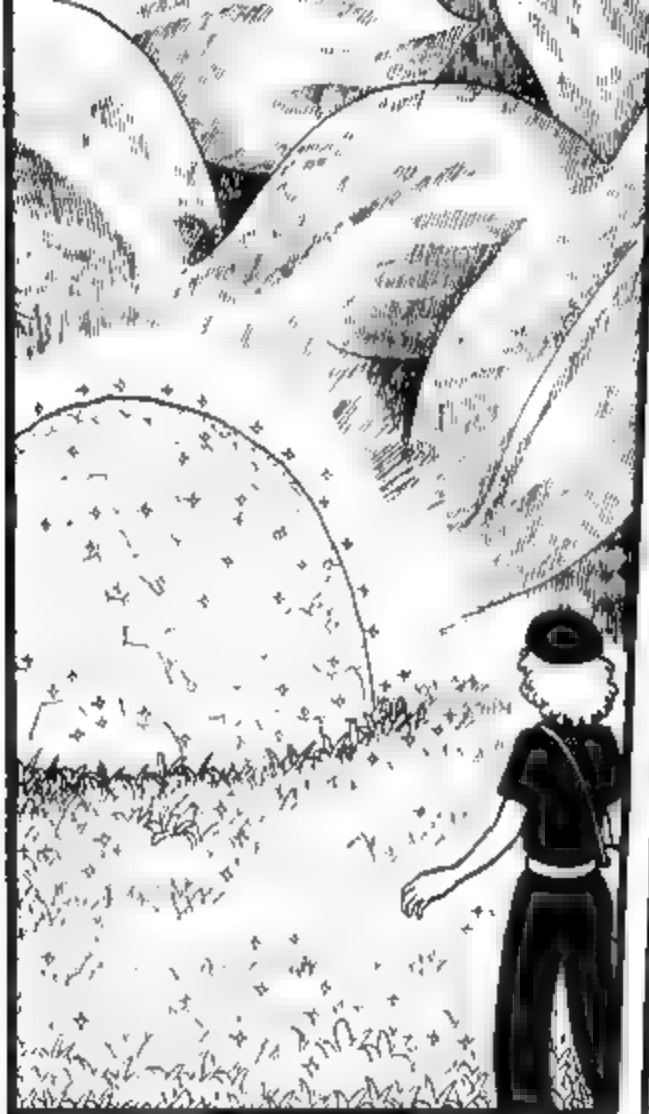


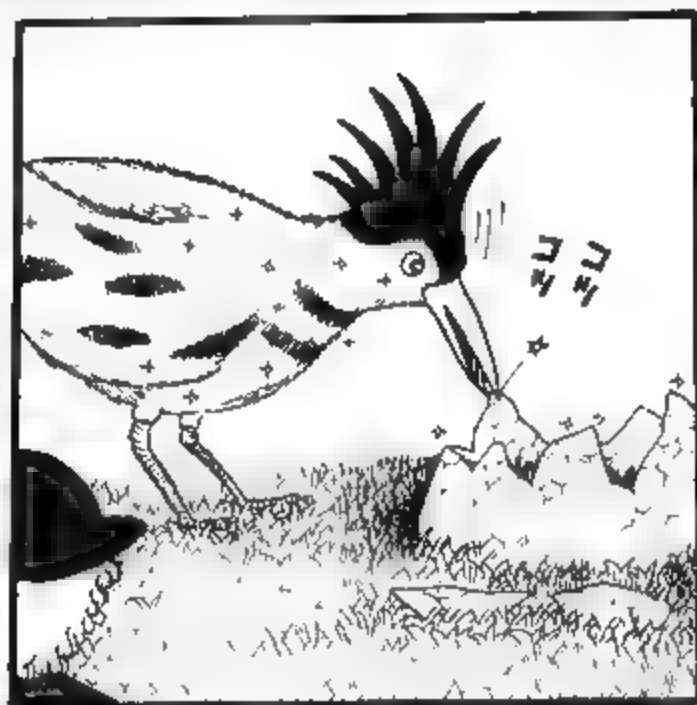


アタゴオル物語④



...博士これは
いったいなんの
骨ですか?





博士はあの鳥の
生まれる時間が
おわかり
なんですか？

この森の中で
生まれるんだが
夕方になると
ポックリ
死んじゃう
のよ

そして
明日の今ごろに
なるとまた
緑水晶の卵の中から
生まれて来るんだよ



ああ…レバ鳥は毎日
昼すぎになると

げえる
げえる
ぐぐう
ぶが



フフッ
おかしな
鳴き声
だなあ



レバ鳥は煙宮島のこの森に
しかない貴重な鳥なんだがね
生まれる数が段々減って来て
今ではたった4羽しか
いないんだよ

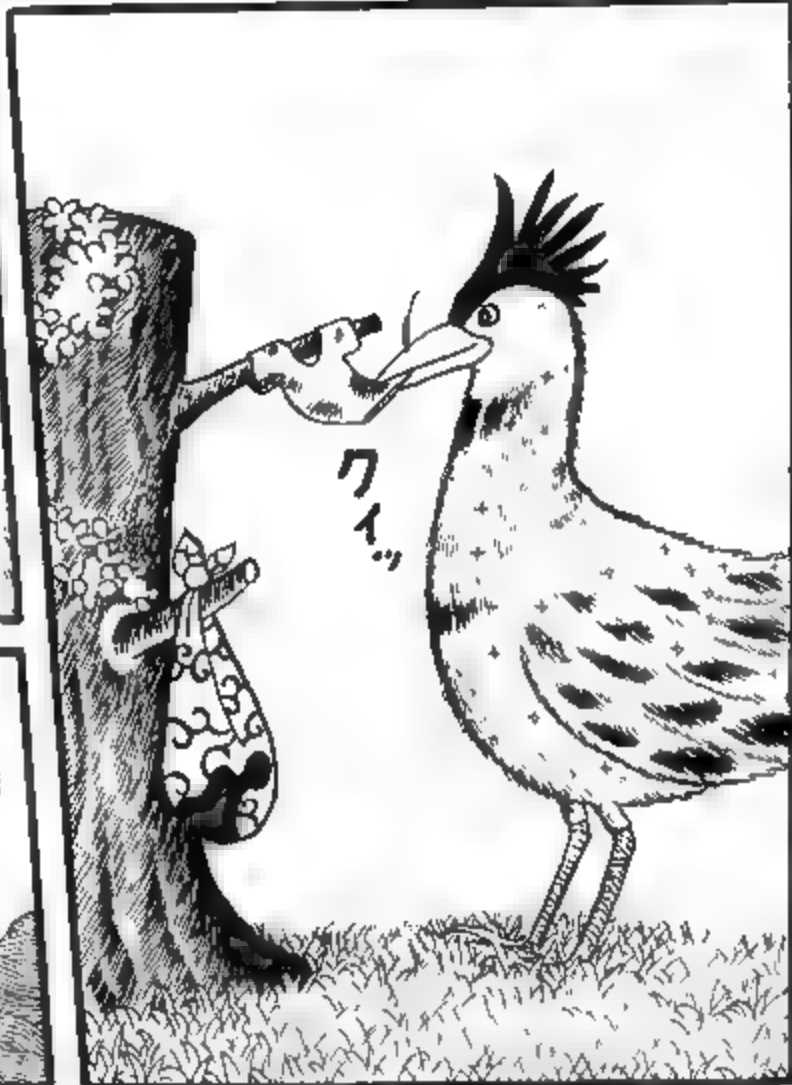
そう
ですか

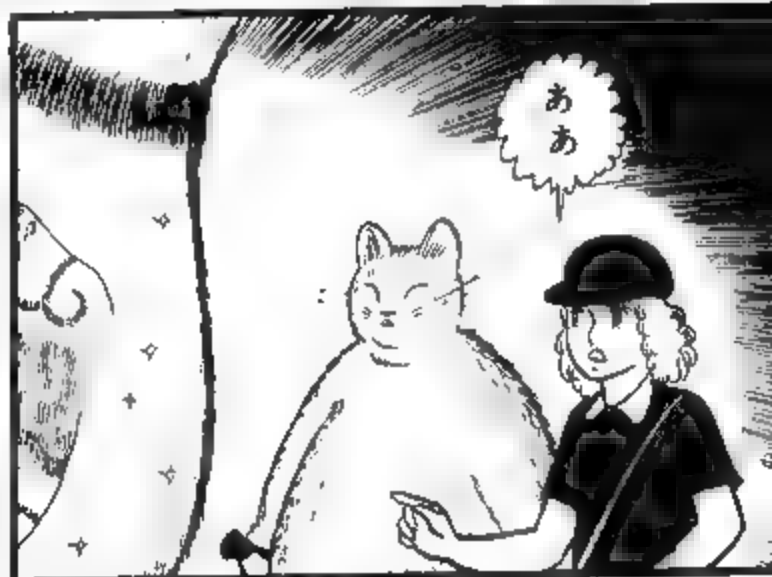
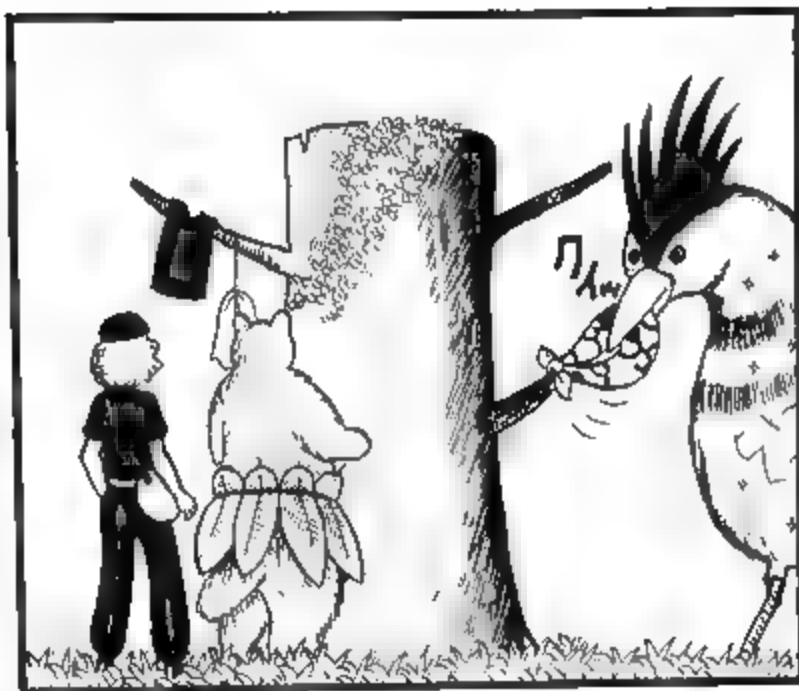


緑水晶の
カケラで作った卵
から生まれて
カケラを食って
大きくなる鳥だから
数をふやすためには
緑水晶をふやさ
なくては
いけないんだ…



アタゴオル物語④





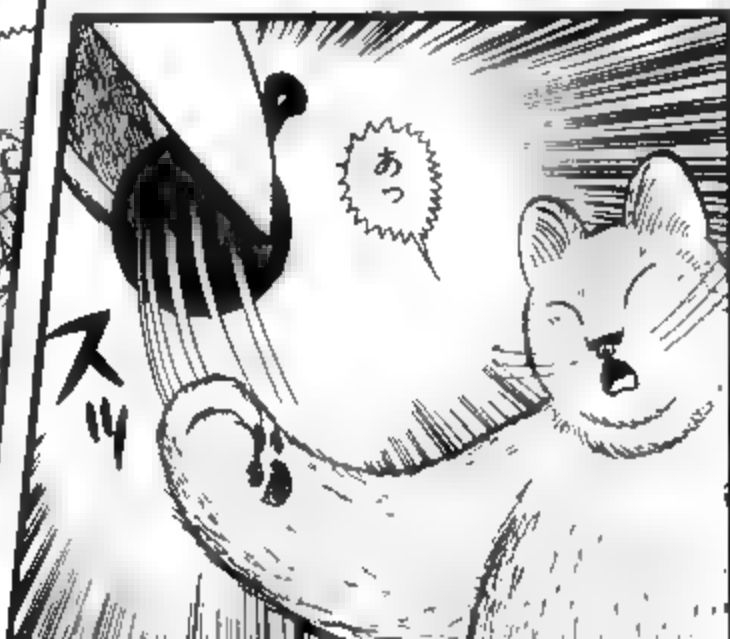


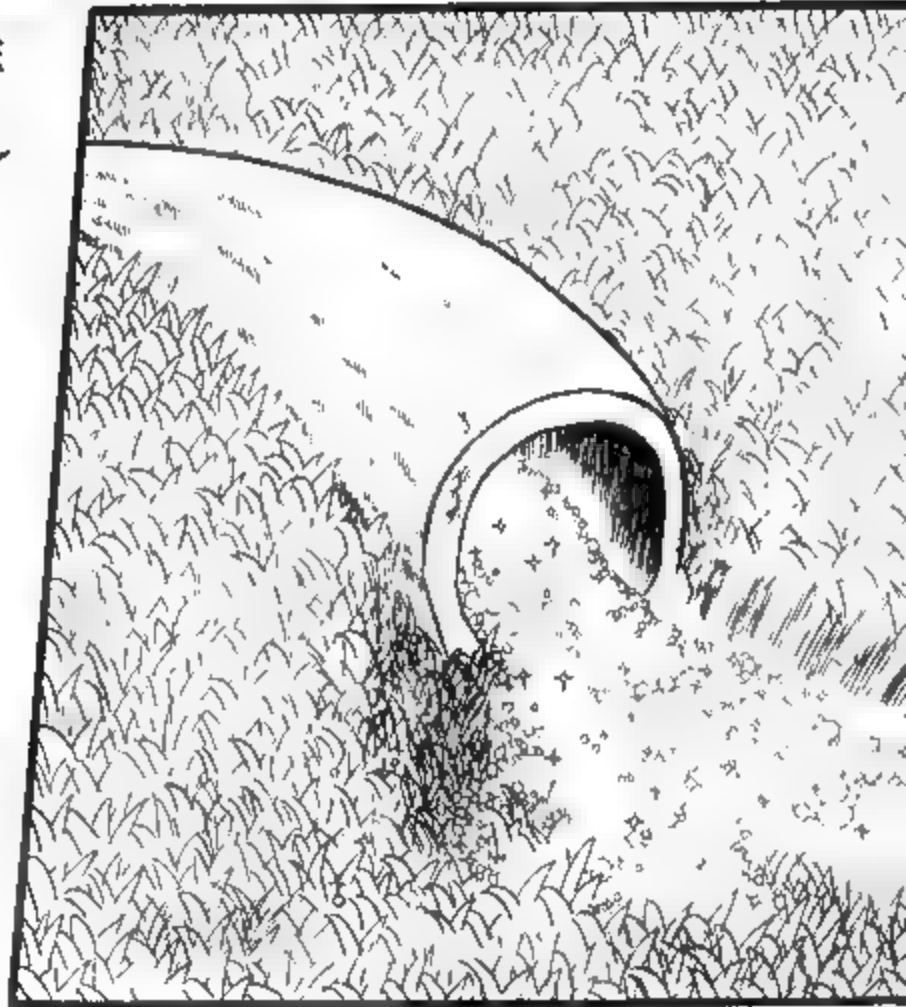
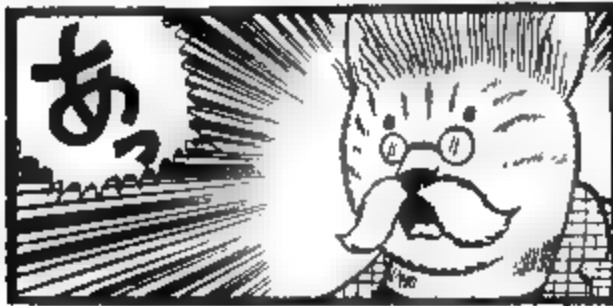
わしも……
それについて色々
考えたんだが……
どうもわからないだよ

しかし……
どうして緑水晶は
この島にだけ
あったのでしょう



こらーっ
酒かえせーっ









ニャーゴッ
お天気だーったら
かさをさしーっ
イエッ!!

やがて



3羽のレバ鳥は
タ方の空高く舞い上がって
行きました



ありー
がーとさん
イエッ

うへへっ
ハデな傘
だなあ
オレに一本
売ってくれよ



わしーは
タ立ち
森の
傘屋
だよーっ
イエッ
イエッ



おじさん
何やって
んの?

アタゴオル物語④







えんと



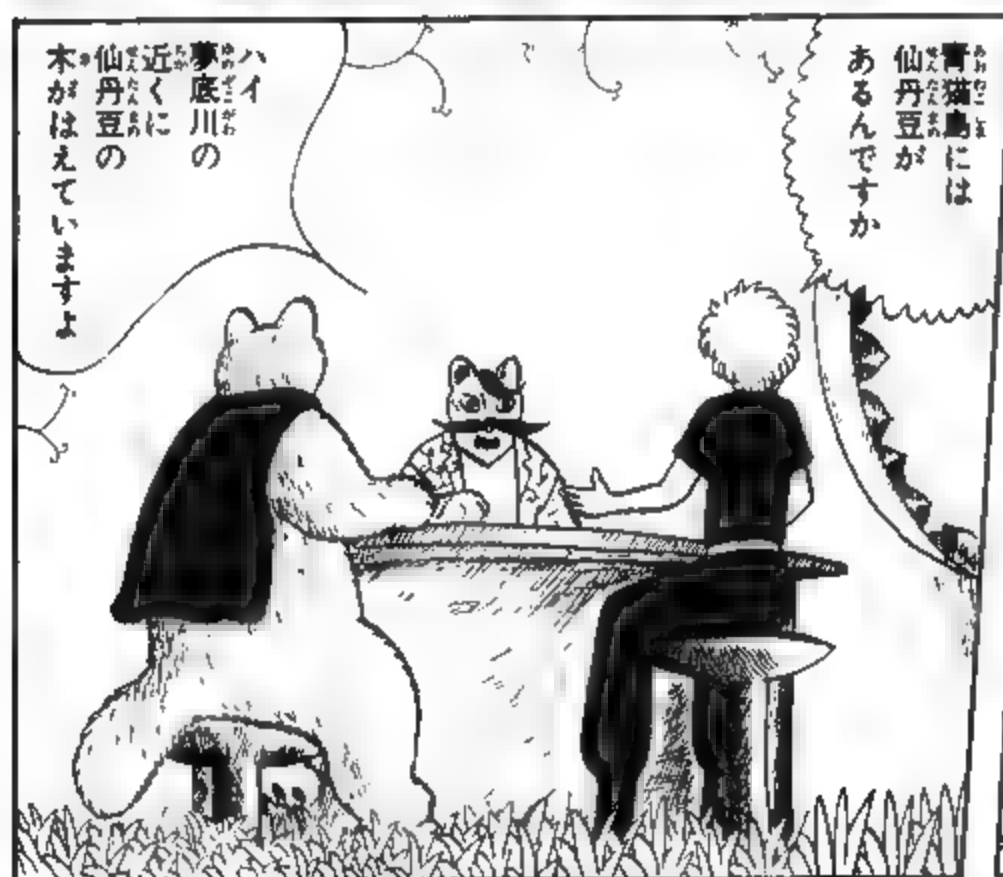
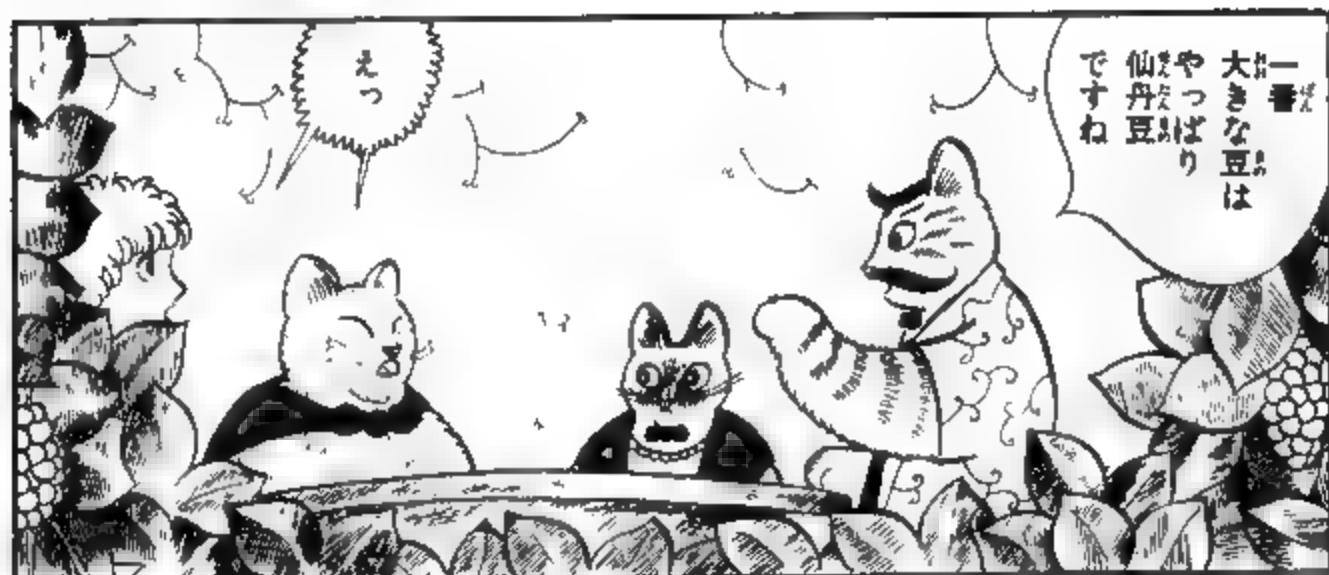
せんたんまめ
仙丹豆



青猫島について
からる日目の朝



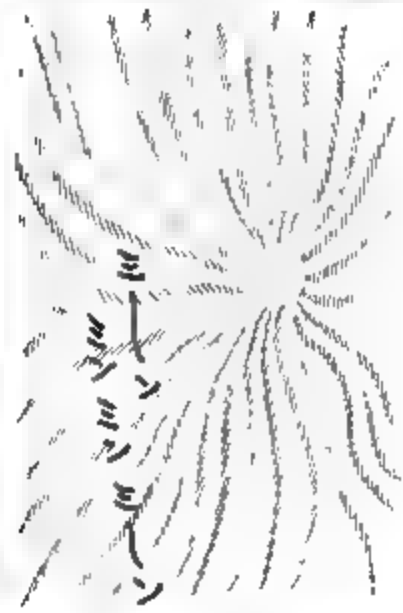
アタゴオル物語④





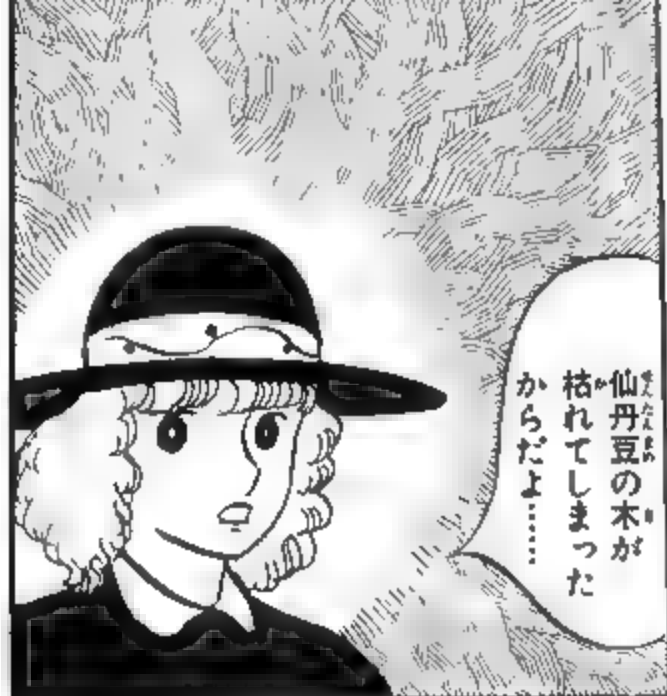
決まった
なっ

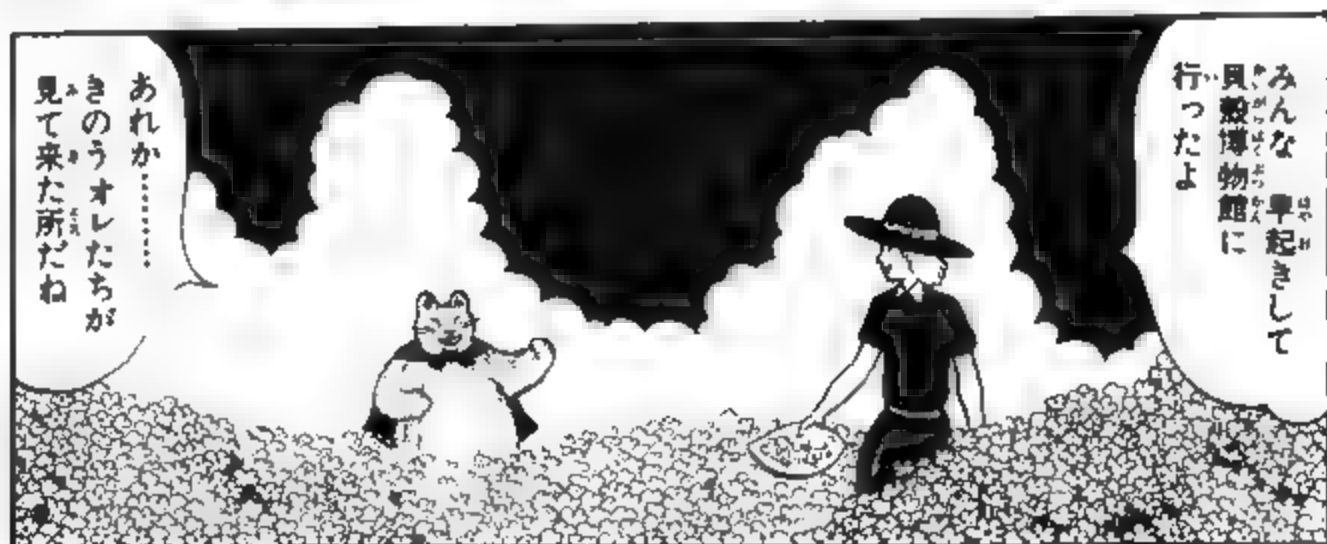
イエッ

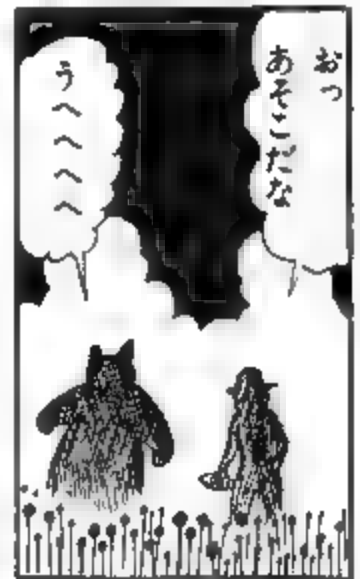


仙丹酒か……
鳥糞山にあった
あの店で飲んだ酒が
なつかしいな……

んめかった
なあ……



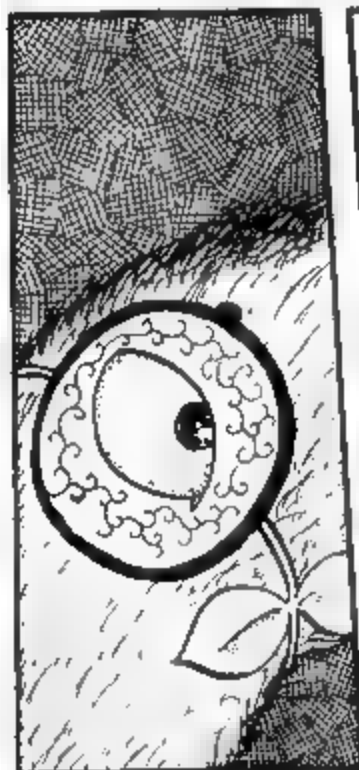




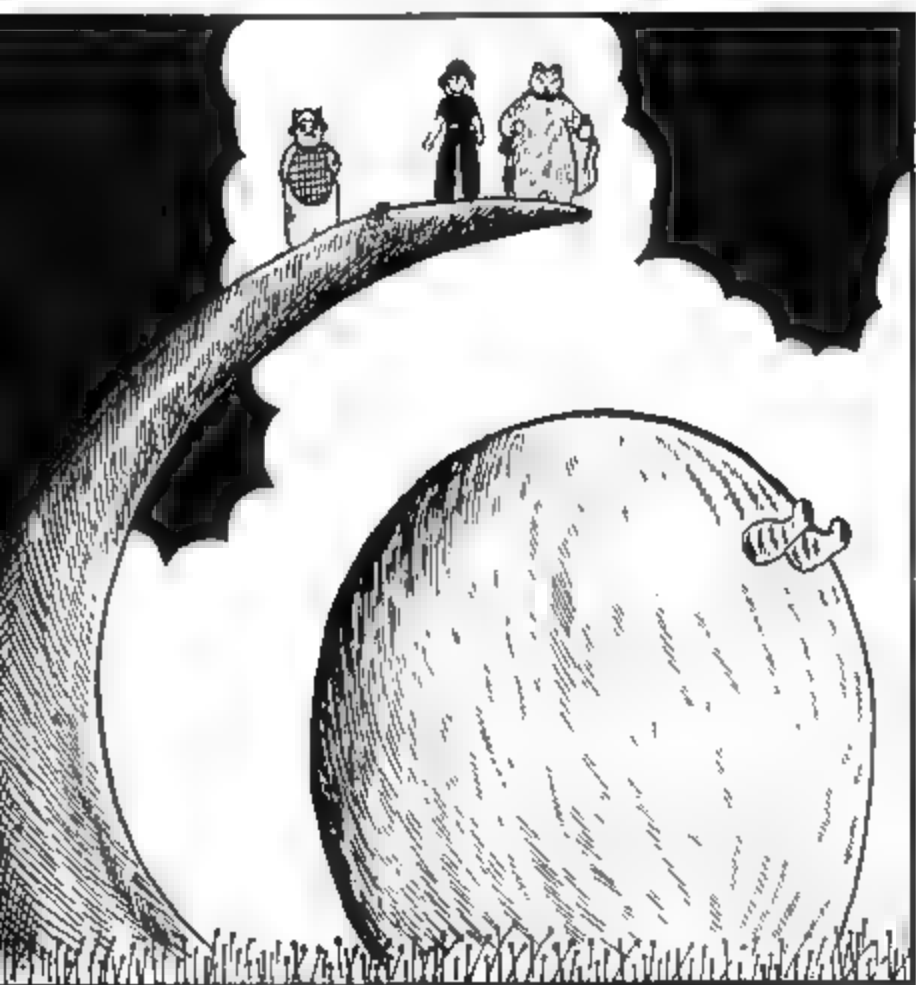


アタゴオル物語④





アタゴオル物語④



お客さんがあそこに近づくと
わしが島の道中から
注意されるんだよ

まつ　そういう
ことだからね



そうですか

しかし
ずいぶん
大きな仙丹豆
だなあ……



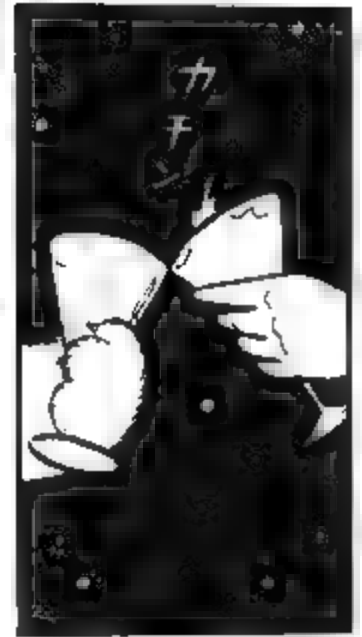
…では…

おう







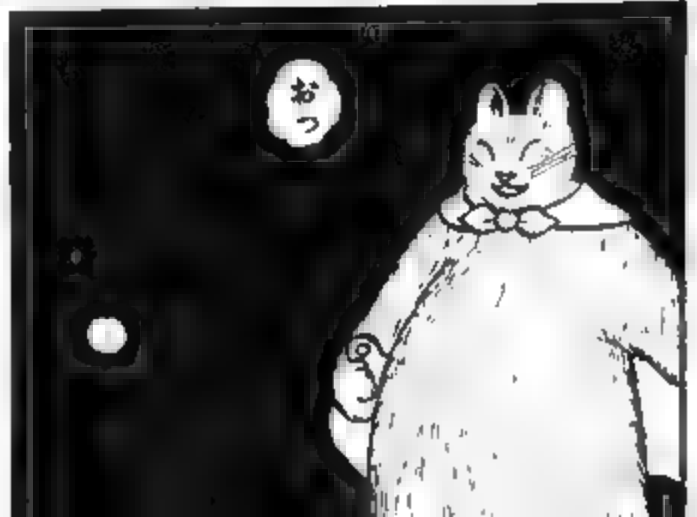
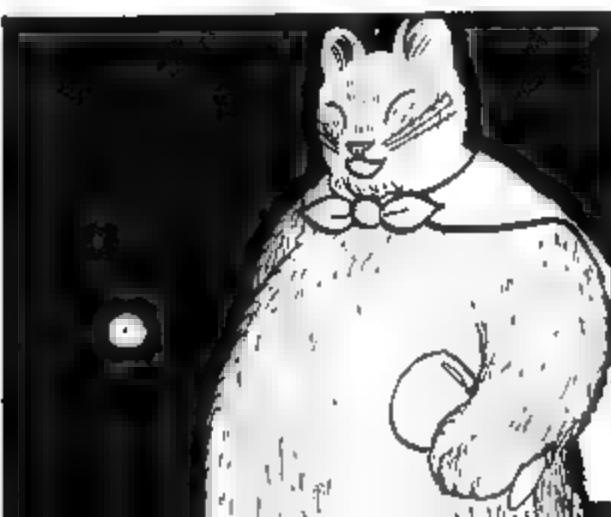
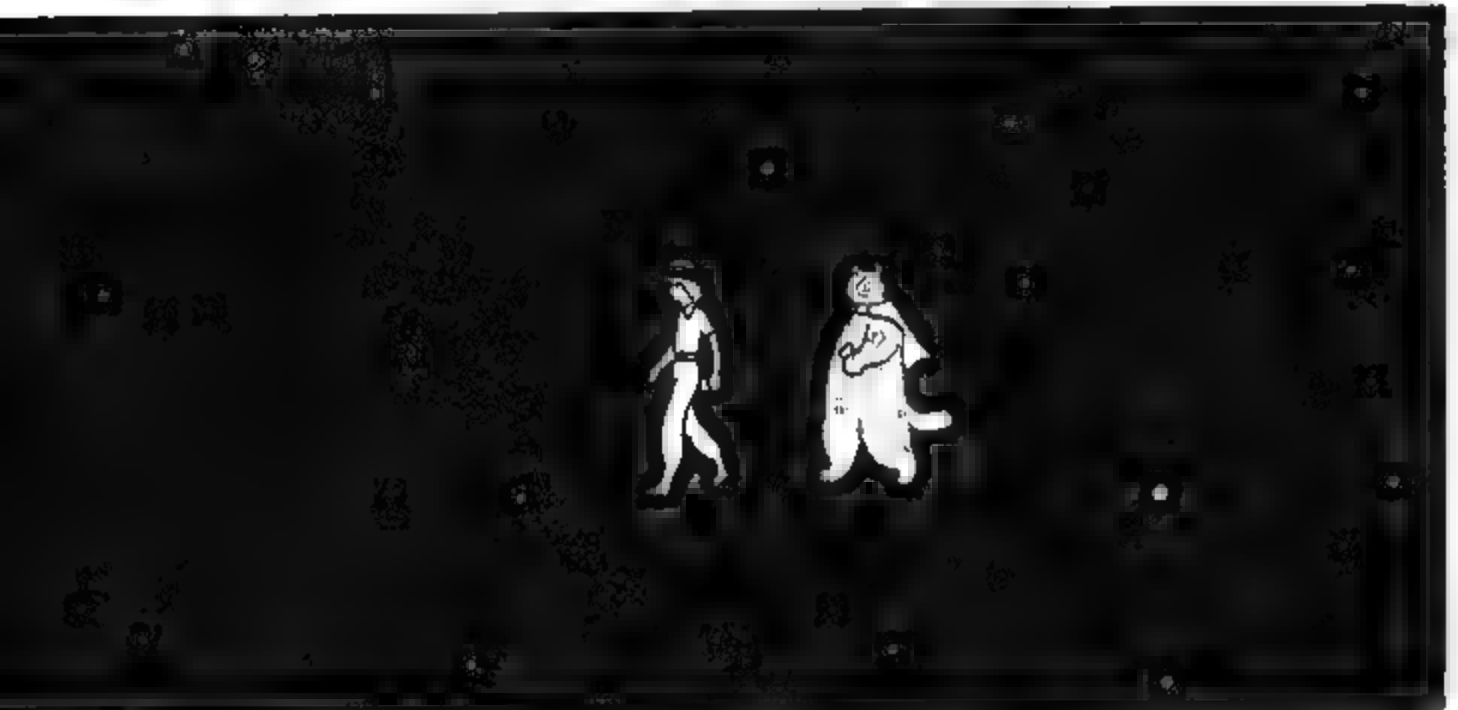
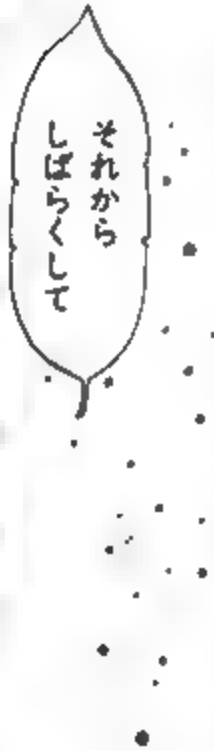


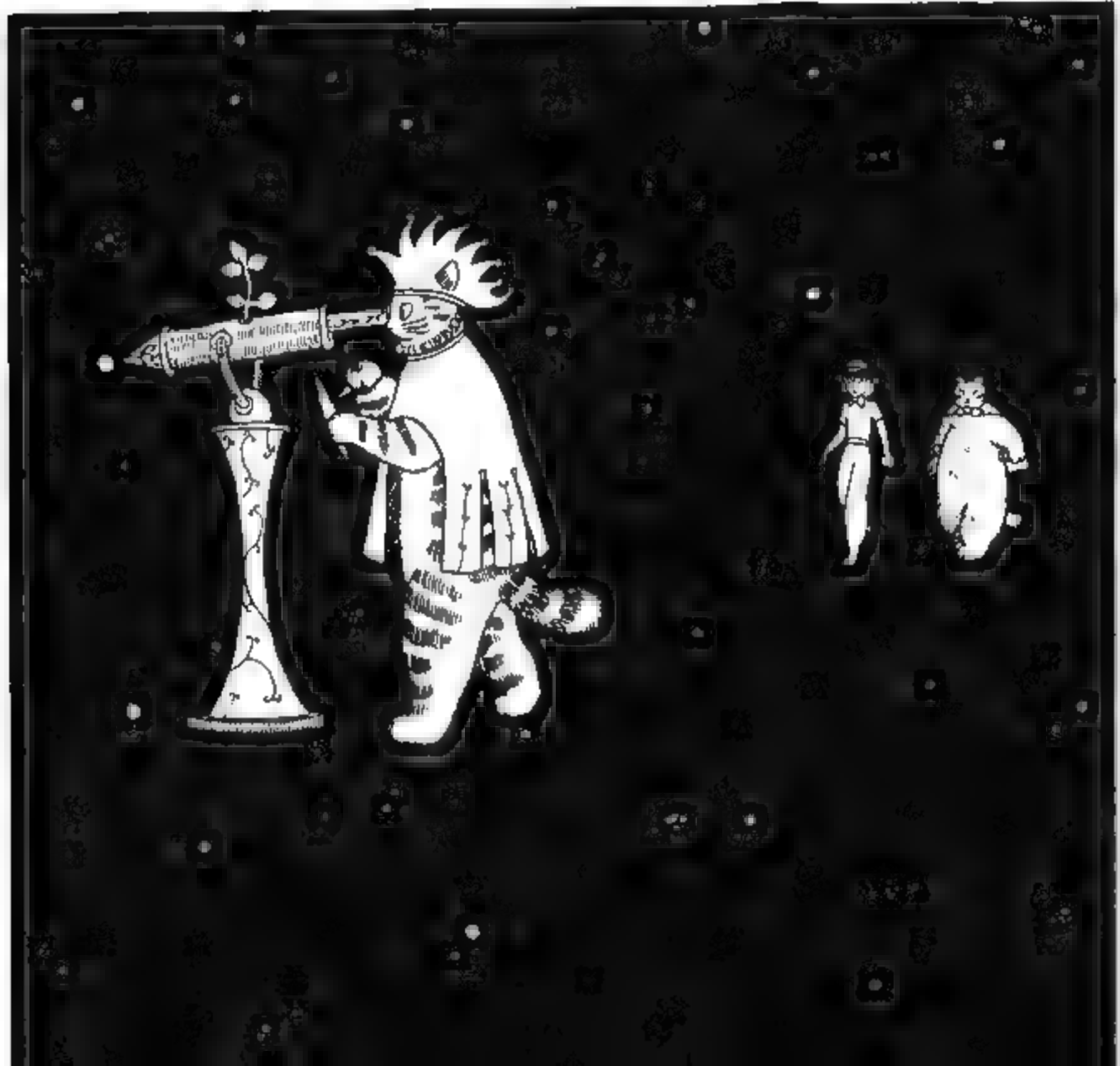
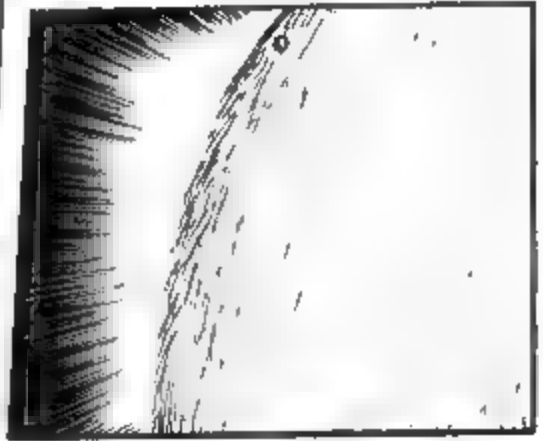
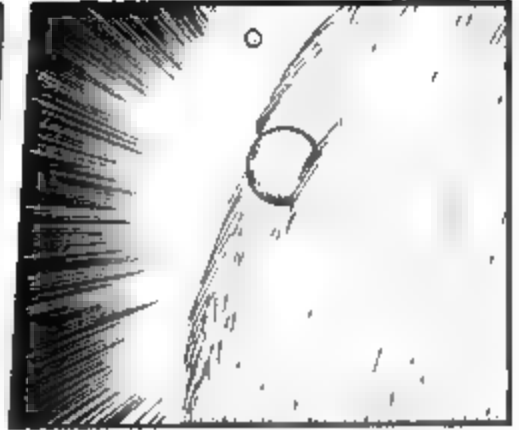
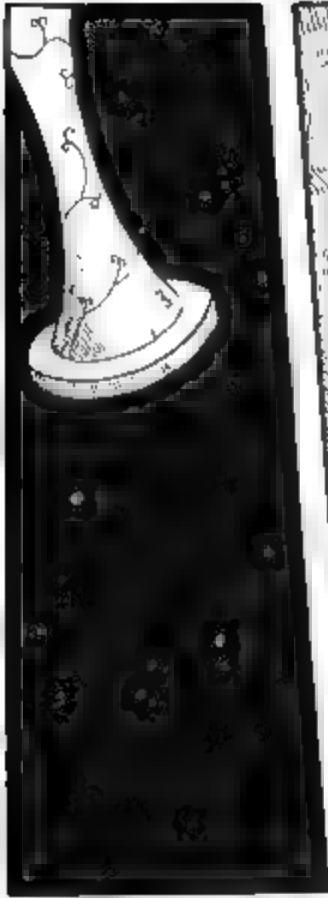
最高の
星見酒
だなあ



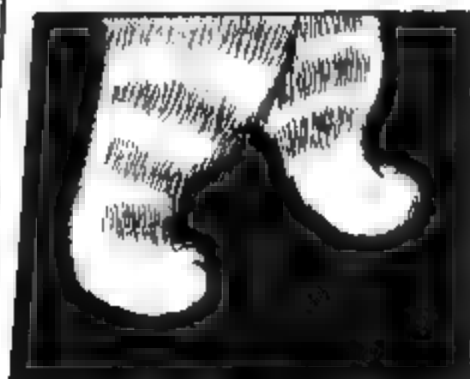
.....
あそこ
に集ま
って
るの
は？

.....あれは
芝居団
だよ



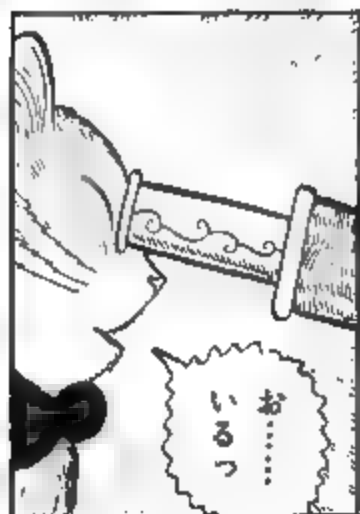


アタゴオル物語④





アタゴオル物語④



チンブラ
水晶座の杏里星は
こっちだよ



いや
まっすぐ行くと
馬ソリ座を
通るから遠まわり
して行くんだよ



遠まわりなんか
しないで
まっすぐに行こうぜ



だめだよ オレたちが
馬ソリ座に近づく
酒屋のおやじさんが
島の連中に注意されるって
言ってたじゃないか



酒屋のおやじの
かわりに
オレが注意されれば
いいんでしょ



じゃ先に行って
待ってる
からね



おい
こら...



らん
らん
らん



フーム
この辺が
馬ソリ座か



そのころ
パンツたちは



アタゴオル物語④

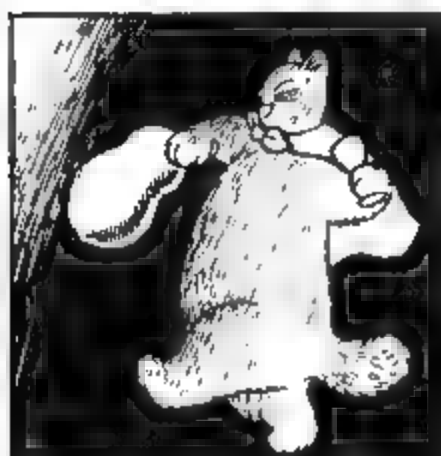


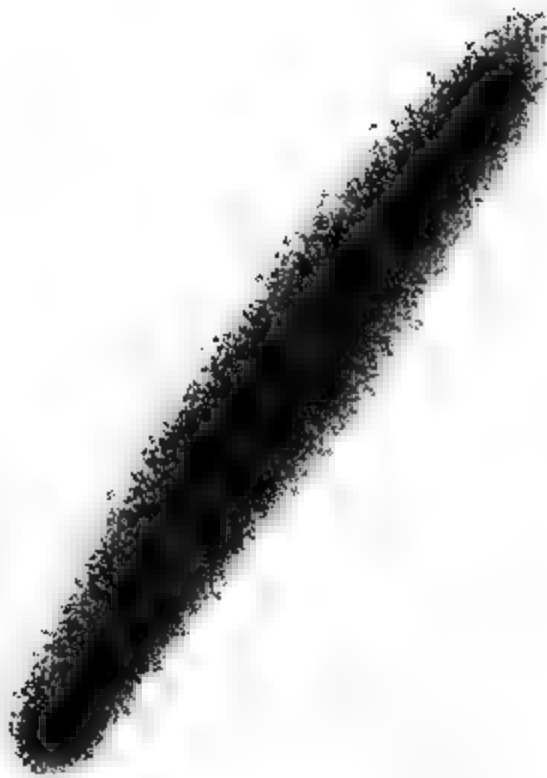
貝殻博物館の
中にいました





アタゴオル物語④

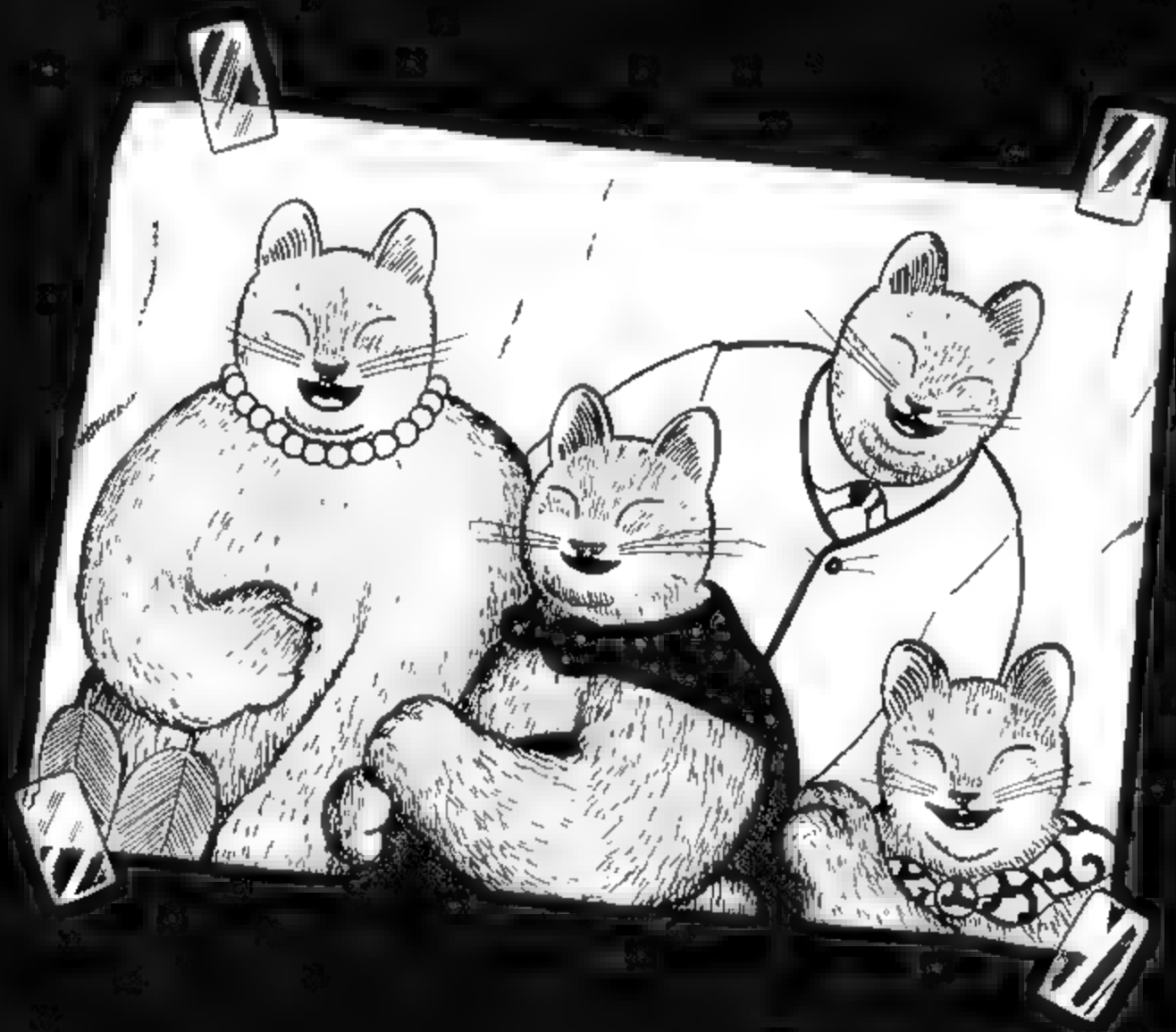


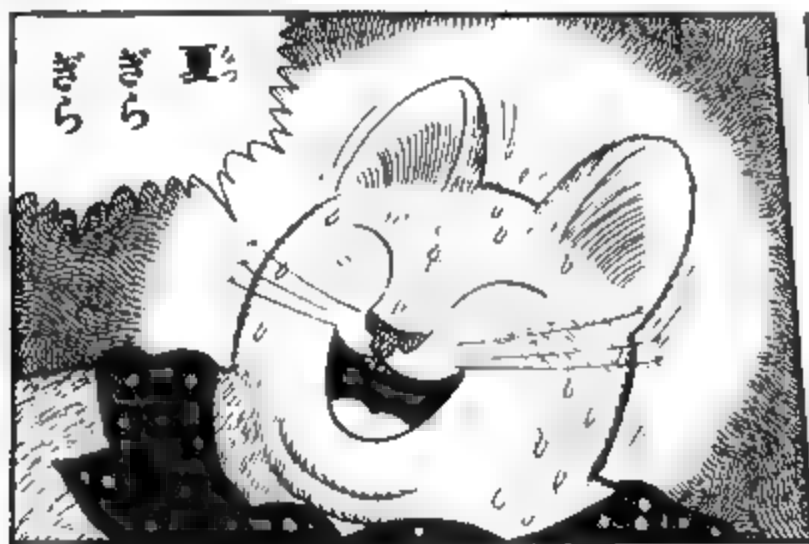


ゆつくりと
消えて行きました



かふんだに
花粉谷



















アタゴオル物語④





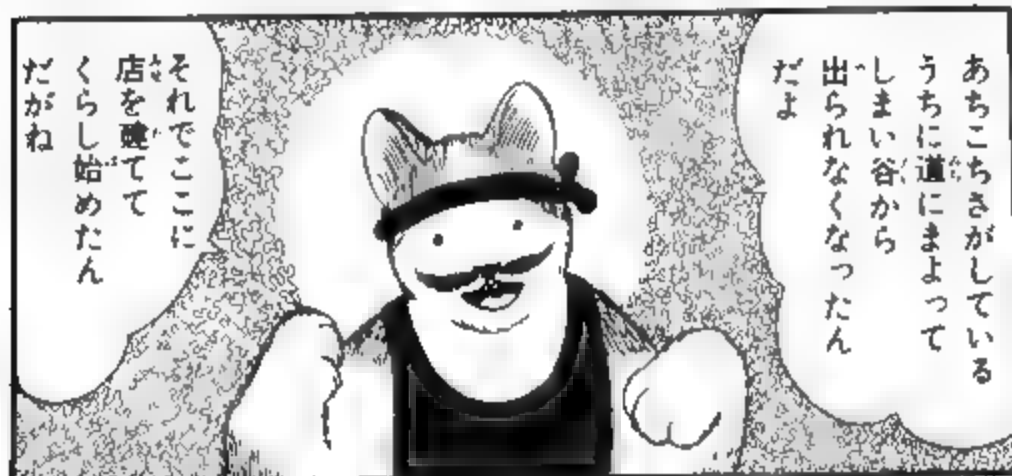
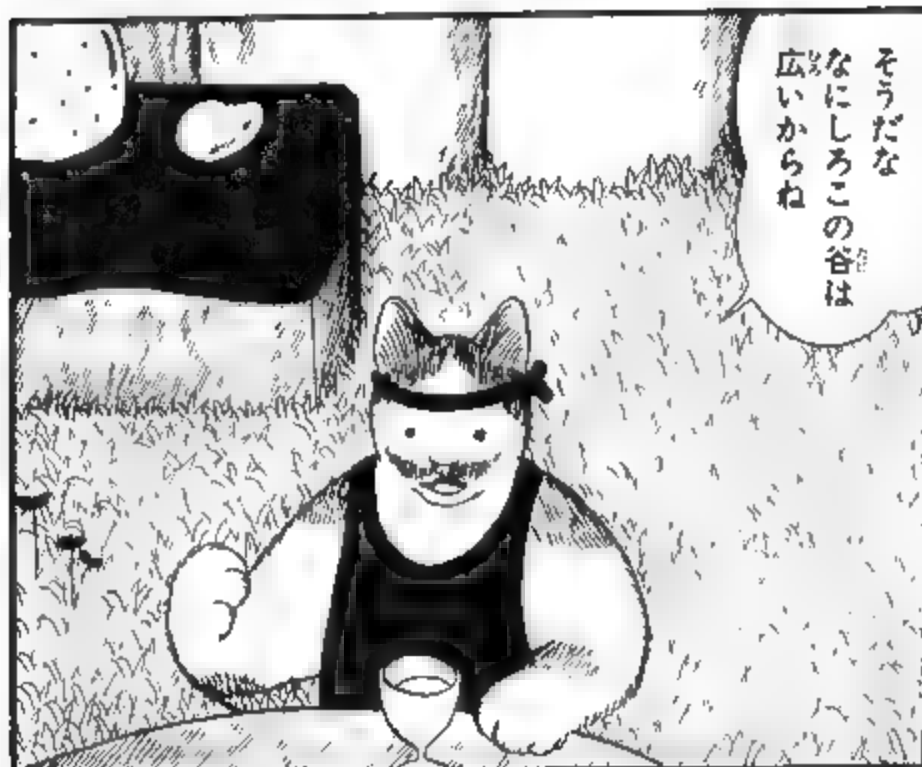




イエツ
イェツ
イェツ



アタゴオル物語④



それでここに 店を建てて ぐらし始めたんだがね

5

すっ
すると

この谷に入ったら
2度と
出られないん
ですか



いや
そんな
ことはないよ

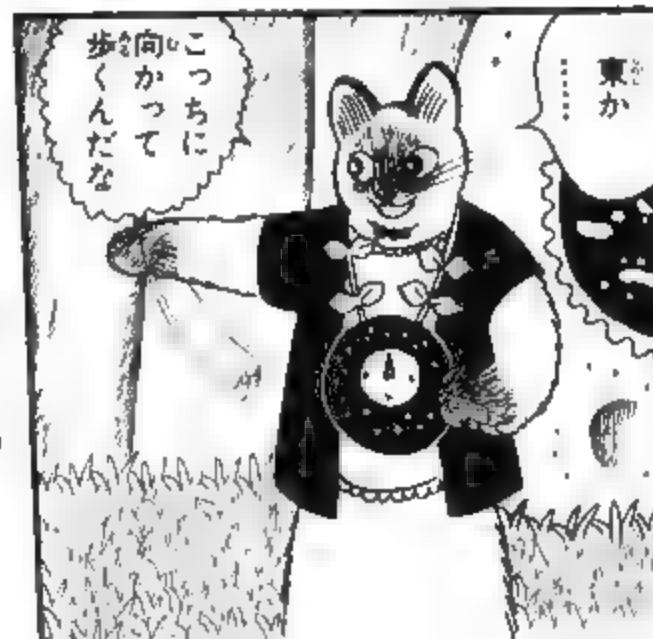


この針は常に
南を指しているからね
これをたよりに東に向かって
まっすぐ歩くん
だそうすればこの
谷を出られるよ



東か

こっちに
向かって
歩くん
だな



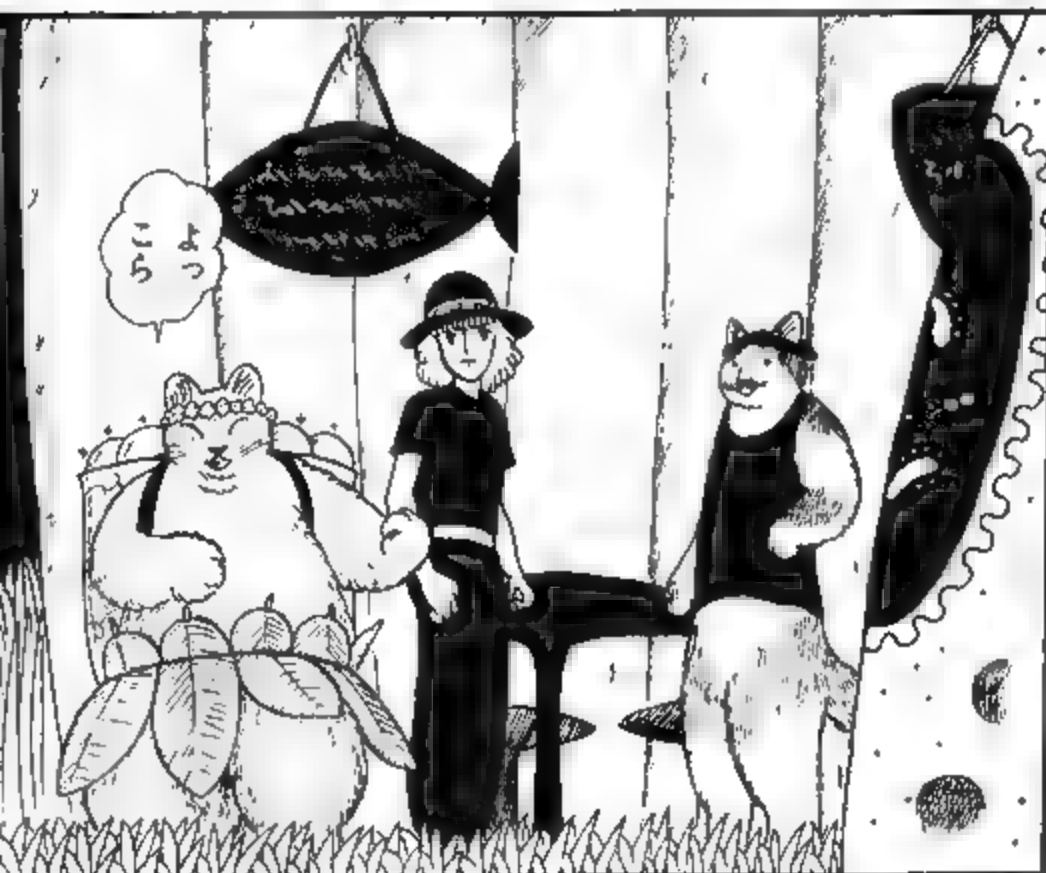
わしも一時はこの谷を
出て海岸でくら
してみんだが
にぎやかな所はあんまり
好きじゃないんでな
こうした山の中が一番
ってわけさ



わしの作った
この方向針を
持って行けば
だいじょうぶさ



アタゴオル物語④







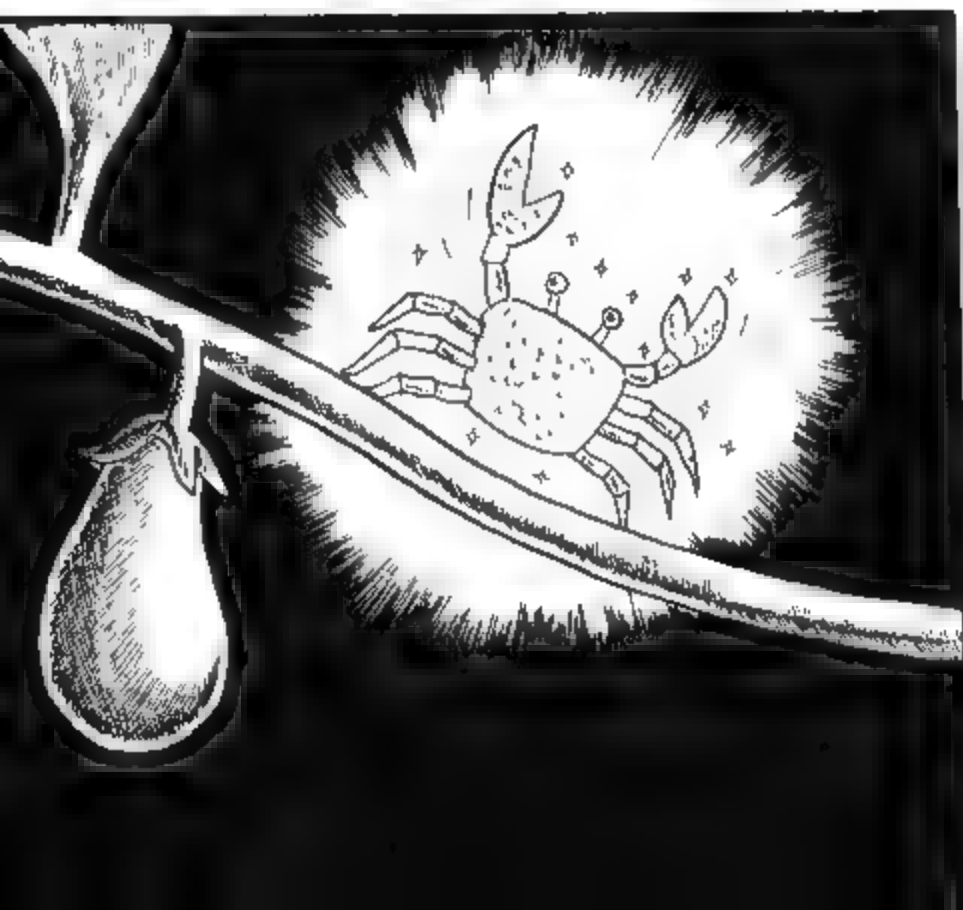
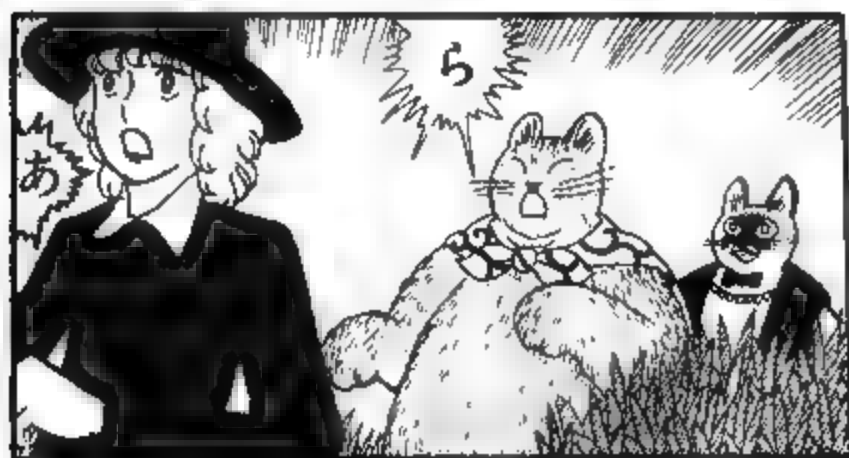
それじゃ

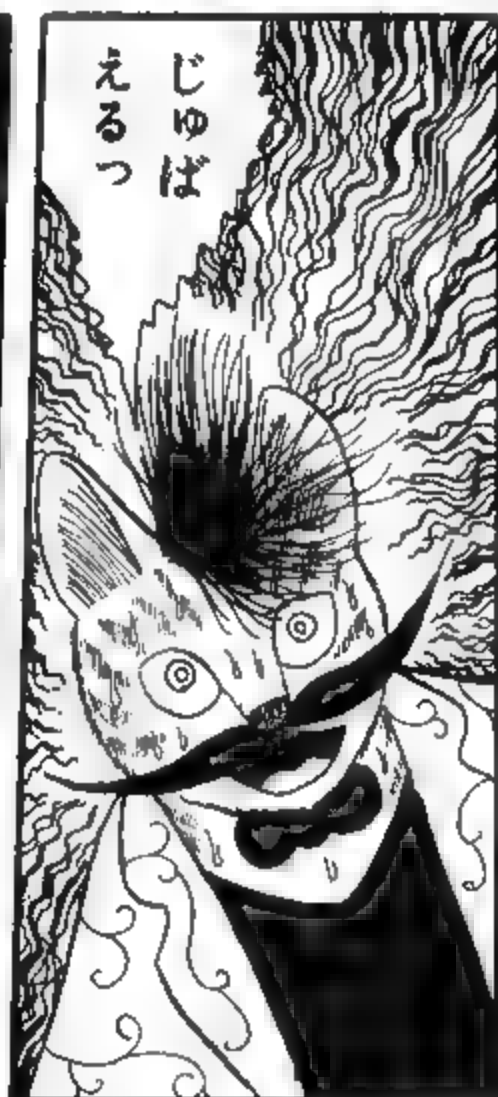
床屋まつりの夜に





アタゴオル物語④





アタゴオル物語④

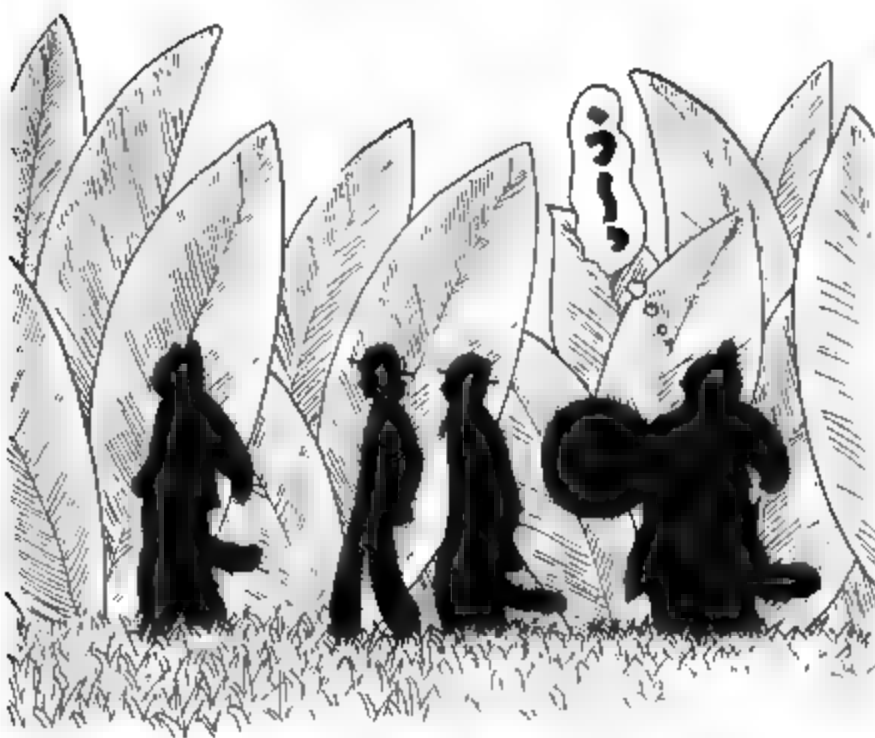


じゅばえる……？









うへへ
紅マクロが
山積みにな
ってるぜ



オウ

よう
ヒデヨシ
行くぞ



うへへ
うへへ
うへへ

ああっ



みんなが沼に
ついた時は
もう陽がく
れて
いました



そう
ですか

このボンバ林を
ぬければカニたちが
集まってる
仙貝沼が見えて
来ますよ

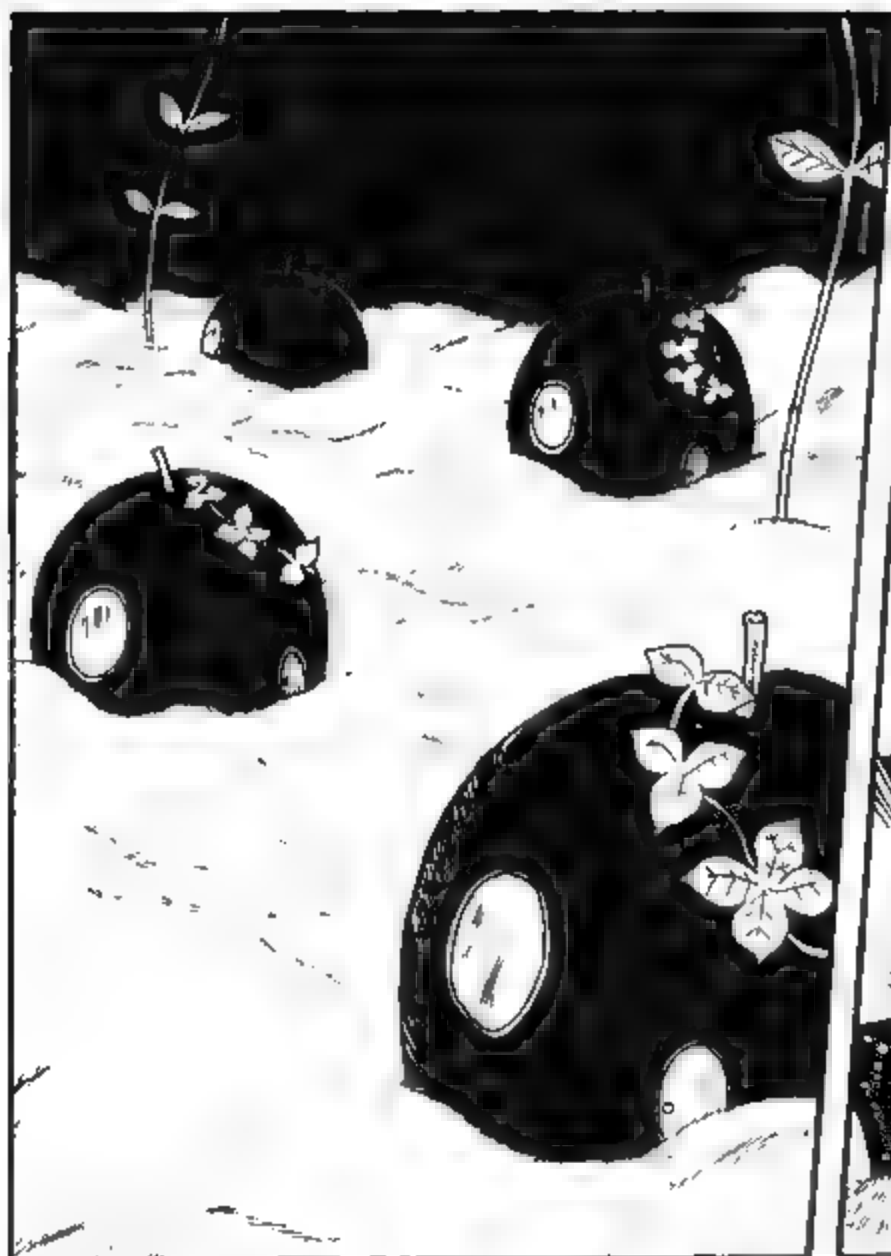


この沼は
カニの生まれ
故郷なんですよ



アタゴオル物語④





じゅばえるって
なんですか？



雲野原のリンゴの
家の中でじつとして
いればわかりますよ

さあ
いそいで
行きましょう



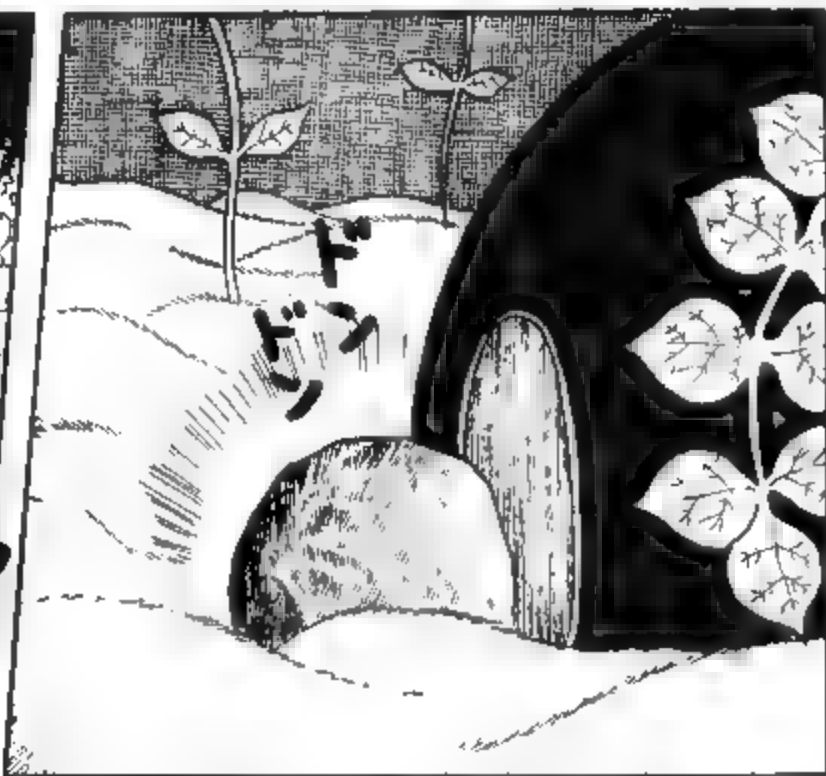
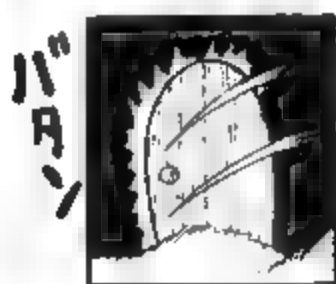
オレよ
今夜ひとり
いたいから
むかいの家に
いるわ

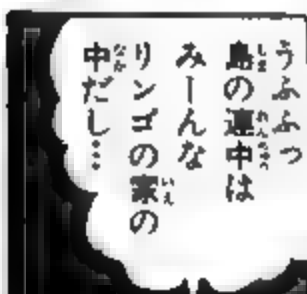
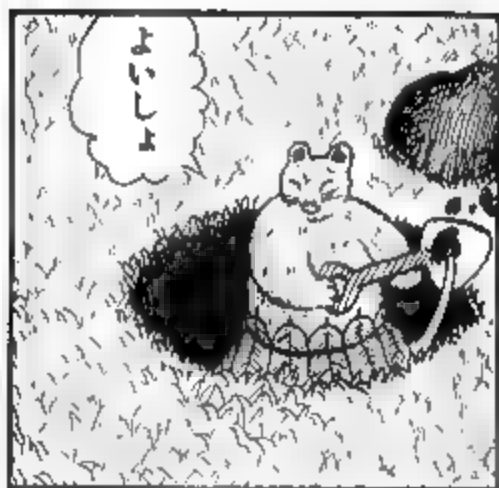
それは
かまいませんが
今夜は外に出ては
だめですよ

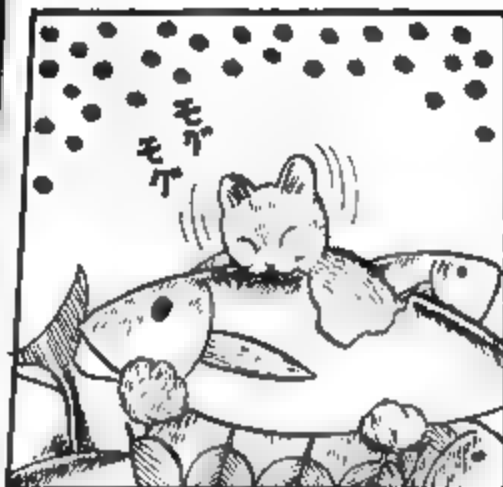
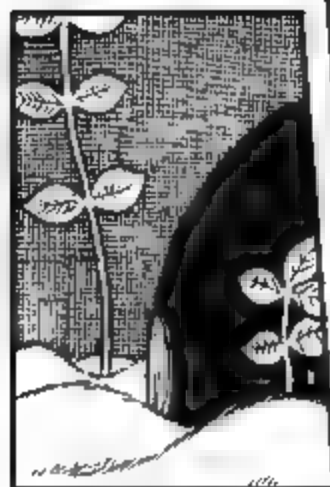


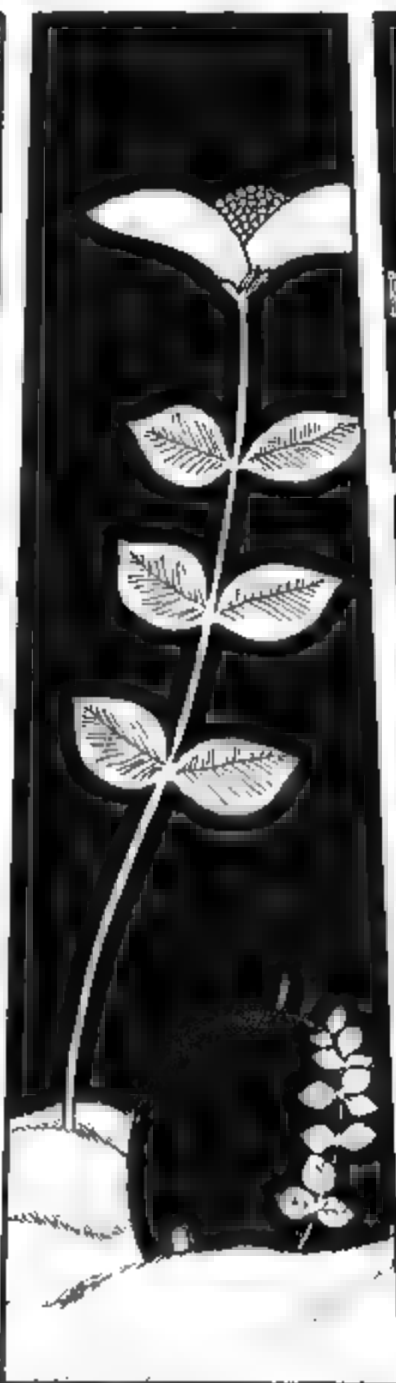
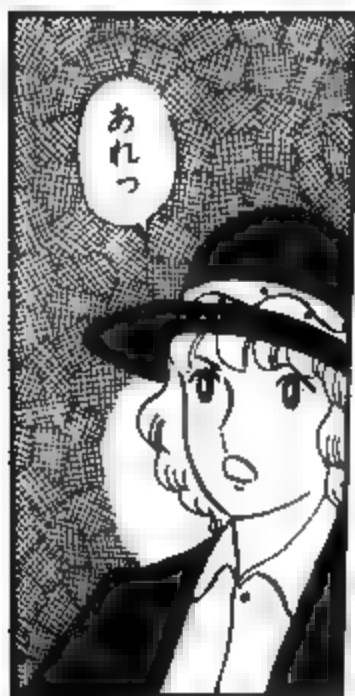
よし
この家に
しよう

アタゴオル物語④









カ

ル

ル

ル

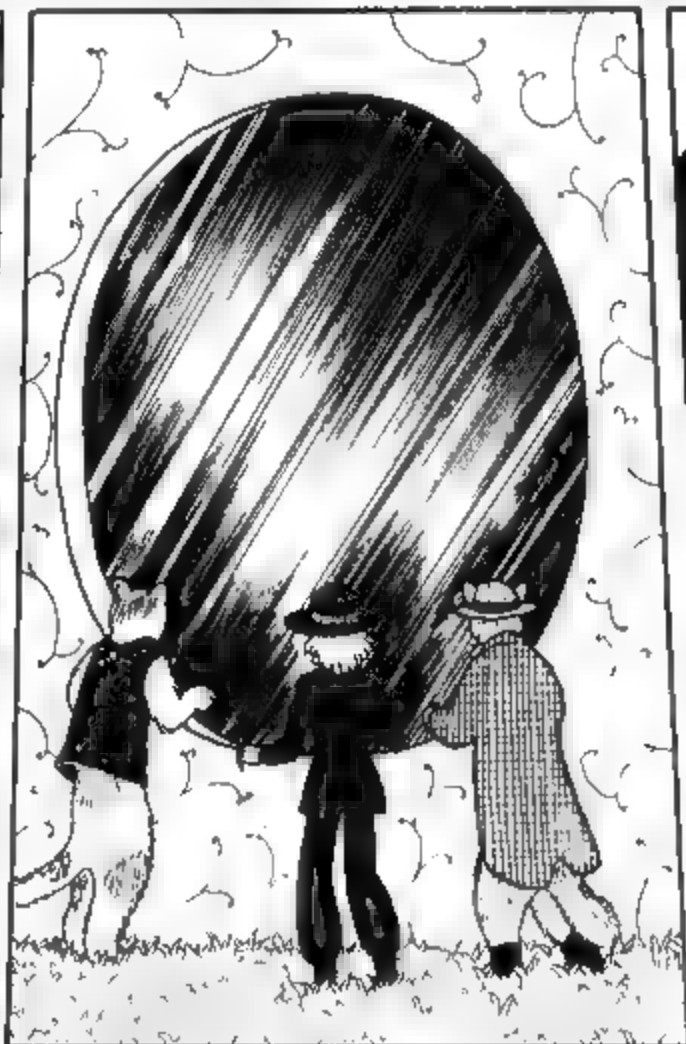
ル

ル

ル

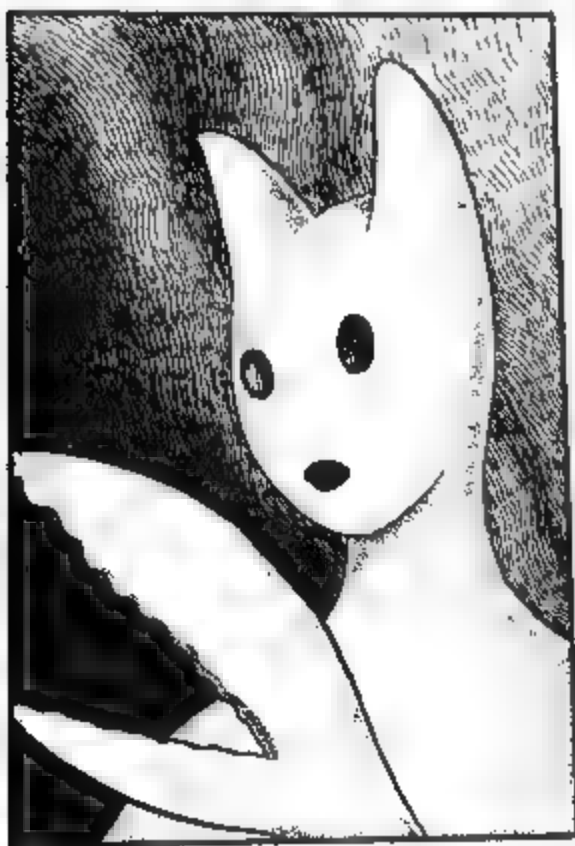
ル

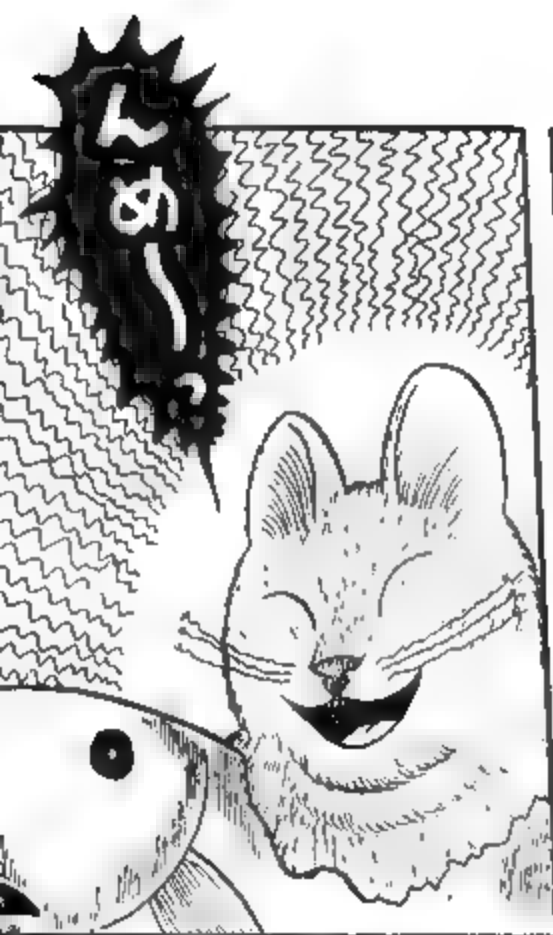
ル

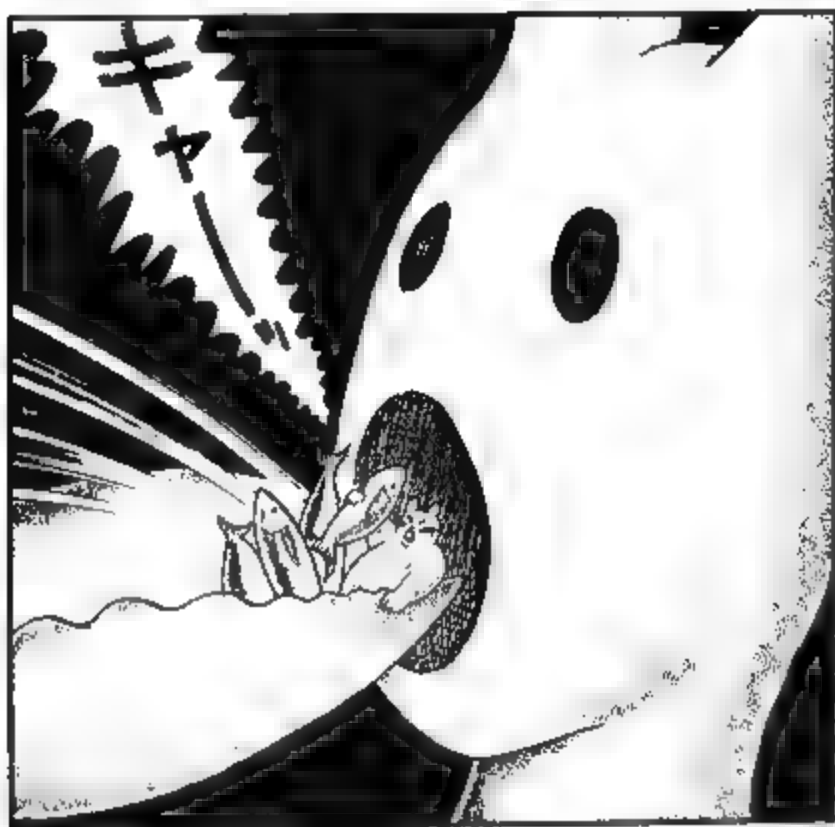














やがて
夜が明けて
きました



……でも
じゅばえるが
いる間に
外に出ては
危険なんですよ



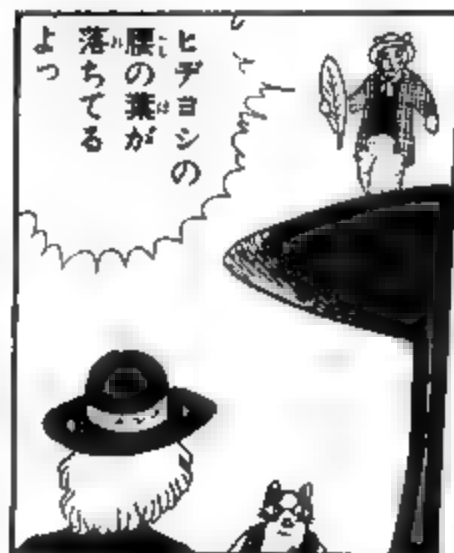
あいつ
穴掘って
外に出て
るよ

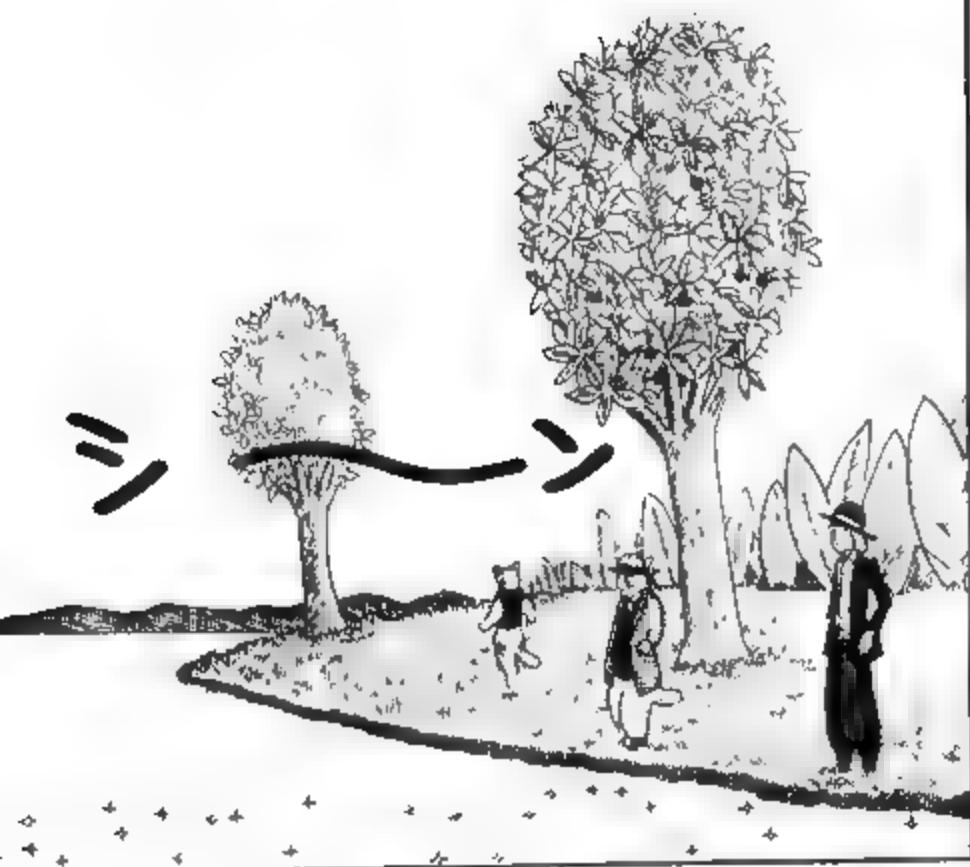
しょうの
ない奴だ
なあ



よし
探して
みましょう

まさか
あいつが
紅マダロを
食いに
行ったん
じゃ







フミの木に
めりこんでいました

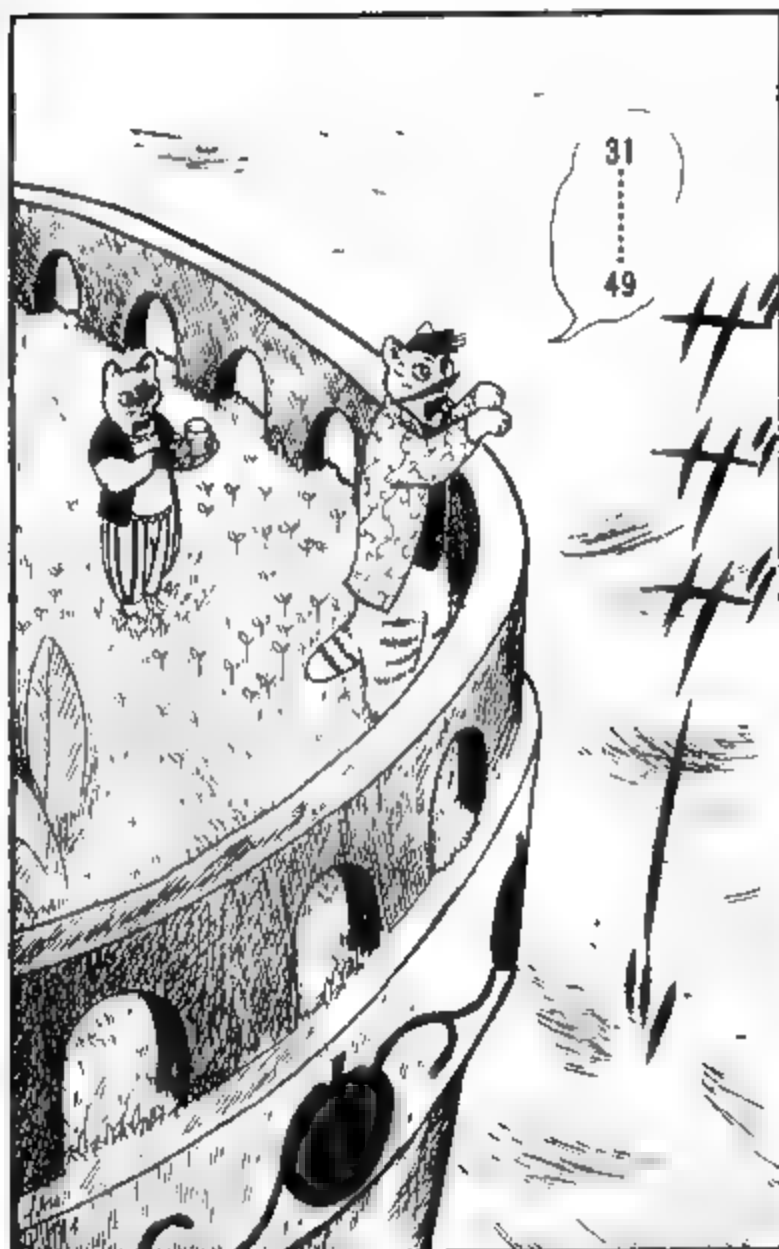
あか きば
赤い牙



銀しぶき海を北上する
桃色りんご丸



アタゴオル物語④

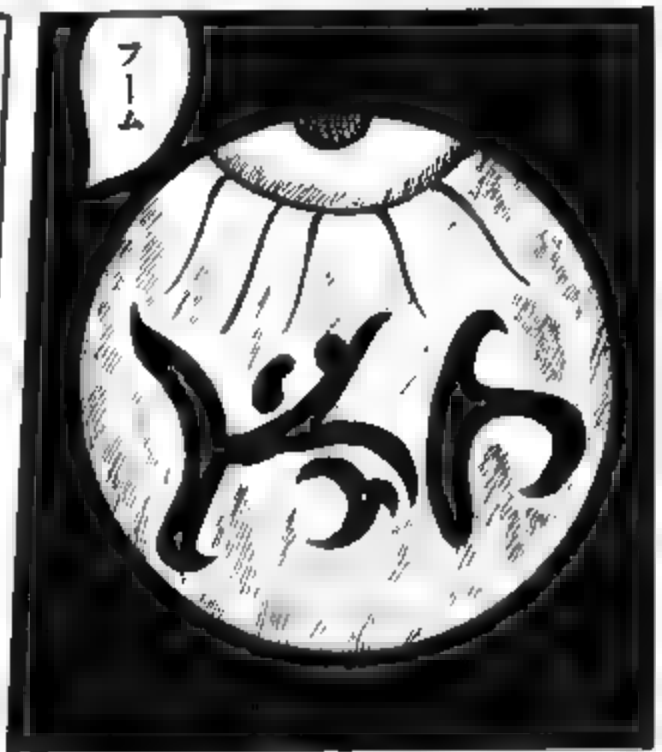


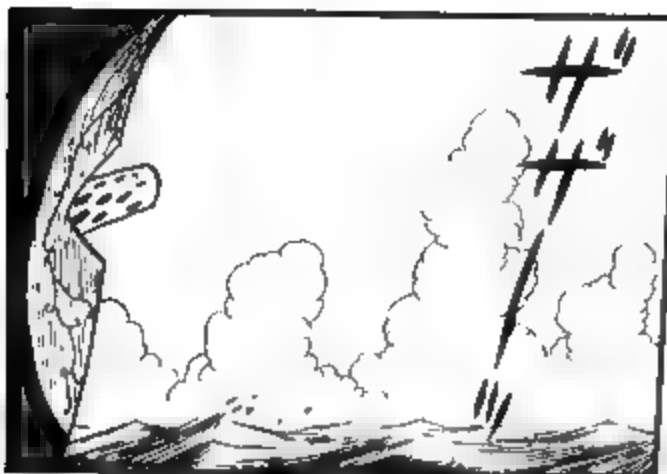


アタゴオル物語④









出会った者は去り行く姿を見られない

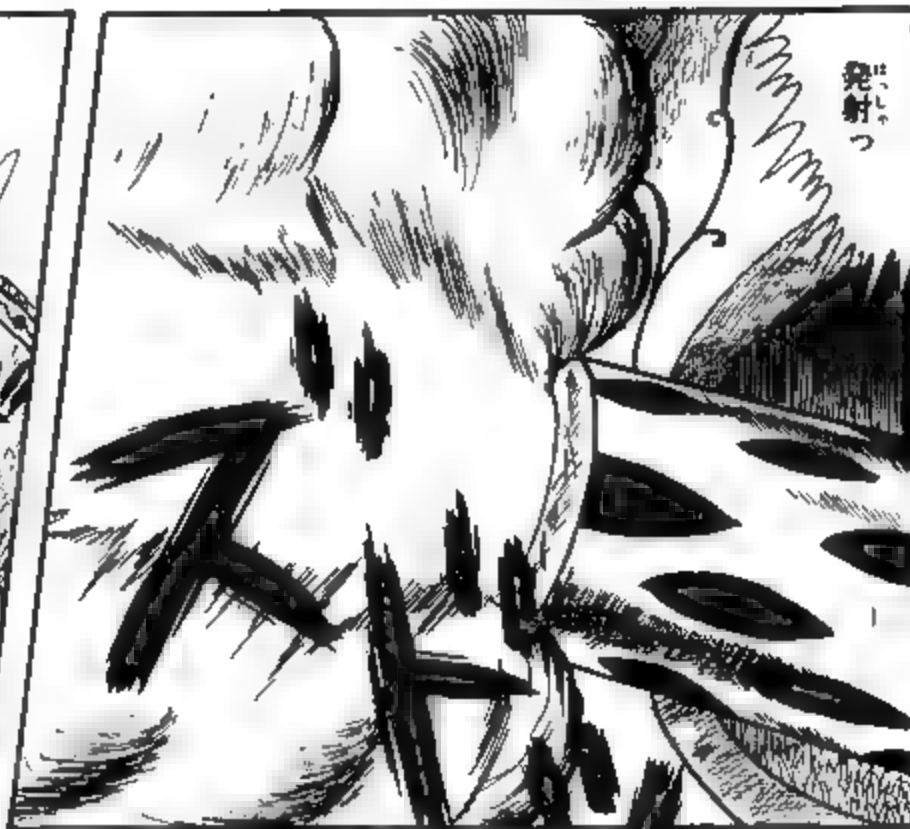
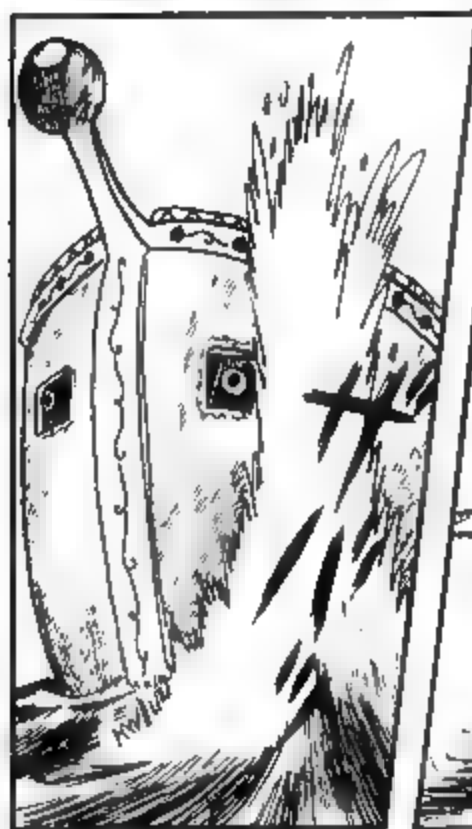
その本にはこう書いてあったのです「黄色い大時計の船は乗組員の数も不明 船長の名もわからず」



アタゴオルの船か……なつかしいな……

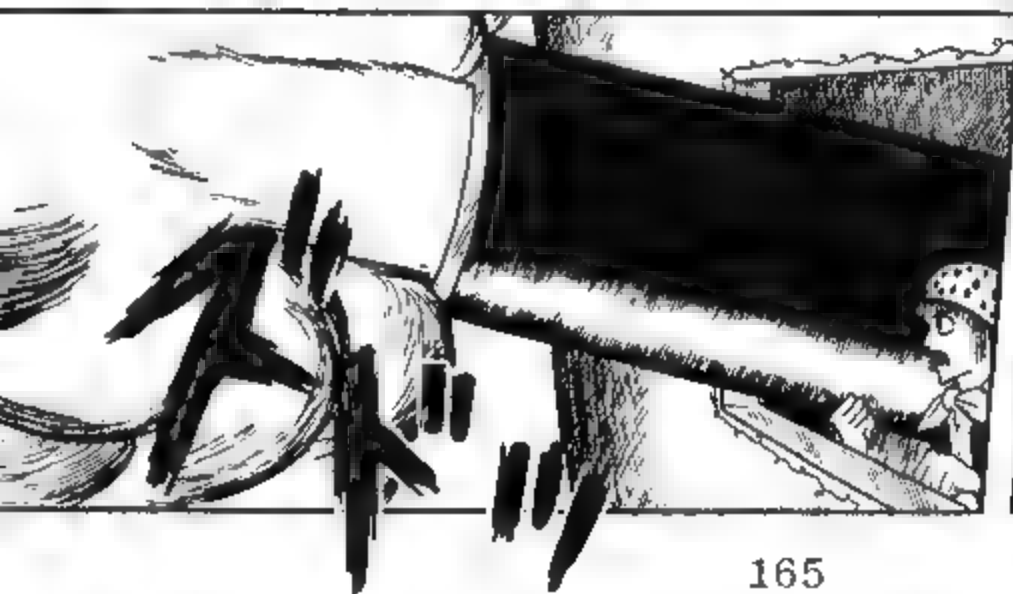
「この船と出会った者は船の去り行く姿を見ることはできない」と……

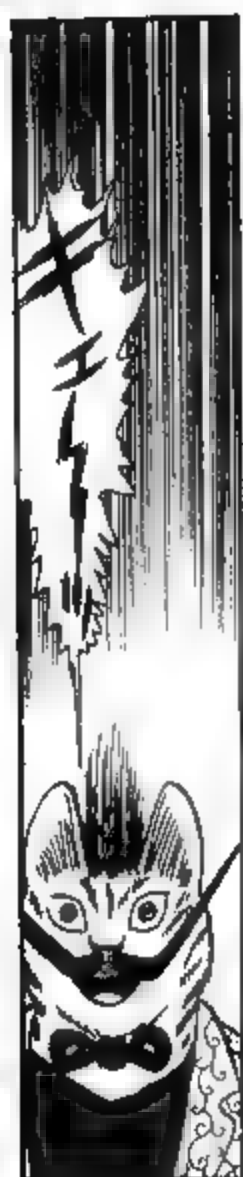




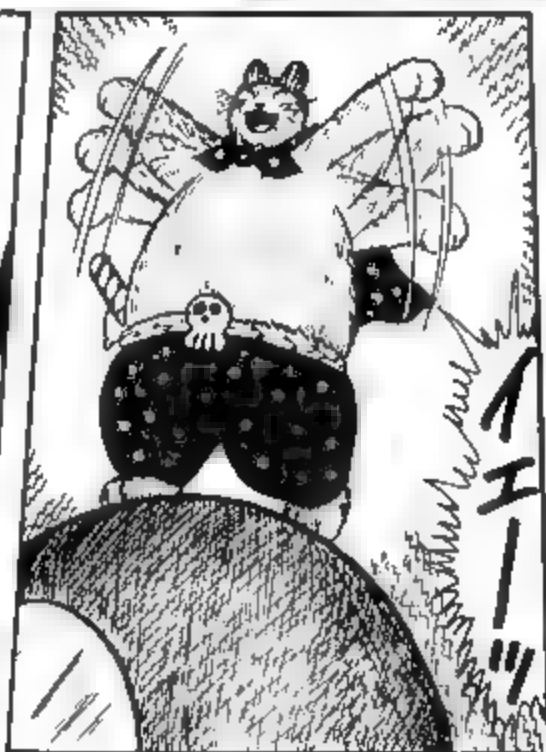


アタゴオル物語④

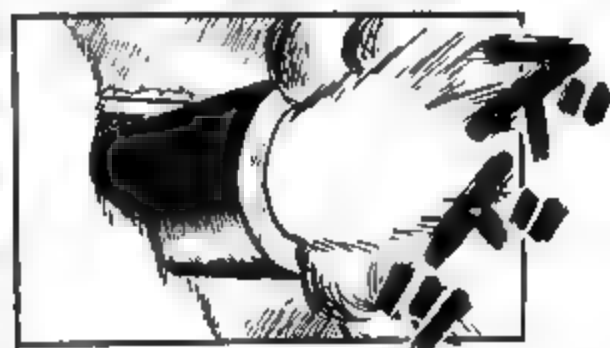
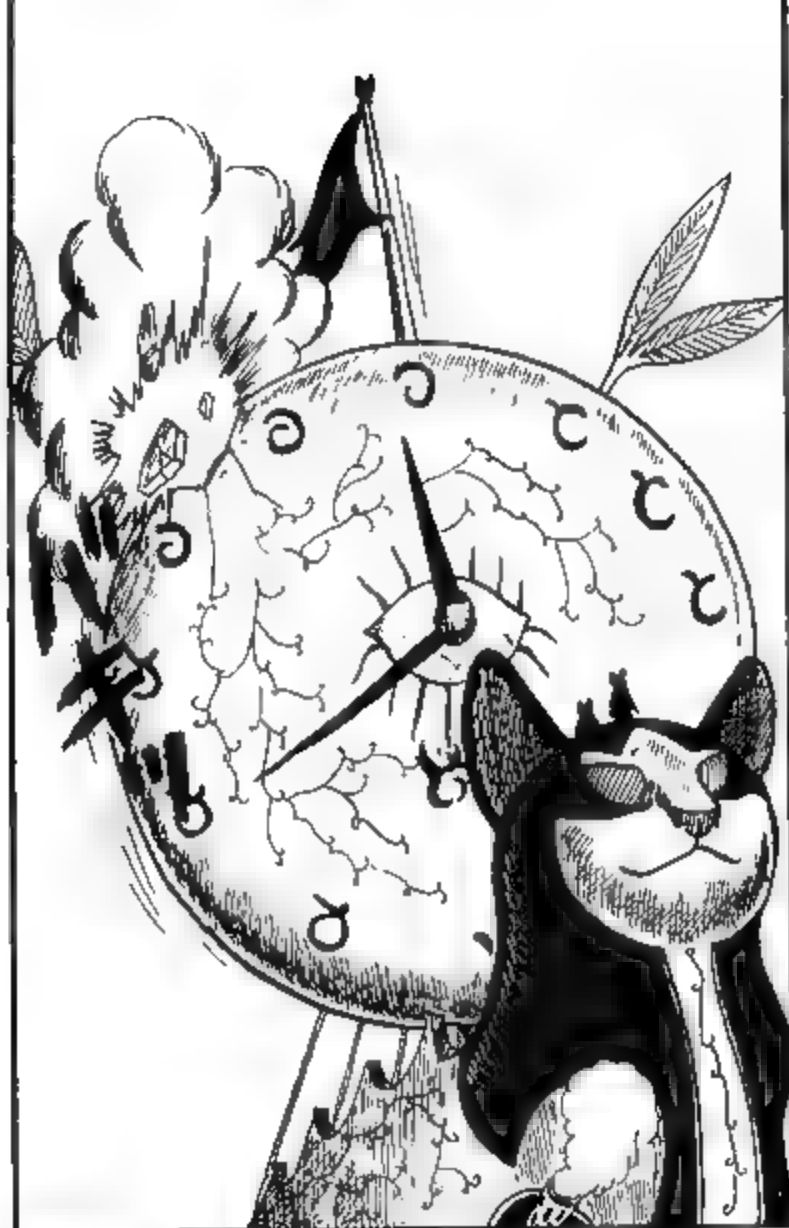


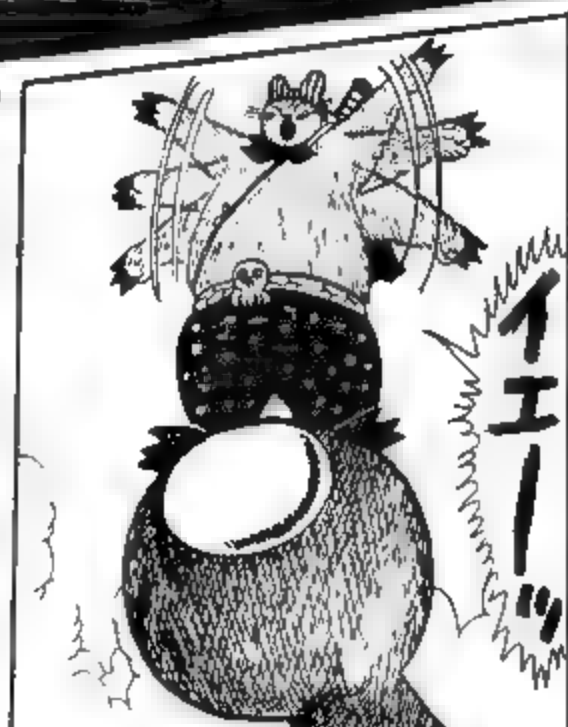
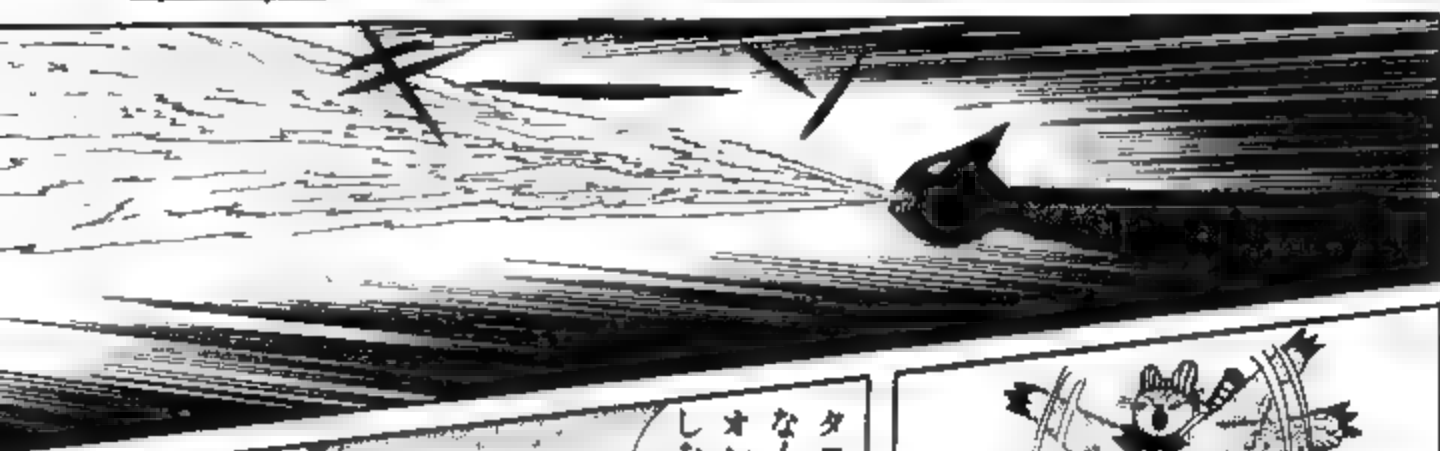
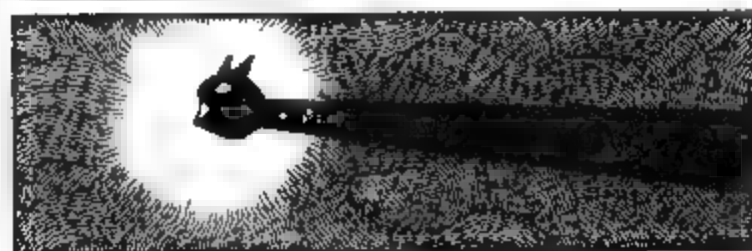
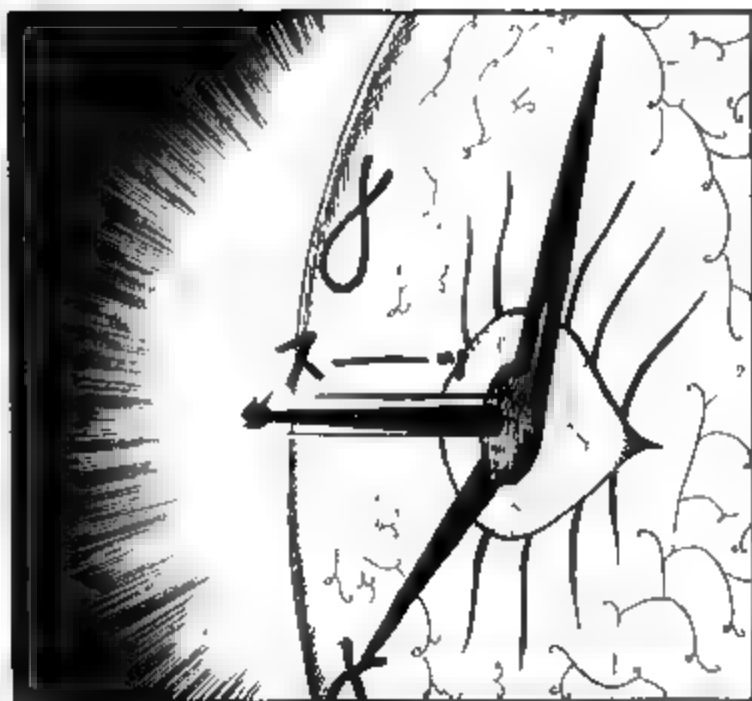


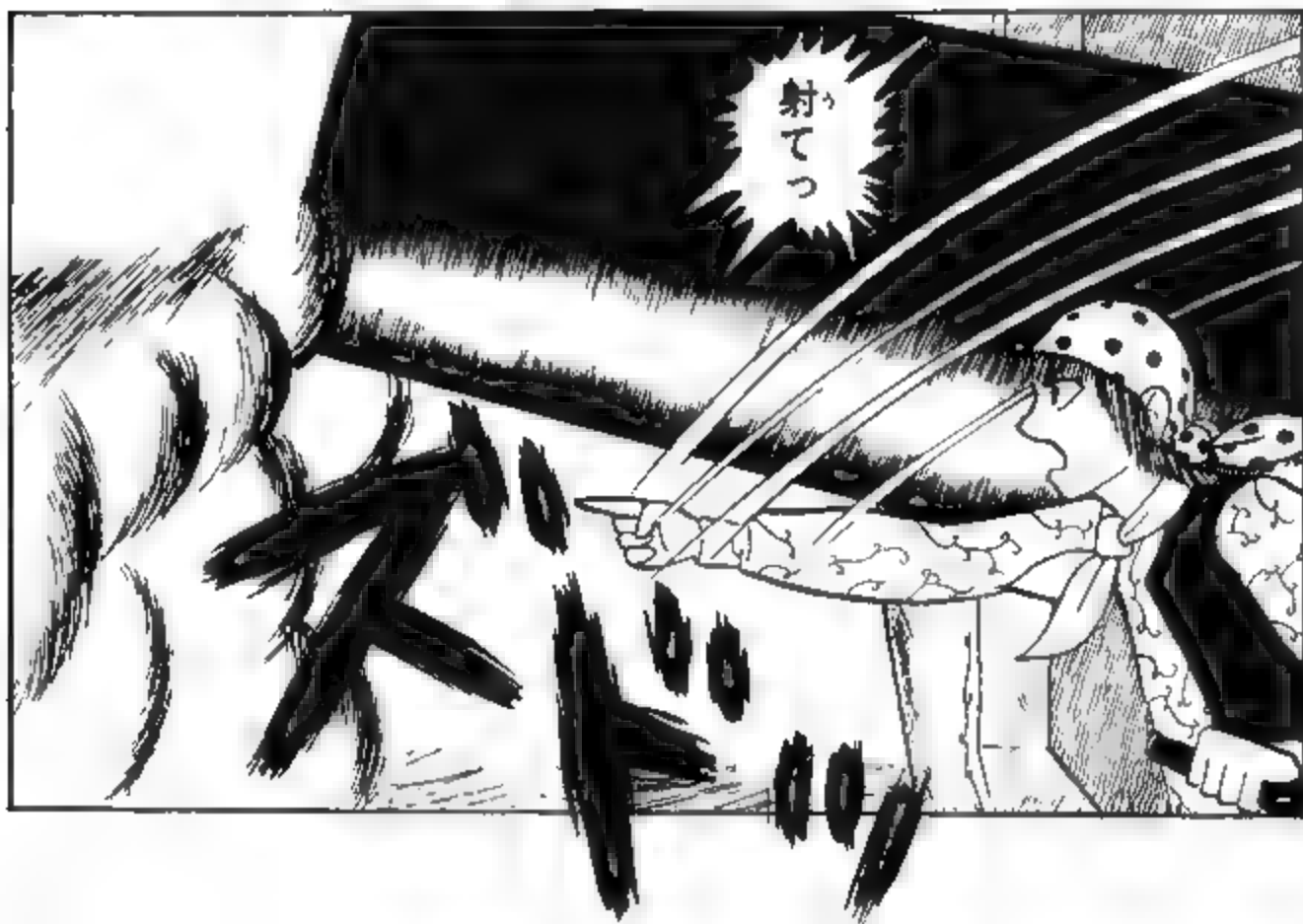




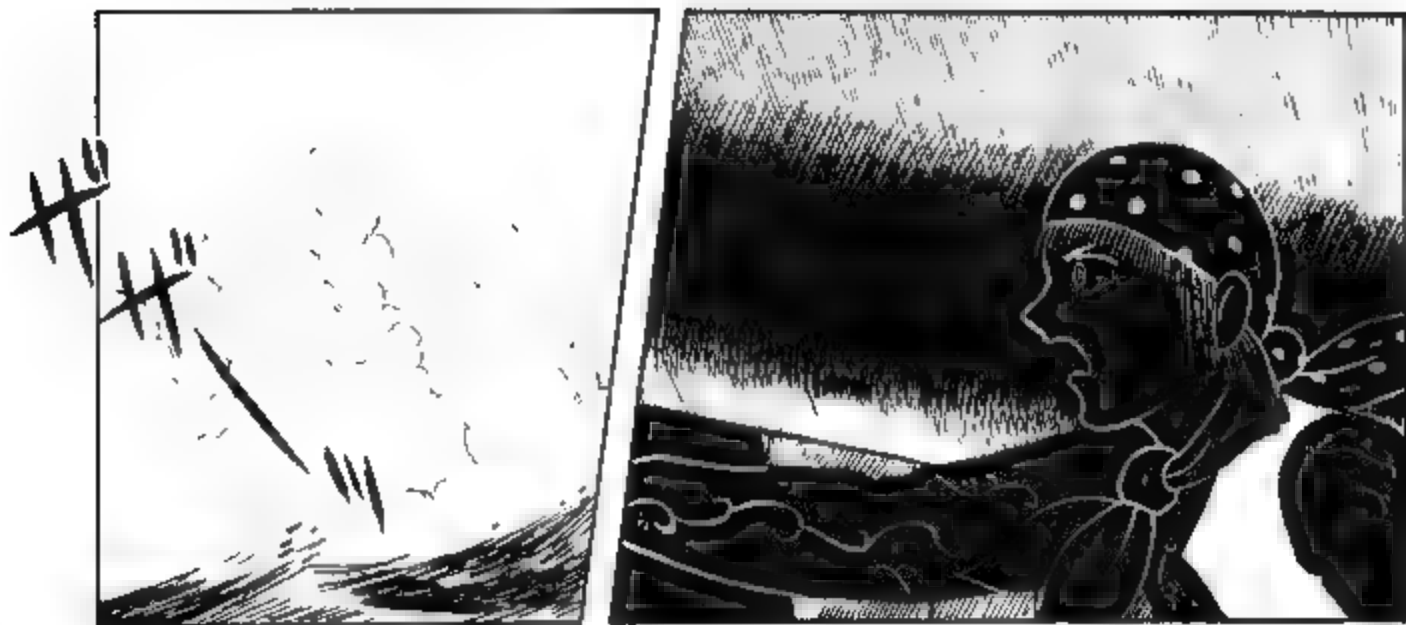


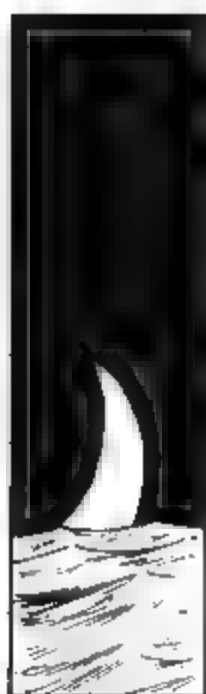
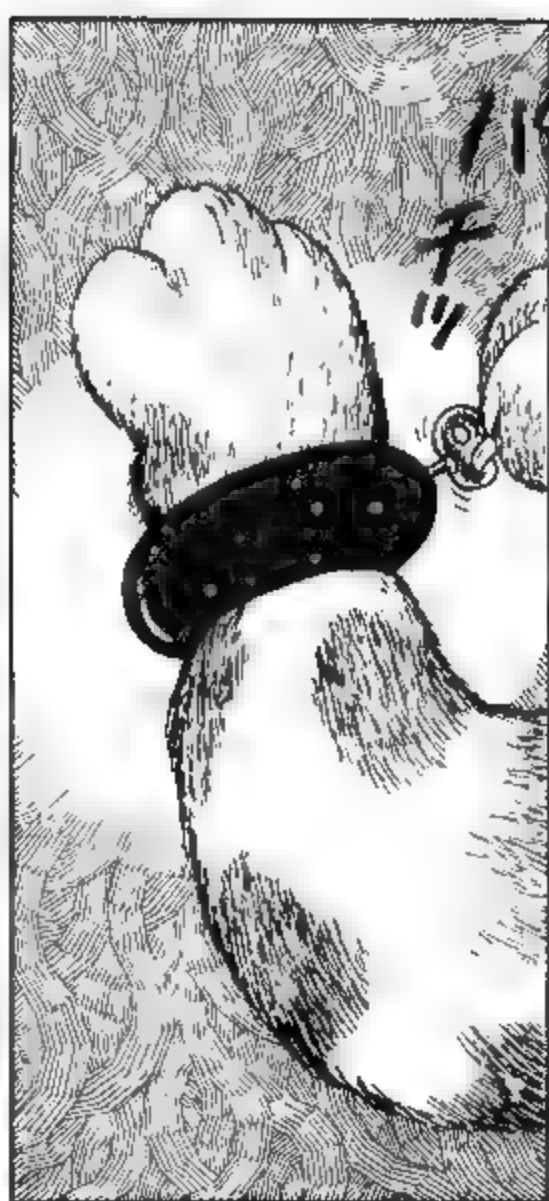


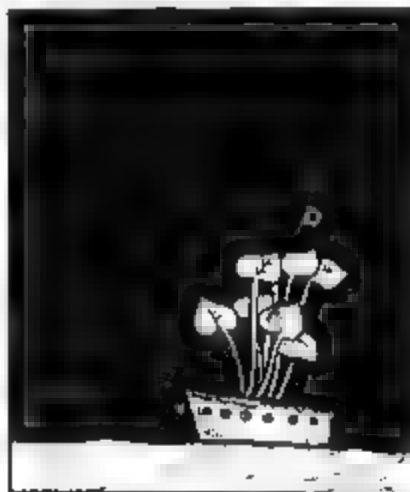
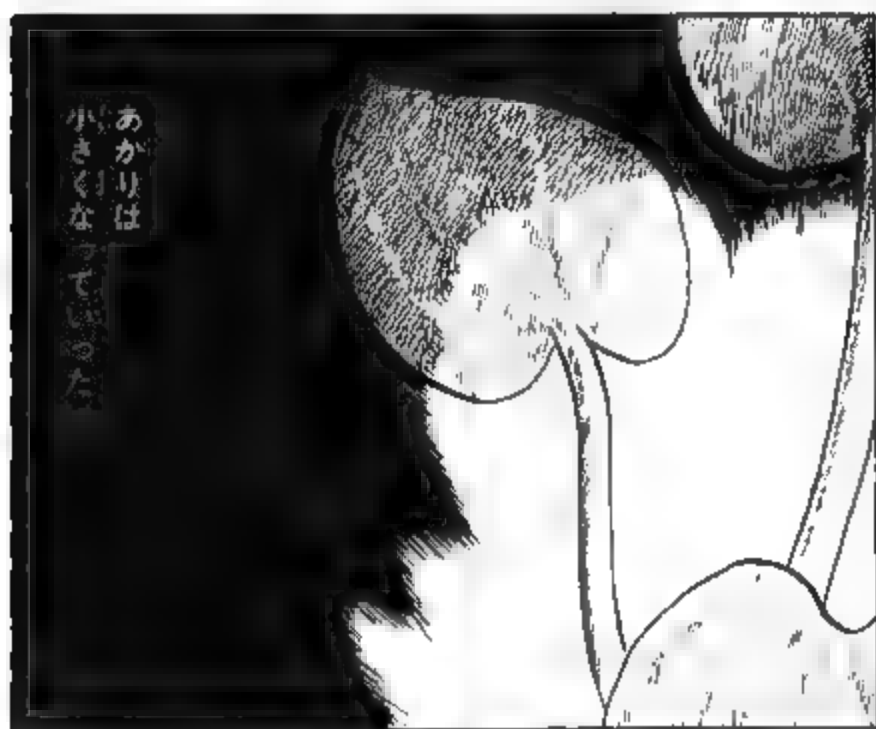




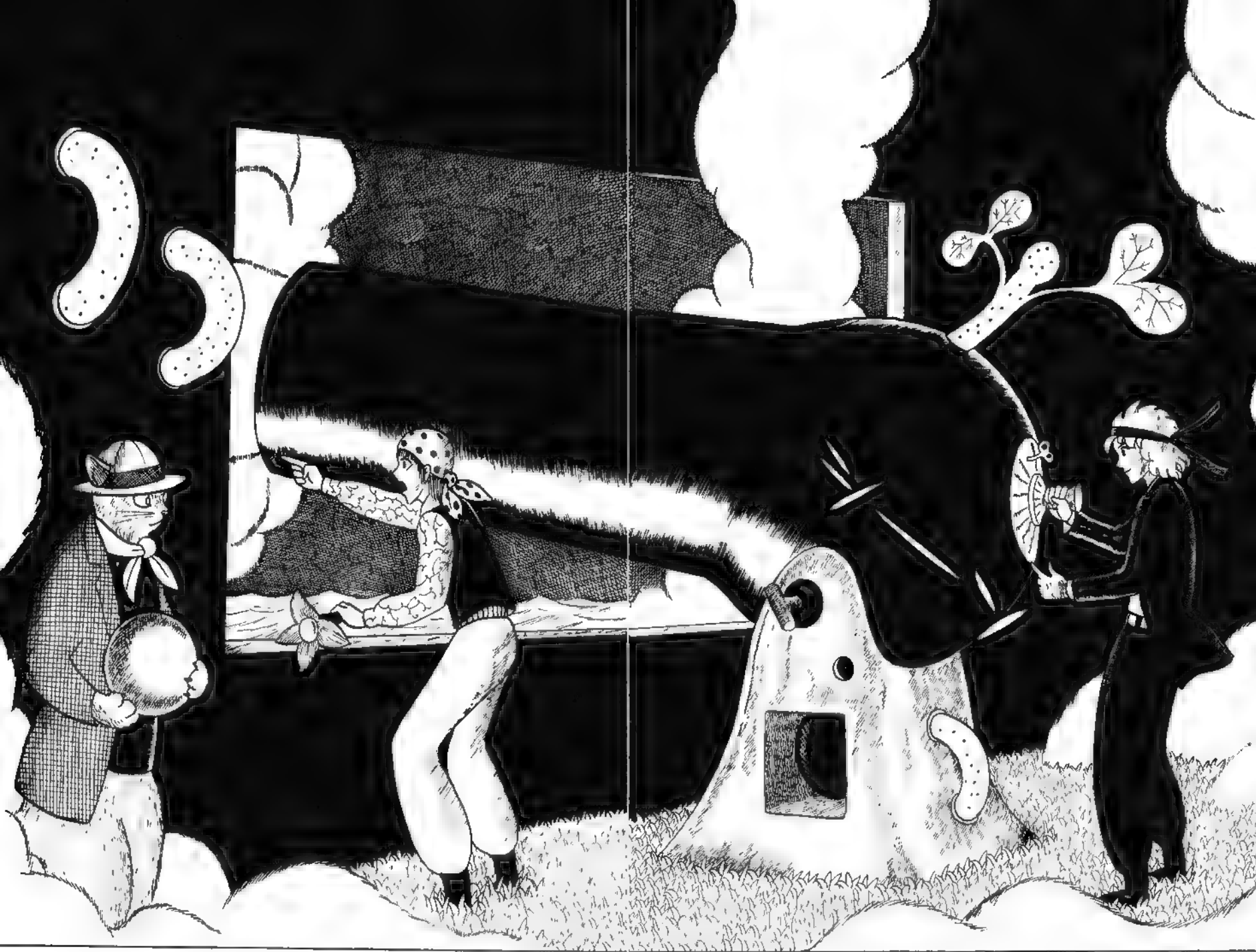
アタゴオル物語④

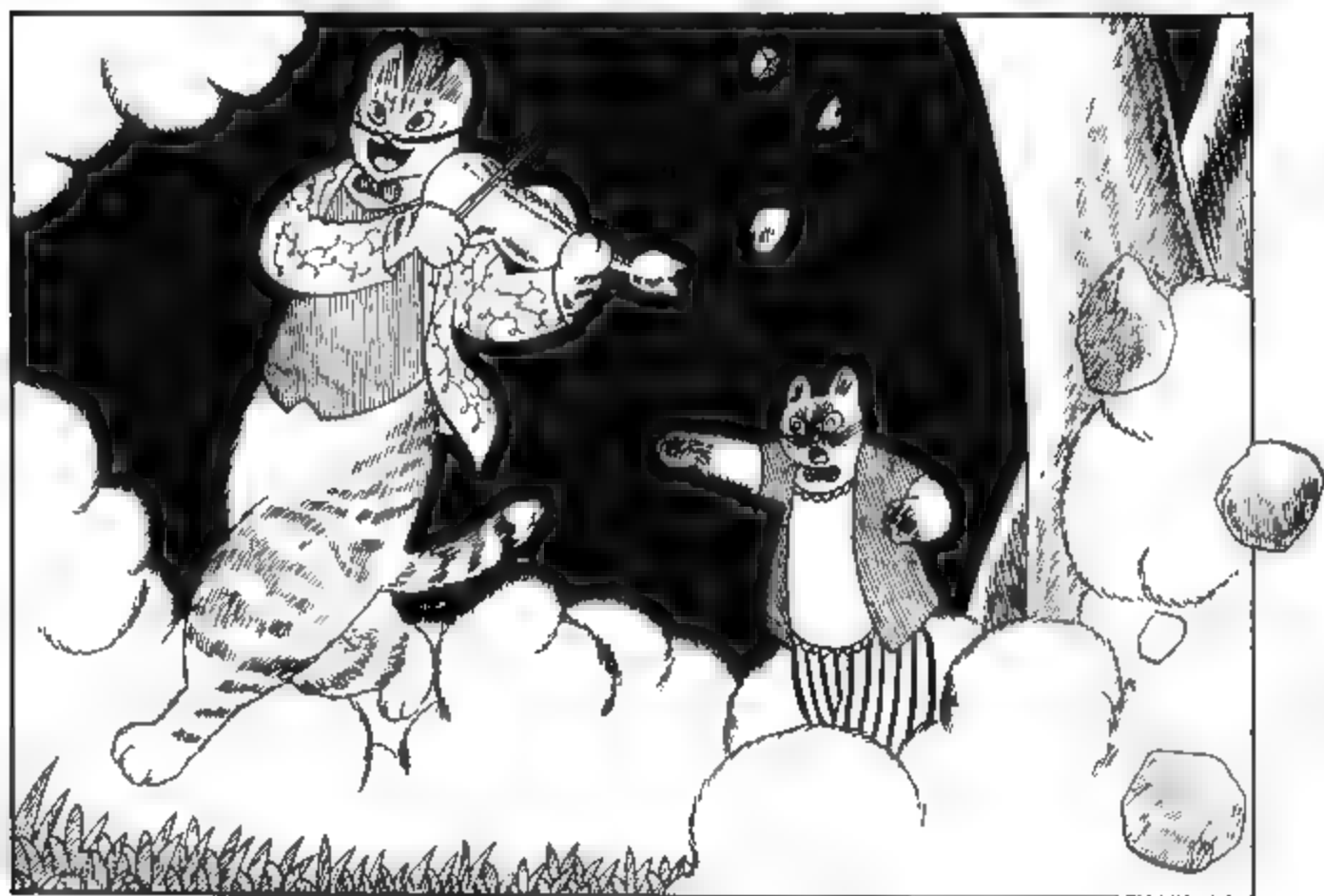




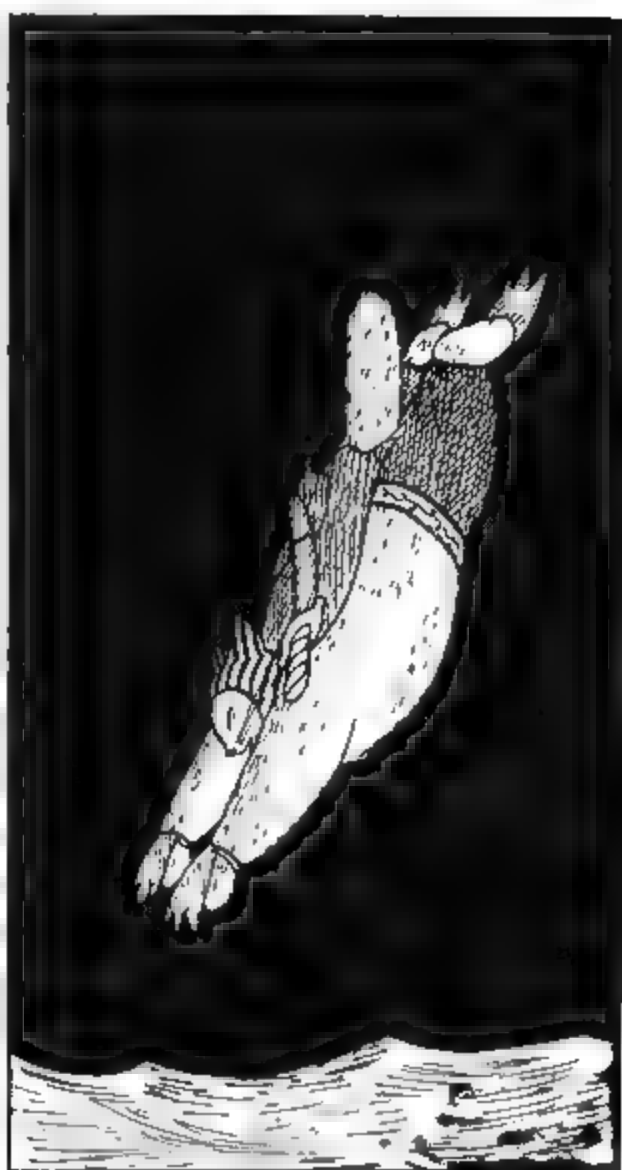


そして
月がのぼるにつれて





アタゴオル物語④



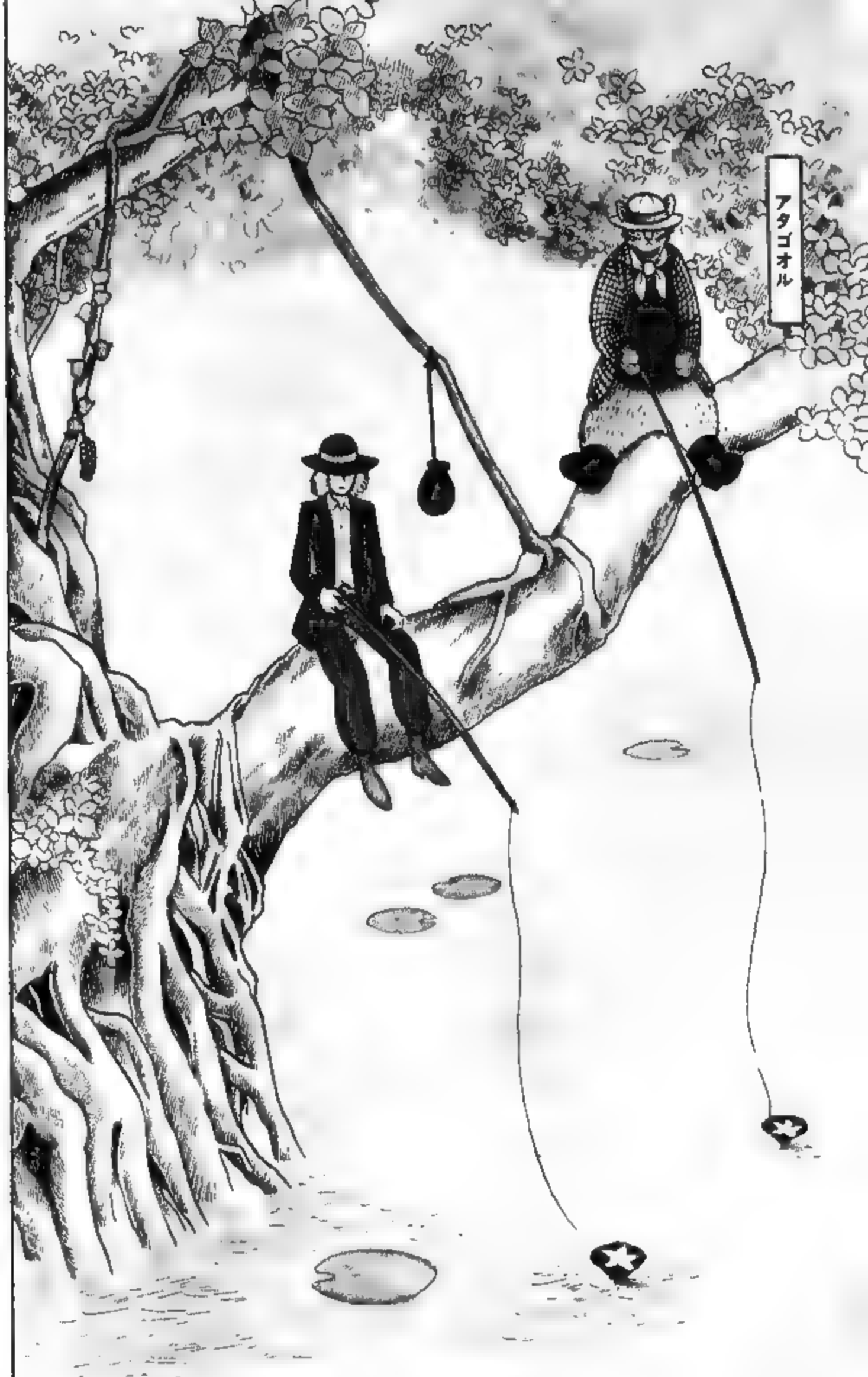


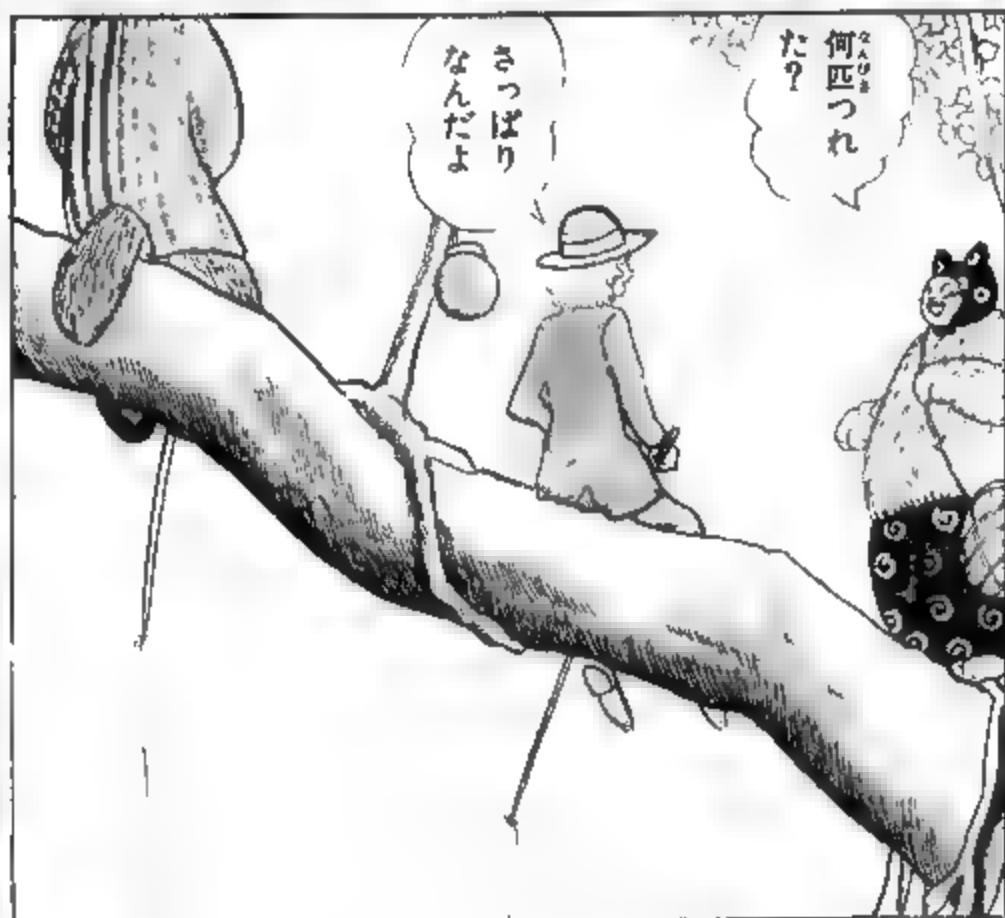
じ　かん　じょう
時間城

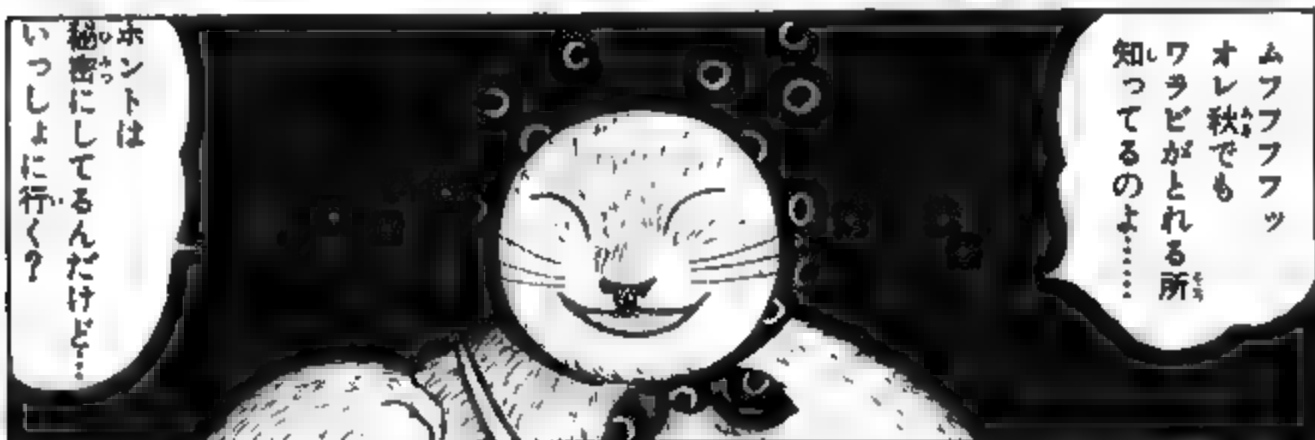


INADARUJYICOLUQOYH

アタゴオル









ヒザヨシ
この辺はもう
風鈴森じゃなく
滑りの森の入口
じゃないのか？



そうよ ワラビは
奥の方にはえてんのよ



えっ……
おまえ
この森に
入ったこと
あるのか？



おう！毎年
ワラビとりに
入って行くけど

別に何も恐ろ
しいことなんか起こ
らなかったぜ



パンツ
この森に
入ったこと
あるか？

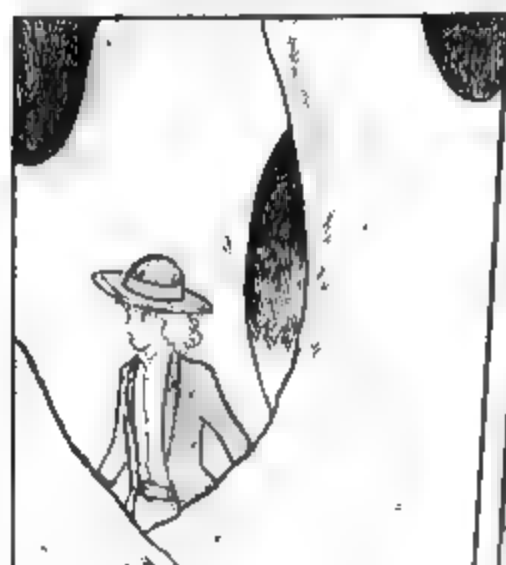


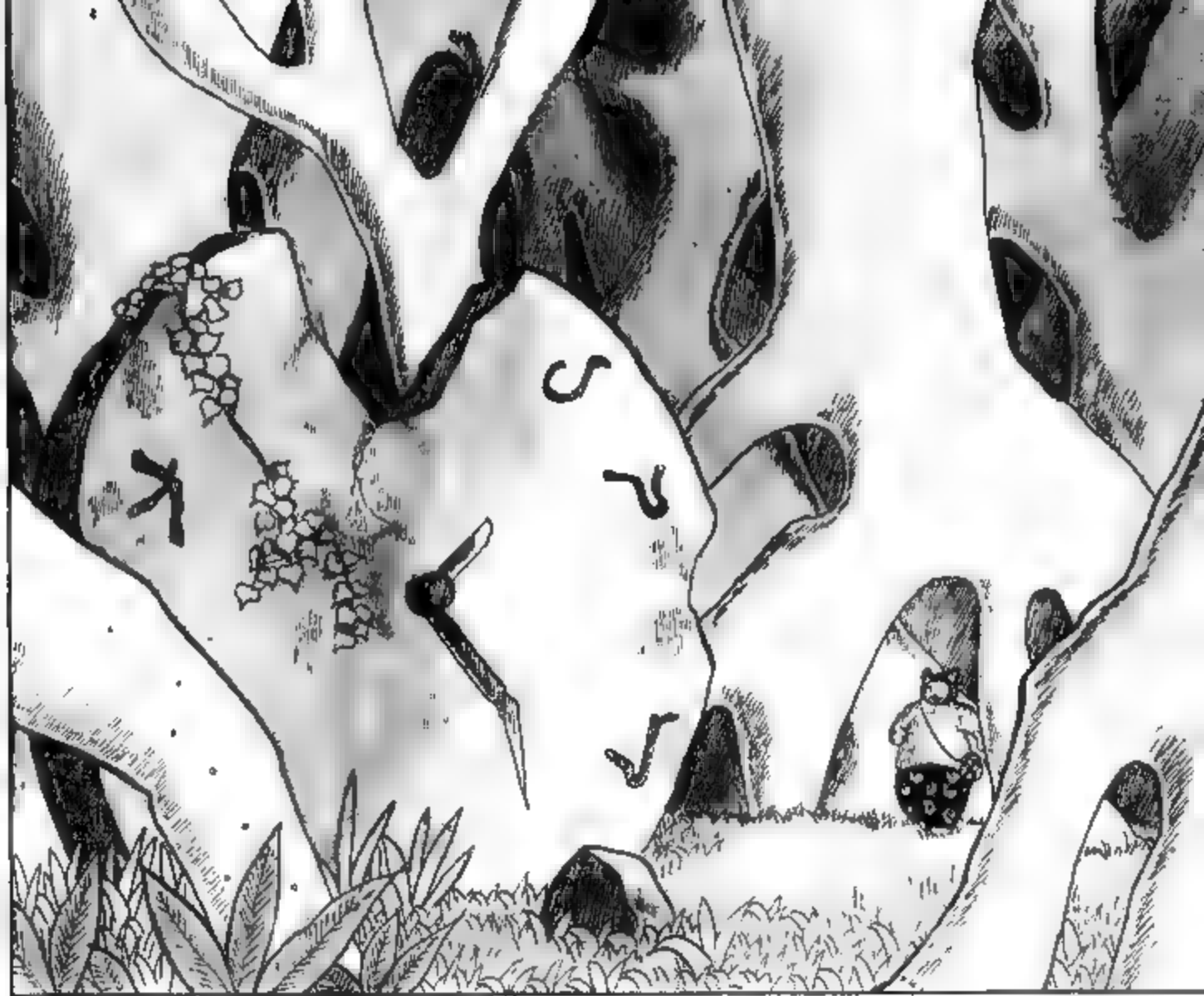
いや
ないよ……

たしかこの森には
紅ドクロ王朝時代に
建てられた
時間城というのが
あるんだらう……



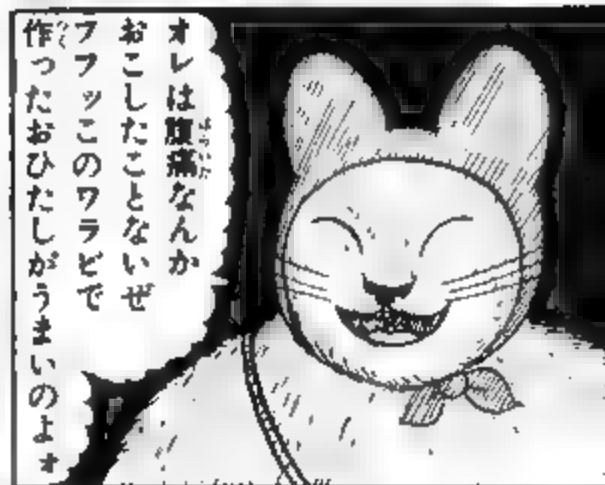
アタゴオル物語④





アタゴオル物語④









時計の
文字盤の
文字盤？



この響き...
昔のまま
ですね...



動き
始めたな

やっとひとつ



何者かが3名、
ここへ向かって来ます



ああ……
この森に
たくさん時計の
音が響いていたのが
ついきのうのことの
ようだな



それで
今どこに
いる？

目の輪迷
路の中です



この時計が
動き始めた時に滑りの
森に入ってきて来るとはな……



こっちの
方から
聞こえるぞ

リック

リック



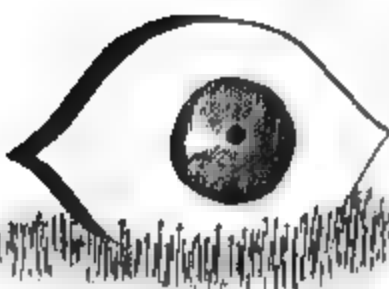
オレは
にげたり
しないけどよ

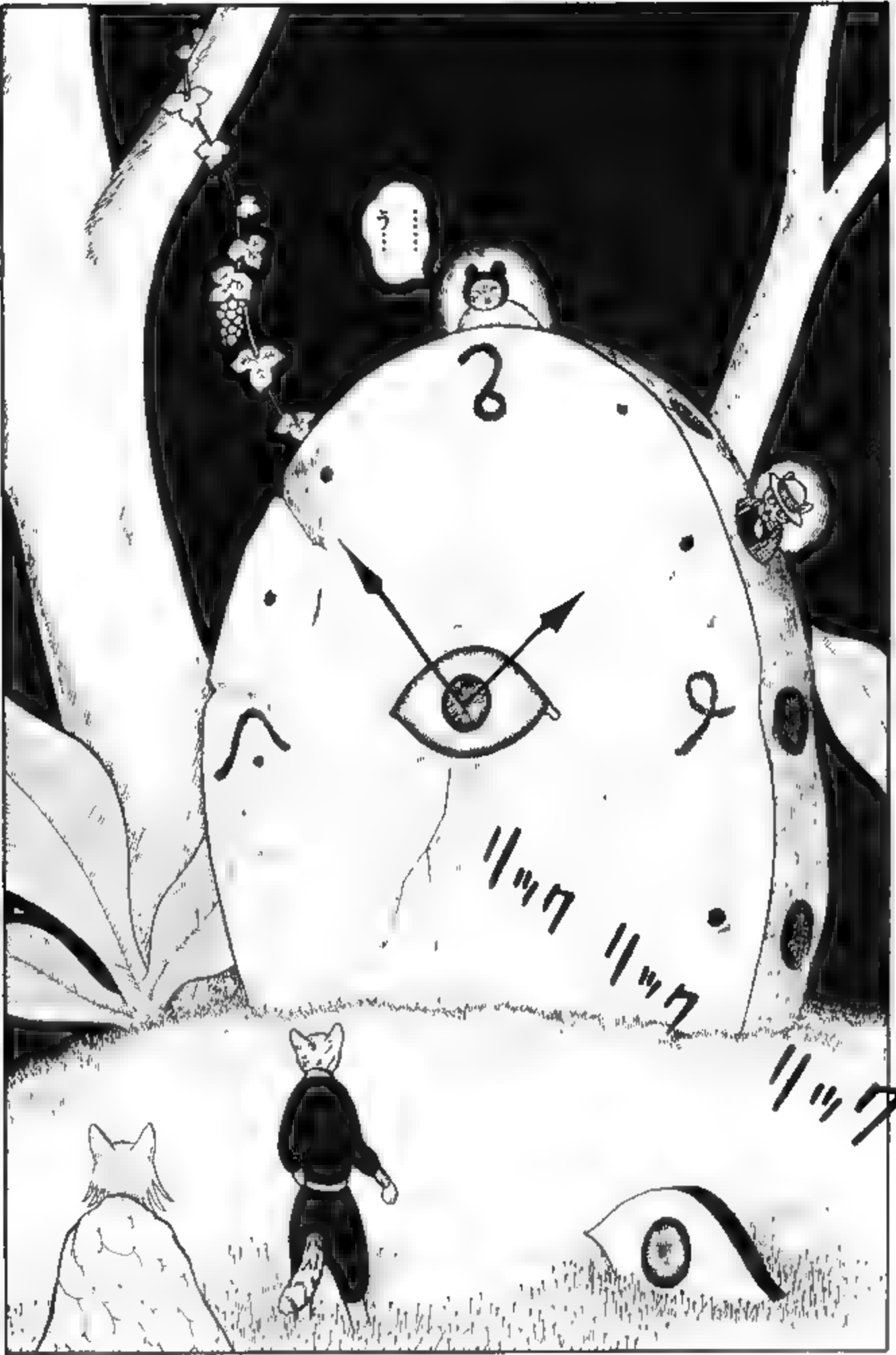


パンツの奴
おつかなくて
帰ったんじや
ないの

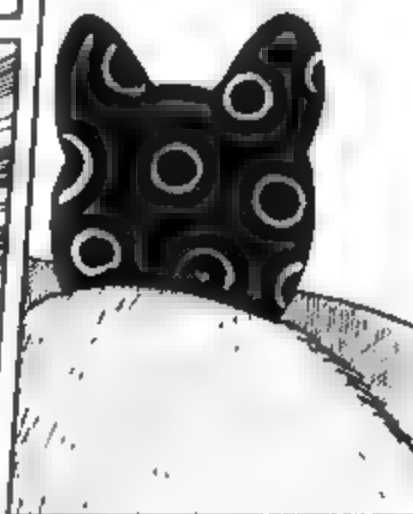
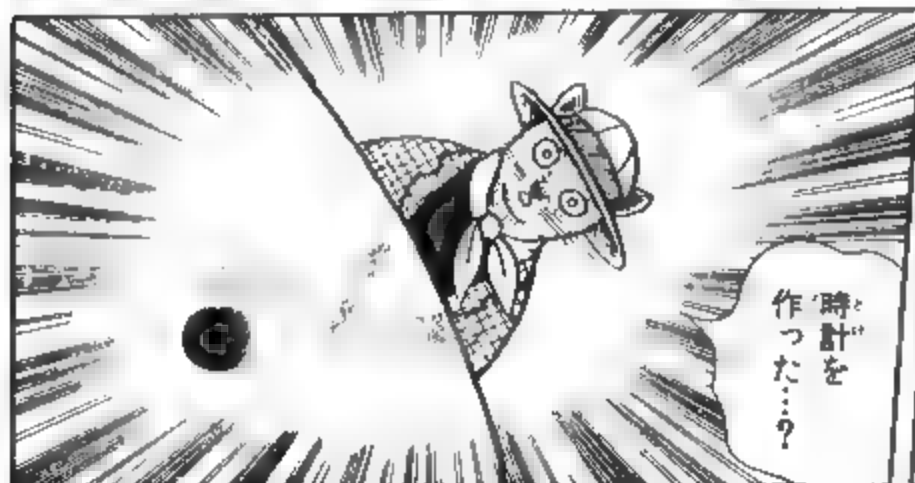


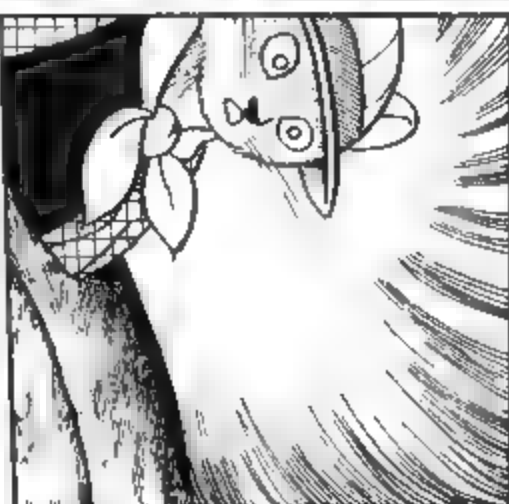
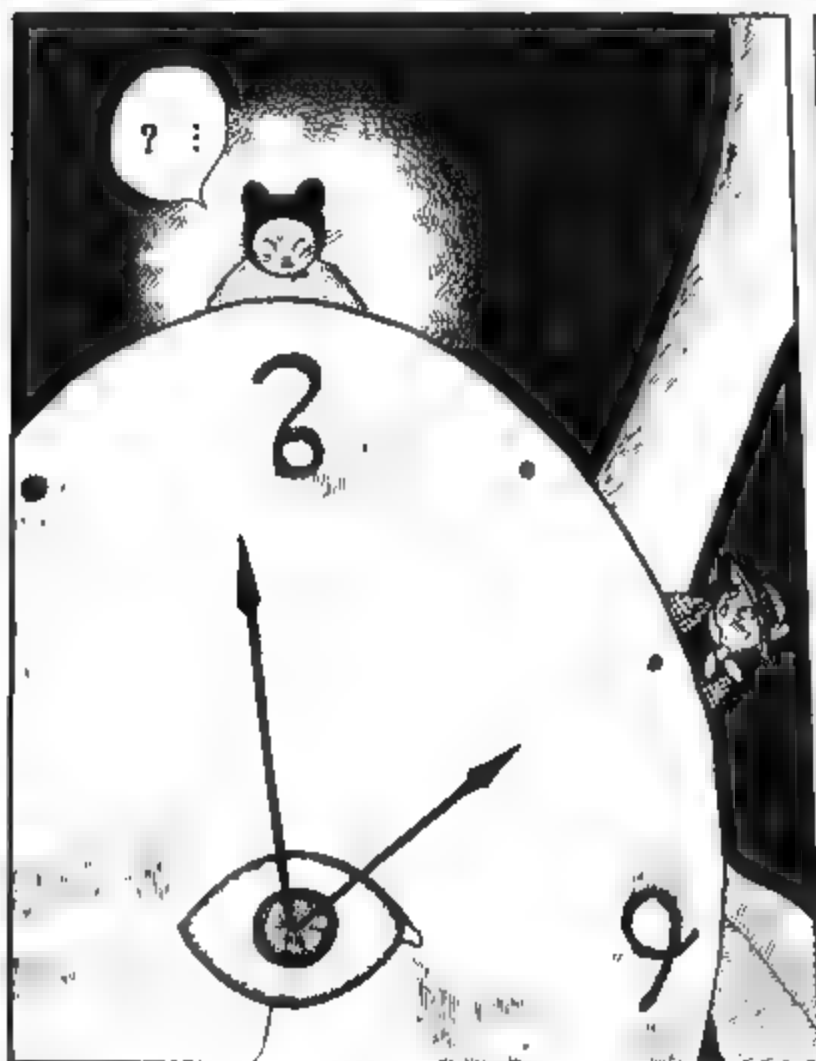
リリリ
リリリ
リリリ

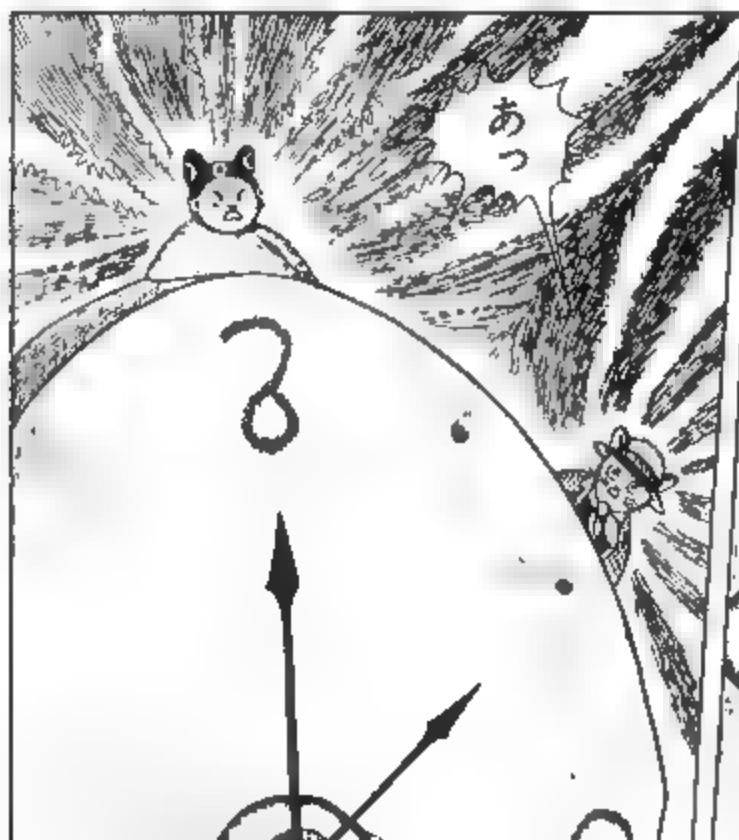


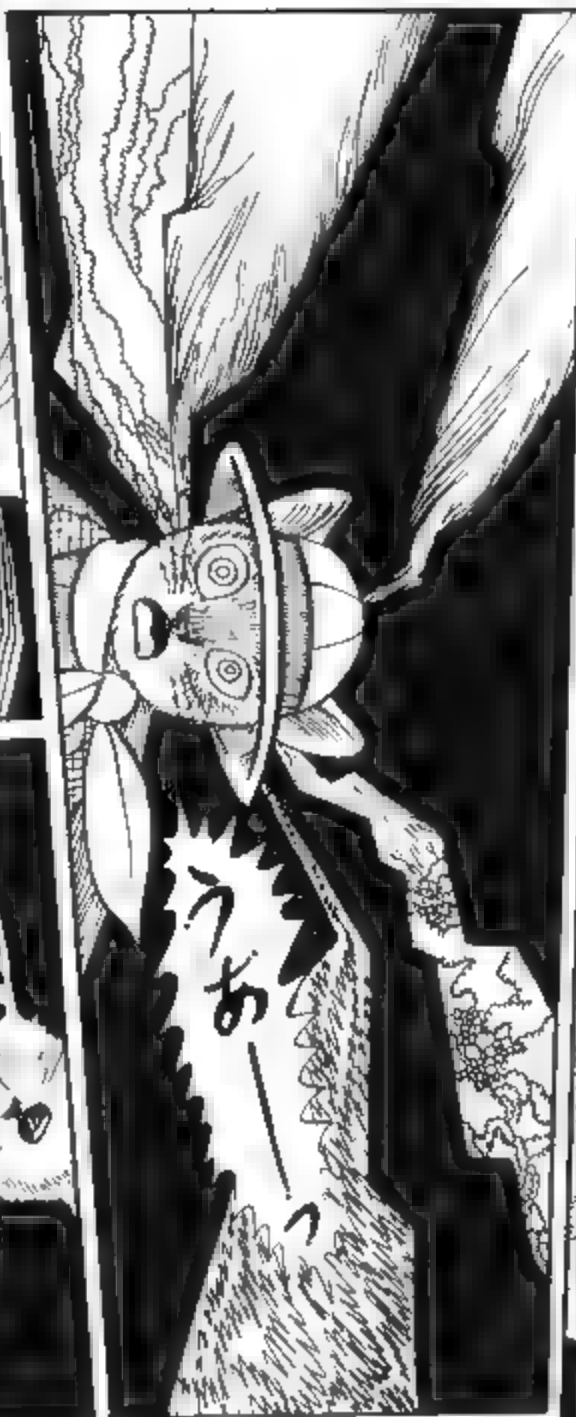


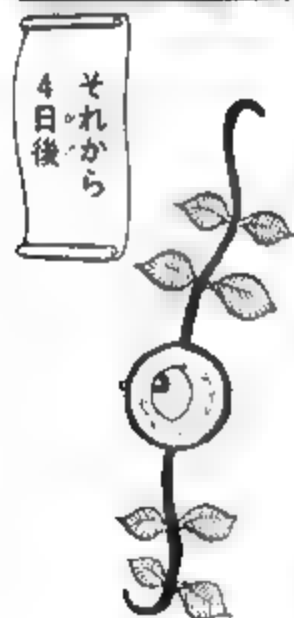
アタゴオル物語④















あけびに
ざくろに
ロンロン



テンブラ
オレはあの時計を
こわすべきだと思
うんだ



著 者	ますむら ひろし © Hiroshi Masumura
発行人	村 山 実
発行所	株式会社 朝日ソノラマ 郵便番号104 東京都中央区銀座4丁目2番6号 第2朝日ビル TEL(563)6021 振替 東京2-40311
印 刷	フォト印刷株式会社
製 本	大和製本株式会社